

2025 4 no.52
600YEN

エンブ

ENBU

坂東龍汰

表紙
の
ヒト

旬の「演劇」と
コラボレーションを楽しむ！

STAGE & INTERVIEW

カムカムミニキーナ

『鶴人』

松村武

Projectumī

『寂しさにまつわる宴会』

上田久美子 竹中香子 三河家諒

INTERVIEW

KERA・緒川たまき・古田新太
彩風咲奈
阪本奨悟

電子版

えんぶ

電子版

no.52 APR.2025

- ・この電子書籍は同出版物を元に電子書籍化したものです。
- ・印刷出版とは異なるページ構成となっている場合があります。

vol.193 梅澤裕介

栗根まことの人物インタビュー

あわねまこと〇劇団☆新感線の理数系知性派役者。その実力は、プロデュース公演などへの出演の多さでも証明されている。●近況「何を思ったかお洒落スタジオを買いましたが、中々着る機会がありません」

【次回予定】劇団☆新感線『紅鬼物語』
5/13～6/1〇SkyシアターMBS
6/24～7/17〇シアターH

①年のdope②dope「バンセ-ラダース」という舞台で共演するはずだったのですが、本番一週間前に急病のために降参されてしまい共演がかなわなかった梅澤さん。今回の「FOLKER」でようやく同じ舞台に立ちます。絡みは全然ないけどね。ダンスパフォーマー集団「梅棒」の創立メンバーで、大学生時代にその前身となるユニットを立ち上げてからずっと中核にいる人なのです。私も公演を拝見しましたが、ほとんどセリフがなく、J-POPの曲に合わせたダンスと身体表現でストーリーを紡いでいくという手法は他に類を見ません。梅さんはもちろんダンスが巧いので、今回も現場のダンスリーダーとして皆を引っ張ってくれているのですが、なにより穏やかな人なので自然と和やかな空気になってしまうのが素敵です。怒った所を見たことがありません。ただ、考え込んでしまうタイプなので眉間にシワがあらわれますが、笑顔が可愛いので、なんだかホックリしてしまうんですね。今回はぜひ絡みのある作品をやってみたいので、また一緒にしましょう。



えんぶ

BACK NUMBER



2025 2月号 (No.51)

【表紙】佐藤流司
赤澤燈×荒牧慶彦×樺田圭輔
星風まどか 望海風斗 三浦涼介
月城かなと Concert『de ja Vu』



2024 12月号 (No.50)

【表紙】月城かなと
稲垣吾郎 松岡広大 花總まり
中山優馬 内藤大希×平野良×
前川優希×広井雄士×加藤世



2024 10月号 (No.49)

【表紙】中村隼人
村岡希美×池谷のぶえ×小松和重
三宅弘城×大倉孝二×池田成志
『朝日のような夕日をつれて2024』



2024 8月号 (No.48)

【表紙】生田斗真×中村倫也
上田竜也 天華えま 東山義久
『Endless SHOCK』
舞台『サイボーグ009』



2024 6月号 (No.47)

【表紙】堀井巴也・村瀬文宣
浦井健治 中村雅俊 永田崇人
和希そら 『偉と経歴』富沢リエ・
犬山イヌコ・小池栄子



2024 4月号 (No.46)

【表紙】市川團子
明日海里外 川崎皇輝
有沙穂 三浦大輔・丸条ジョー
舞台『HIGH&LOW THE 戦国』



2024 2月号 (No.45)

【表紙】ふぉーゆー
美弥るりか 坂東巳之助
有澤輝太郎 ケムリ研究室『眠
くなっちゃった』『りすん』



2023 12月号 (No.44)

【表紙】甲斐翔真
相葉裕樹×広井雄士×伊藤裕一
藤田俊太郎 柚希礼音×真風涼帆
『チャーリーとチョコレート工場』



2023 10月号 (No.43)

【ロングインタビュー】
堂本光一 with ウォーリー木下
林連都 高田聖子 森田剛
NODA-MAPT 兎、波を走る』



2023 8月号 (No.42)

【表紙】立石俊樹
ウーマンリブ『もうがまんできない!/
イクウメ!人魂を届けに!』
山口祐一郎×浦井健治

各600円

and more...

お電話、ファックス、ハガキでのご注文は編集部まで。
送料は全国一律180円。定期購読(送料サービス)もあり。



ご注文はネット通販
えんぶ☆ショップ
えんぶ編集部
〒164-0001
東京都中野区中野3-27-16
tel.03-3229-2424 fax.03-3229-2423

えんぶ

no. 52 APR. 2025

電子版

- ・この電子書籍は同出版物を元に電子書籍化したものです。
- ・印刷出版とは異なるページ構成となっている場合があります。

ENBU no. 52 APR. 2025

CONTENTS

表紙のヒト

002

坂東龍汰

SPECIAL INTERVIEW

008

ケラリーノ・サンドロヴィッチ
緒川たまき 古田新太

024

彩風咲奈

030

阪本奨悟

STAGE & INTERVIEW

010

カムカムミニキーナ
『鶴人』
松村武

016

NICE STALKER
『女子と算数』
イトウシンタロウ

018

ヒャクマンベン vol.7
『Answer Song』
茂山千之丞

060

Projectumi
『寂しさにまつわる宴会』
上田久美子・竹中香子・三河家諒

宝塚 kaleidoscope

020

宝塚月組
『ゴールデン・リバティ』

022

宝塚星組 礼真琴 日本武道館コンサート
『ANTHEM-アンセム-』

Stage Bomb!

034

相葉裕樹・須賀健太・加藤啓

036

大西風雅

038

東山義久・矢崎諒・井川拓哉・
角野楓真・三瓶賢人・高橋永遠

040

久本雅美・大湖せしる

042

三宅裕司・羽田美智子

044

清水順二・瀬戸かずや・鈴木達央

橋涼香のミュージカルニューエイジ

046

井上花菜

CLOSE to my HEART

048

青柳美希

STAGE & REVIEW

051

劇団普通『病室』



表紙撮影◇中村嘉昭



000 栗根まことの人物ウォッチング 193回 梅澤裕介

052 小野寺ずるの『女の平和』番外編「女の映画」

054 “深掘り”動物電気(仮) vol.2 登山部編

055 帯金ゆかり『世相を縫う』第29回

056 ワワフラミンゴ鳥山フキのキャンセルみかん 第42回

058 ヨーロッパ企画『アンケート オブ ヨロビアン』第25回

064 インディ高橋のPatchy小道具研究所 R134

Edit えんぶ編集部 Design 諸橋藍 内山給美

えんぶ 第10巻 第2号 通巻52号

2025年3月7日発売 定価600円(本体価格546円)

印刷所:株式会社シナノ 発行・編集人:坂口真人 発行・編集:株式会社えんぶ

〒164-0001 東京都中野区中野3-27-16

TEL:03-3229-2424 FAX:03-3229-2423



坂東龍汰

表紙のヒト

一段一段確かな階段を登っていく

連続ドラマ『ライオンの隠れ家』（24年 TBS）で自閉スペクトラム症の青年を演じて、その芝居的確さとあふれる情感とを併せ持った演技でブレイクした坂東龍汰が、ケラリーノ・サンドロウィッチ（以下 KERA）と緒川たまきの演劇ユニット・ケムリ研究室の『ベイジルトウンの女神』の再演に出演する。貧民街ベイジルトウン第七地区の売買を巡って対立する2人の女社長には因縁があって……。坂東が演じるベイジルトウンに暮らす若者はその名もヤング。まっすぐで純粋な青年を坂東はどう演じるのか。映画やドラマの出演作は多いが、舞台出演はまだ少ない坂東ながら、初舞台の岩松了の作品でも注目され、10代の頃も学校で演劇をやっていたという。これからの活躍に期待がかかるネクストジェネレーションは、撮影時はナイーブな憂いある顔を見せ、インタビューでは快活で饒舌と、多彩な顔を見せてくれた。

僕の「ヤング」で新しい魅力を

――まず、『ベイジルトウンの女神』の初演は「驚」なっていますか。

映像で拝見しました。プロジェクトチームやアニメーションをふんだんに使い、壮大でファンタジーな世界観が作り上げられ、そこに生きるそれぞれのキャラクターもとても魅力的でした。僕は山内圭哉さんが演じる水道のハットンがかわいらしくて好きでした。最後はハッピーエンドだし、いい話だなあと思って観ていましたが、この間、取材で古田新太さんが、KERAさんの作品にしては良い話だとおっしゃっていて。古田さんの演じる「王様」も初演を見る限り好人物なのですが、古田さんの手にかかるのと全く別の印象を抱く作品になるかもしれないので、そこも楽しみです。

――古田さんと芝居するのは楽しみです。楽しみます。ご自身では、番頭タイプで共演者の面倒を見るのが好きだとおっしゃっていたので、「分からないことあったら聞いてもいいですか」と言ったら、「ぜひぜひ

ひ！」と。しつこいほどいろいろ聞こうかなと思っています。

――「ご自身の役「ヤング」をどう思いますか。」「ヤング」という名前だけあって、本当に若く純粋で、でも自分の中にちゃんと正義があるし、本当に恋人のスージーのことを思っています。それを僕がやることで、新しい魅力を引き出せたらいいなと僕と藤間爽子さんが演じるスージーとヤングは、初演では松下洸平さんと吉岡里帆さんが演じられていた役で、再演でおふたりから役を引き継ぐことへのプレッシャーはもちろんありますが、僕と藤間さんにしかできないヤングとスージーを作り上げたいと思います。

――KERAさんとは会って話をしましたか。

――まだ、「よろしく願います」とご挨拶しただけです。今回の座組には誰一人これまで会ったことのある方がいなくて、みなさん、初めましてなんです。

――KERAさんのほかの舞台は観ていますか。

――今回のお話をいただいてから、『骨と軽蔑』（24年）を観ました。『ベイジルトウン〜』と比べると全然違う印象でした。もっとシニカルな笑いの、断続的に客席から笑いが来ることに興味を持ちました。KERAさんの舞台はぎつと毎日、お客さんが笑っているんだらうなと感じました。

——前回出演されていた『う蝕』は笑いの舞台ではなかったですね。

基本的にはシリアスな物語なのですが、登場人物同士の会話のなかで笑える空気になることもあって。でもそこは、脚本家も演出家も「ウケなくても全然いい」というスタンスでした。むしろ、笑わせることが目的の舞台では全くないし、繊細な題材だったので、観客が笑わなくても気にしないでくださいと言われていました。ただ、僕の役にはとぼけたシーンがあったので、その時にはお客さんに笑ってもらえると安心するんですね。だから毎日、今日はどんな反応だろうかとヒヤヒヤしながらやっていたりもしたので、逆にずっと笑いが起きる『骨と軽蔑』のような作品もいつかは経験してみたいなあと思いました。

——客席がドツと沸くと気持ちがいいものですね。そういう体験がこれまでまだないということでしょうか。

『う蝕』でも笑いがたくさん起きる日もありました！あるシーンで1回ドンと笑いが起きて、そこからは何を言っても笑い声が続きみたいなのも。僕がセリフを噛んだのを正名僕蔵さんがいじってくれると、そこでまたドカーンと。別のシーンでもまた2人のセリフのところで僕が噛んじゃって、あたかも伏線回収のようになって(笑)、正名さんが「君はまたか」みたい

なことを言ってくれて、またドーンと笑いが起こるみたいな変な日があって、ライブっておもしろいなと感じたんです。

岩松さんの書いた本が嘘じゃなかったと言ってもらえるように

——KERAさんは、自分の作品が毎回違った印象になるのってどうなんでしょう。

自分が思っていないところで笑われるのはあまり好まないのではないか、というようなことを古田さんがお話されていました。KERAさんは、ここで笑う、ここで泣きがるということを緻密に計算される方だと。『う蝕』は、脚本は横山拓也さんで演出は瀬戸山美咲さんと分かれていて、俳優に任せてくれる部分が多かったということもあり、各回の印象がずいぶん変わりました。ただ、瀬戸山さんは、毎回、舞台が終わると、俳優を全員集めて、今日のことはこうだったから明日はこうしましょう、という確認作業をしてくださって、初日から大千秋楽まで全公演を観て、毎回、軌道修正をしてくださりました。

——今回はKERAさんの狙いに沿っていくことを学ぶ感じかもしれないですね。

そうですね。稽古でという風に作り上げていくのだろうと、とても興味がありますし、とても楽

しみます。

——岩松さんが作・演出した『三人姉妹』はホントにモスクワに行きたがっているのか？(17年)のときはいかがでしたか。

岩松さんの舞台に出た時の僕は、20歳になったばかりで、事務所に入れた喜びを噛み締めていたら、岩松さんの舞台に出ることになって、右も左も分からなくてただただ必死でした。若手だけが集まった公演で、稽古場では千本ノックのように出演者がしごかれていました。ただ、それは愛ゆえであることがよくわかるものでした。僕は、「北海道から出てきたジャガイモ野郎」などとみんなから悪態をつかれながら、ひとりだけ売れていくという役でした。ほかのみんなはポロポロになっていくのですが、僕だけ最終的に良いコートを着て、船で川を渡っていくんです。売れていくという役をいただいたので、その後、岩松さんに会うと「ちゃんとしたか？」と聞かれます(笑)。岩松さんの書いた本が嘘じゃなかったと言ってもらえるように頑張ります。面白かったのが、みんな役名が演じる本人と同じ名前だったんですよ。僕は坂東で。プライベートのことも役に取り込んだり、役の関係性がプライベートに影響したり、岩松さんがコントロールしているようで、すごいなあ。役なのか自分なのかわからない感覚になることもありました。

砂浜でのた打ち回りながらセリフを覚えた

——坂東さんは上京する前は、北海道でシタイナー教育を受けていたそうですね。この教育システムは、テレビは禁止で映画だけは見るのが許可されていたため、映画が好きになったと伺っています。演劇もカリキュラムにあったとか。どんな演劇をやりましたか。

シタイナー教育では、演劇も授業にあって、小学校の頃から、先生と生徒とみんなて舞台を作っていく授業がありました。ほかに、姉が入っていたのがきっかけで、学外の演劇塾にも通っていました。そこでも1年に1回公演をやっていました。どんな舞台だったのかな。『きぶり五郎兵衛』とか……。

——きぶりの役？

僕はアリです。「テク、テク、テク」って言いながら歩いていくアリ。それしかセリフのない役でした(笑)。

——それだと、演劇ってつまらないなあとは思わなかったですか。

とても楽しかったです。僕は人前に入るのが苦手だったので、極力セリフの少ない役をお願いしていたんです。でもあるとき、演出家の河辺隆彦さんに、「君は絶対芝居した方がいい」と言われたことがあって。姉がやっていて舞台の打ち上げに行った時に、河辺さんに

ばんどうりょうた○ニューヨーク生まれ、北海道育ち。2017年にドラマ『セトウツミ』で俳優デビュー。翌年、NHKスペシャルドラマ『花へんろ 特別編 春子の人形』で初主演。2022年公開の映画初主演作『フタリノセカイ』で第32回日本映画批評家大賞の新人男優賞(南俊子賞)を受賞。最近の主な出演作は、ドラマ『RoOT / ルート』『366日』『ライオン』の隠れ家、映画『若武者』『シサム』『ふれる。』『君の忘れ方』『雪の花 -ともに在りて-』など。舞台は18年『三人姉妹』はホントにモスクワに行きたがっているのか?』が初舞台。24年『う蝕』で主演、今作が3作目となる。

Q あなたの活力源はなんですか？

皆さんの反応です。それが支えになっています。「良かったよ」という言葉を直接言ってもらえるのも嬉しいし、僕の知らないところで、○○さんが「良かったと言っていたよ」というのを聞くと、活力がみなぎってきます。「良かった」とまた言ってもらえるように頑張ろうと思います。

「僕の役をやってほしい」と言われて、わけも分からず出演することになって。それは中3ぐらいの時かな。河辺さん本人の役でバリに向かう飛行機の中でいろいろな事件が起きるという物語の主演をやらせていただきました。

——それはセリフがいっぱいあったのでは。

ありましたね。そこでちょっと

表に出て人前で演技をすることに目覚めたというか、これは楽しいかもしれないと思い始めました。そして、学校の演劇の授業も率先してやるようになって、12年生の時に、これまで12年間の学びの集大成を見せるための演劇をやりました。1年かけて1人、あるいはグループを組んで取り組んだものを、みんなの前でプレゼンテーションする課題で、演劇もそのひとつでした。僕らはヘンリック・イブセンの『人民の敵』をやりました。温泉に病原菌が混ざっていて、温泉に入ると健康を害することを明るみにしようとする科学者と、公表されると街の利益が減るから隠蔽して今まで通りやりたい政治家の、兄弟の戦いの話なんです。僕は科学者のほうを演じました。うまい言い方ができなくて、人民に敵にされて、その土地から追放されるという役でした。

——12年生とは高校三年生？ そんな社会派なものをやっていたのですね。

今、ロンドンで演出の勉強してい

る同級生が戯曲を選びました。

——やりがいを感じました？

セリフがとんでもない量だったの、かなり辛かったです。僕はセリフ覚えが凄く遅くて。なかなか覚えられないなか、本番が刻一刻と近づいてきて、家が海の近くにあって、砂浜でのた打ち回りながら覚ええました。メロンパンとミルクティーを買って極寒の冬の砂浜に頭をなすりつけながら、毎日何時間も日が暮れるまで覚えていました。とても大変で、もうやめようかなと何回も思いました。そうやって本番を迎えたら、幕が開けた瞬間に全部セリフが飛んだんです。そして……気づいたら終わっていました。

——とりあえずちゃんとセリフが言えたということなのでしょうか。

そうなんです。全部言えていたんです。

——役を生きたという感じなのでしょうね。とても感動的でしたね。覚えてるのは、自分の言ったことに対する反応が、空気を伝わってきて。それがほんとうに楽しかったです。

若手俳優の中に、何者？という感じで

——そこで、俺は舞台俳優になる、と思ったわけではなかったのでしょうか。

映画への憧れが強かったんだと思います。舞台は自分たちで作っ

——そういうえ、今日は確か、単独初主演映画『君の忘れ方』の初日ですね。

——そうなんです。そわそわしちゃってます。明日は舞台挨拶なんです。

——映像のお話も伺います。デビューしたばかりで、いきなりNHKのドラマ『花へんろ 特別編「春子の人形」』(脚本家・早坂暁がうつくしむ人) (18年)で初主演されました。

とても奇跡的でした。僕の事務所の社長がたまたま演出の平山武之さんとすれ違って、「坂東龍汰という新人が入ってきたので、今度よかったら会ってみてくれないか」みたいな話をしてくださったんです。それで後日、平山さんに会う機会を頂けて、まずお話しをして、演技テストをやりました。そのような



公演情報



ケムリ研究室 no.4
『ベシジルタウンの女神』
作・演出◇ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演◇緒川たまき 古田新太 水野美紀 山内圭哉 坂東龍汰 藤間爽子
小園菜奈 後東ようこ 斉藤悠 依田朋子 中上サツキ 秋元龍太郎
尾方宣久 菅原永二 植本純米 温水洋一 犬山イヌコ 高田聖子
5/6～18◎世田谷パブリックシアター、5/22～25◎兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール、
5/29～30◎久留米シティプラザ ザ・グランドホール、6/6～8◎穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール、
6/14～15◎リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館・劇場
〈お問い合わせ〉キューブ 03-5485-2252(平日12:00～17:00)
<https://www.cubeinc.co.jp/archives/theater/kemuri-no4>

流れで出演に繋がりが、とても嬉しかったです。ただ丸刈りにならないといけないくて。同じタイミングでの撮影だった映画『十二人の死にたい子どもたち』(19年)にはカッラをかぶって出演しました。

『十二人の死にたい子どもたち』は杉咲花さん、新田真剣佑さん、北村匠海さん、高杉真宙さん、黒島結菜さん、橋本環奈さんをはじめ若手俳優が集まっていた。そのなかで、坂東さんはちょっと異色なお芝居をしていた気がします。

そのように言っていただけで嬉しいです。周りにはすでに映像作品に出演している方々が多かったので、僕に関しては何者？という感じだったんだと思います(笑)。堤幸彦監督からは、もっと低い声で、大きく、みたいな演出はありましたが、自由に任せてもらっていた気がします。

みつくんをやることに 温かい眼差しでしてくれた

——金曜ドラマ『ライオンの隠れ家』(24年TBS)が大人気でとても注目されました。どんなお気持ちですか。

今までやった役の中では一番お茶の間に届いた実感を味わったかもしれません。放送がはじまった頃は、番組自体があまりマークさ

れていなかったように感じましたが、じわじわと注目されていくことを実感できて嬉しかったです。

——坂東さんの自閉スペクトラム症の演技にリアリティがあると評判でした。(『ライオンの隠れ家』は自閉スペクトラム症の弟と彼のために生きる兄。ふたりの前に突然現れた『ライオン』と名乗る謎の少年との奇妙な共同生活を描くドラマ)

当事者の方がいる役でもあるので責任も感じましたし、失礼のないように演じるには、自閉スペクトラム症について勉強する時間が必要でした。まず当事者の方たちのことを学び、その仕草を見聞きし、それを自分の身体で再現できるようにするために1ヶ月ほど準備期間をいただきました。そういった機会に感謝して、そのなかでできる限りのことをして臨みました。ドラマの自閉スペクトラム症監督を担当してくださった、さくらんぼ教室(発達障害の子供らのための学習塾)の先生をはじめ、皆さんにすごく協力してもらいましたし、プロデューサーの松本友香さん、監督の坪井敏雄さん、主演の柳楽優弥さん、現場のスタッフ、キャスト、みんなが僕がみつくん(美路人)をやることに温かい眼差しでいてくれたことが、一番大事だったのかなと思います。あのチームだったか

らこそ、思い切って芝居をすることができました。

——芝居をする環境や相手役によって芝居も変わるということですね。例えばライオンこと愁人役の佐藤大空さんからは刺激を受けたことはありませんか。

大空くんは本当に頑張り屋さんで、スパー子役でした。まだ5歳なのにぐずらないし、弱音は吐かないけれど、できないことはできないとちゃんと言うし、素直でビューアなんですよね。等身大の5歳の子どもにライオンという役が憑依しているようで、ドラマに一番のリアリティを持たせているのは大空くんの芝居だと思いました。彼がやっぱりどこまでも天然でいてくれたからこそ、僕も柳楽さんも引き込まれていく感覚がありました。ちゃんと相手を尊重する人たちが集まっていたことが、独特の温かみを画面の中に表現できたのかなと思います。「爪痕を残す」という言葉のように、役者は、印象に残りたい、芝居を評価されたいと思いますが、もちろんその気持ちも大事ですが、それが時として邪魔になっってしまうこともあると思います。まず、作品がいいと思ってもらうことが大事だと思うんです。だから僕もみつくんについて、最初、自分が想像していたものよりも少し引

き算したところからお芝居を始めてみたりもしました。

——興味深いお話ですね。あと、森優作さんが同じ自閉スペクトラム症の役をやっていて、ふたりの会話のシーンがありました。たいていこういう役はドラマのなかでひとりですが、そういう役が複数いて、動きが似ているところと似せないようにしているところがあるのが興味深かったです。

森さんの小野寺さんは、すでに僕が演じているみつくんがいることで、少なからず影響されてしまっただろうし、難しかったのではないかと思います。森さんは全く別のアプローチをされていました。

——坂東さんの演技の話がとてもおもしろいので、『ベシジルタウン』がどうなるのかますます楽しみです。

公演が終わったあとで、またインタビューしてください。ある程度時間が経ったほうが話せるんですよ。『う蝕』についても、今だから話せた気がします。

——今後の展望を教えてください。

僕なりのやり方で着実にやっていきたいです。もともと、ものすごく売りたいという願望はないですし、一足飛びにびょーんと進むのではなく、一段一段確かな階段を登っていきたい。例えば、大変な道と楽な道があったら、大変な方を選択すると思います。

「とても楽しい芝居だからね。またやりたい」

劇作家・演出家・音楽家のケラリーノ・サンドロヴィッチ（以下KERA）と、俳優の緒川たまきによる演劇ユニット「ケムリ研究室」が、旗揚げ公演『ベイジルタウンの女神』を5年ぶりに再演します。

当時は新型コロナウイルス感染対策のため、客席を50％に制限して上演されたこともあり、ファン待望の再演となりました。このページでは、ケムリ研究室主宰のKERA、緒川に加え、出演者の古田新太が登場した合同取材の様子をレポートします。

初演時に「圧倒的 đa幸感・祝祭感に包まれた物語」と評された作品と改めて向き合う三名の心境とは!?

ケラリーノ・
サンドロヴィッチ

緒川たまき

古田新太

もう一度じっくり
向き合いたい

——この再演に至った意図・心情を教えてください。

KERA 『ベイジル』の初演はコロナ元年とも言える2020年で、この年に予定していた4本の公演のうち、上演できた唯一の作品でした。ところが皆さんご記憶だと思いますが（感染対策のため）客席の半分しかお客さんを入れることができず、見逃してしまつた方や、配信でしか観られなかった方もきっと多いんです。

緒川 立ち上げからケムリ研究室を追いかけて下さり、観劇を計画して下さった方が結果的に観られなかったケースもありまして、再演すればきっと観に来て下さるだろうという願いも込めています。KERA そして、コロナ対策に追われるバタバタの中で創つたこともあり、もう一度じっくり向き合いたい気持ちもあります。前回も出演してくれたキャストも、そう感じているのではないかと。

緒川 はい。あくせくしながらになつてしまったので、落ち着いて再度取り組みたいですね。そもそもケムリ研究室の立ち上げは関やかなものにしたかったとコロナに華やかる予感すなかつた前年に、祝祭感のあるテイストの作品を創ろうと二人で話していました。それが結果的にコロナ禍での制作になつてしまった訳ですが、皆さまに明るい話題や前向きな気持ちを提供する意味で、ふさわしいものになつたと考えています。

KERA ハッピーな気持ちになれる、とても楽しい芝居だからね。またやりたい。

緒川 そうなんです。またやりたい

気持ちが一番強く。

——古田さん、出演オファーを受けた心境はいかがですか？

古田 KERAちゃんとたまきちゃん、いきなり二人で来られて。

KERA（笑）。

古田 『ベイジル』再演するけど出ない？と、「スケジュールが空いてたらいよいよ」と返したら、KERAちゃんが「ごめん、古田の嫌いな話なんだ」とみないな。

緒川 有り難かったです。古田さんはい話が好きだから断られるかも、とKERAさんから聞いていたの。

KERA その時の気分によるのかなあ？と。

緒川 願うような気持ちでオファーしたので本当に嬉しかった。

古田（今作で共演する）山内圭哉は「古田さん『ベイジル』出るんですか!?」と驚かれました。出るよ！と返事したら「普通にいい話ですよ!」と。

KERA 「普通」ではないと思うけどなあ。僕と一緒にする時はただで、オールドファッションな俳優さんですからね、古田新太は。

古田 この間DVDでちょっと見直したのですが、前半はひどい奴がいつぱい出てくる（笑）。最後がハートウォーミングで終わるから、そこに騙されてたけど。

緒川 そうなんです。「生きる為にはひどいこともある」が世界観の要素のひとつになつています。古田 山内とか犬山（イヌコ）が演じてる役とか、結構ひどい奴なんだよね。

ものすごく
素直なお芝居をする人

——緒川さんと古田さんの役どころを

踏まえて、お二人の共演に期待することと教えてください。

緒川 私はマーガレットという役で、生まれも育ちも大変お金持ちで生活に困ったことがない。かたや「乞食の王様」と呼ばれる古田さんの役は、とりあえずその一日を生きていれば……という生き方をしている。出目の全く異なる二人がほんのり恋をしていくのですが、その瞬間が今はまだ想像で、きなくて。稽古場でそれを実感する瞬間を想像すると、すごく楽しみになります。どんな二人になるのか。

古田 勝手なイメージだけど、たまきちゃんはそのすごく素直なお芝居をする人だと思つていて。オライの芝居はあまり素直じゃないから、そこは変にこねくり回さず、その素直さに乗かっていくのかと。素直なお嬢様に乗かって、振り回される王様になればいいかな。

KERA なるほど。古田 台本にはそこまで細かく書かれてないけれど、食食で書いたら。純粋なお嬢様とは全然違う訳で。

——お二人は初共演ですか？

緒川 初めてです。——ならば、尚更素直な共演ですね。KERA 笑いに關して乱暴に二分する、テクニカルに笑いをとれる人と、テクニクに転ばない方が面白い人に分類できます。緒川さんは明らかに後者。古ちゃん（高田）聖子ちゃん、は前者に属すると思うんですけど、テクニクはそれなりに駆使してても、いつも、技術を過信し過ぎないよう意識したい。テクニクに寄りかかり過ぎると「そういうのはもう散々観たよ」という印象になっちゃうからね。

もっとファンタジーに
寄せられるのでは？

——再演に向けて、脚本の改稿プランはありますか？

KERA 緒川さんと二人で何度か初演映像を見直したのですが、見直す？と反省点が目につきまが、やはり（初演は）台本を書きながら稽古を同時進行させて、目指すゴールは明確にあったものの、どんな肌触りの芝居になるか絞りきれないまま書き進めていたの。いま改めて観ると、ファンタジーと言いつつも割と様々な要素が混ざっている。再演ではもっとずっとファンタジーに寄せた方が、作品のもつ世界観はくつきりするのではないかと考えています。あとは、古ちゃんが王様役をやるので（初演の配役と）ちょっとイメージが変わるんです。妹役の水野（美紀）とのバランスも、改めて調整した方が面白くなりそう。

KERA 古田さんはナセンスを三本やりまして（※「犯さん哉」07年「奥様お尻をどうぞ」11年、「ヒトラー、最後の2000年」）と、何もないく「16年」「欲望の心」というブラックコメディでまったく違った方向性を探ろうとしていたんだけど、コロナ禍で中止になつてしまった。「ベイジル」の初演直前のことです。「欲望のみ」は沢山人が死ぬ、かなり陰惨な作品に構想していました。その反動で「ベイジル」では温かみのある作品をやりたいくなるに違いない……という予測だったんです。今度の再演では、僕の作品ではこれまで見ることでできなかった古ちゃんを見ることだと思います。

——緒川さん、再演に向けていかがでしょう？

緒川 ケムリ研究室では、出演者としてだけではなく、キャストやスタッフを繋ぐ役割を担つていて、旗揚げの時は全てが手探りすぎて、本来私が立ち回るべきことを充分にできなかった。演じるマーガレットさんは人の善意にすがって生きているキャラクターで、誰かを引く張つていく立場とは異なるのですが、ケムリ研究室として皆さんをお招きしている以上、役の持ち味を大切にしつつ皆さんをどう引く張つていくか、それらを両立させたいと目論んでいます。出演者でありながら常にもうひとつの目線を持つていることが楽しい現場なので。

予備知識ゼロで観ていただいて心から楽しめる作品

——KERAさん、今作を一言で表現すると？

KERA そうですね、極めつけのファンタジー。誰が観ても楽しめる、誰でも観に来られる芝居、でしょう。

——最後に、今作で初めてKERA作品に触れる方もいらっしゃると思います。その方たちの背中を押すようなコメントを頂戴できたら。

KERA この作品は入門編として抜群です。近年のナイロン（100℃）作品を一本目を選んでくれやうと、僕の芝居を二度と観ていない人が現れてもおかしくなから（苦笑）。

緒川 入門にも最適だし、色々観て疲れている方にも。

KERA ああ、たしかにそうだね。重い芝居や難解な芝居を続けて観て、少し息抜きしたい方に

けらりーのさんどうすーいー○劇作家・演出家・映画監督・音楽家・ナイロン100℃主宰、82年「ニューエイヴランド「有頂天」」を結成。85年に劇団健康を旗揚げし、音楽活動と並行して演劇活動を開始する。劇団健康解散後の93年には「ナイロン100℃」を旗揚げた。近年は多くの演劇賞を受賞するなど国内演劇シーンに牽引し、シンドロームをはじめ、再結成した有頂天や「KERA&Broken Flowers」「輪木屋」とのユニット「No.11a Lie Space」「ライヴス」など、音楽活動も積極的に進めている。

おがわたまき○女優。映画「227」にてデビュー。97年に舞台「広島に原爆を落とす日」にてユルデフ・ロイ賞演劇新人賞を受賞するなど、数多くの舞台作品、映像作品に出演し、幅広く活躍する。ケラリーノ・サンドロヴィッチ、若松孝子などと、気鋭の演出家が手掛ける舞台公演への出演歴も豊富。

ふるたあらた○俳優。劇団立新橋所属。84年、大学の先輩に誘われたためで劇団立新橋に出演し、以降新橋作品への出演を経て、劇団を代表する看板俳優となる。舞台出演と並行して、映画「T・V・マラソン」など多方面で活躍。9、12月には2025年劇団立新橋45周年興行「秋冬公演」のうら歌舞役への出演も控える。

ケムリ研究室

けむりけんきゅうしつ○20年、劇作家・演出家・音楽家のケラリーノ・サンドロヴィッチと俳優・緒川たまきにより結成された演劇ユニット。これまでに「ベイジルタウンの女神」（20年）、「砂の女」（21年）、「眠くなつた」（23年）を上演。今作が第4回公演にあたる。

Q あなたの活動はなんですか？

KERA やはり猫かな。かわいーんです。緒川さんが地方公演で長期間いないと、僕と端が二人きりで暮らすのですが、そういう時だけ僕に懐いてくる。普段はもう、圧倒的に緒川さんに懐いています。

緒川 一番は拙です。それはKERAさんに譲って……いま旅公演中ですが、いつも飲んでるコーヒを淹れるように道具一式を持参し、普段通りにコーヒを淹れ、普段通りに飲むと、無常な癒されます。丁寧に淹れると、丁度いい味がする。それで精神を整えています。

古田 オイラは「ブラックエンペラ」イカの塩辛なんだけど、えんぺらって三角の部分あるじゃないですか。あれを塩辛にして、イカ墨をかけて煮る風にしてある持ち歩いていて（笑）。馴染みの飲み屋では勝手に開けて飲んでいます。

も最適です。

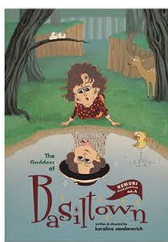
緒川 色々観て考え過ぎてしまつた方が一旦リセットするには丁度いいかも。難しい気持ちにはならず、それでいて心を採まほぐすような本心に素敵な作品です。

古田 観劇は敷居が高いといまだに勘違いしている人たちが多くて、実は敷居が低いものだということ、この作品で思い知らせてやりたい。

KERA まさに！

緒川 あと、前もって知識を得ていないと楽しめる作品もあるなかで、この作品は事前知識にしておかないといけないけど、何もない。

KERA 予習の必要なし！緒川 予備知識ゼロで観ていただいて心から楽しめる作品です。

公演情報
ケムリ研究室 no.4 『ベイジルタウンの女神』

作・演出○ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演○緒川たまき 古田新太 水野美紀 山内圭哉 坂東龍汰 藤岡爽子
小園栄宗 後東ようこ 齊藤悠 依田朋子 中上サツキ 秋元龍太郎
尾方宣久 菅原永二 植本純米 温水洋一 犬山イヌコ 高田聖子
5/6～18◎世田谷パブリックシアター
5/22～25◎兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
5/29～30◎久留米シティプラザ ザ・グランドホール
6/6～8◎穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール
6/14～15◎リョーとびあ 新潟市民芸術文化会館・劇場
〈お問い合わせ〉キューブ 03-5485-2252(平日12:00～17:00)
<https://www.cubeinc.co.jp/archives/theater/kemuri-no4>



各地で井戸を掘るなど民の暮らしを助ける行基(松村武)には、多くの賛同者が行動を共にしている



唐婦りの玄昉(荒谷清水)は、聖武帝の生みの親・みやこが紙を梳きながら永遠の象徴、鶴の姿に変わっていく様子を絵に描く

鶴の姿になった妻・みやこを取り戻そうとするも、押しとどめられる与兵衛(曾田昇吾)



配役

持統帝・聖武帝(首) 元明帝(阿門) 文武帝(軽・首0 元正帝(氷高) 吉備 長屋王 光明皇后(安宿) 孝謙帝のち称徳帝(阿部) 藤原不比等・藤原仲麻呂 畠山養のち藤原三代 みやこ(のち藤原宮子) 与兵衛(のち道鏡) うんず(のち真備) そと(橋諸兄) かぐや みみなし うねひ でなり(のち玄昉) 大伴子虫 謎の助・中臣東人 屍楽人・行基 屍女歌人	八嶋智人 蜂谷真未 秋山遊楽 田原靖子 夏目れみ 久保田武人 梶野春菜 高木友葉 亀岡孝洋 藤田記子 赤名萌 曾田昇吾 山崎樹範 千代田信一 長谷部洋子 茂手木桜子 えびねひさよ 荒谷清水 柳瀬めいみ 福久聡吾 松村武 スガオロベサ・チツル
--	---



藤原氏の繁栄の礎を築いた藤原不比等の孫・仲麻呂(亀岡孝洋)の正体を明かす、生きる屍の3人(左から長谷部洋子、茂手木桜子、えびねひさよ)

カムカムミニキーナ『鶴人』

作・演出◇松村武
2024/12/5～15◎座・高円寺1
2024/12/21～22◎近鉄アート館



己の血などへの不安を払拭すべく、聖武帝(八嶋智人)は安住の地を求め遷都を繰り返す



死してなお自らの血統の存続を娘に伝える持統帝(八嶋智人)



みやこ[鶴]の梳いた紙を高値で売ってきたうんず(山崎樹範)とその金額に驚く与兵衛(曾田昇吾)



息子・橋諸兄(千代田信一)に、年の離れた妹アスカと遊ばぬよう念を押す母・三千代(藤田記子)とアスカの父・藤原不比等(亀岡孝洋)

藤原京から平城京へ都を移し、王家を凌ぐ勢いの藤原家と持統帝から続く血脈を絶やさぬよう、自ら望まぬ王位を継ぐ女たち…。奈良時代のおよそ90年続いた権力を巡る争いの終着点として建立された奈良の大仏。そこまでの経緯を「鶴の恩返し」の話を絡めて描いた、歌あり楽器演奏ありのエンターテインメント歴史スペクタクル！

“超”エンターテインメントは一日にしてならず ロングインタビュー

松村武 (カムカムミニキーナ)

奈良時代の持統天皇からの女系天皇を中心とした生ものの歴史を軸に、「鶴の恩返し」という虚構を巧みに織り交ぜ、たぶりの笑いと共に私たちの生き方にまでこだわった、超エンターテインメント一大叙事詩、現代口語「カブク」演劇として立ち上がった『鶴人』を観て、本誌編集長の坂口がその創作の原点に少しでも触れたいと老骨にむち打って、カムカムミニキーナの主宰者松村武にロングインタビューを敢行した。



面白いシーンの連続

—— おつかれさまでした。休憩込みで2時間45分でしたがもっと観ていたい、もう一幕あってもいいかなと思いました。

そう言ってくださる方が結構いらつしやって。歴史ものですからあの後もいつまでも続けられるんです。事件はいっぱいありますから(笑)。

——『鶴人』の面白かった要因ってたくさんありますが、いくつかあげていくと、まずは台詞のやり取りがどのシーンも活き活きとしていて、登場人物たちがとても愛おしく見えました。

稽古の始めにワークシヨップみたいなことをして、そこ

でみんな考えてシーンを整理した上で、台詞も当て書きなので、その分役者はやりやすいかなとは思っています。

—— そこだけ見てもすごく面白い、というシーンの連続でした。まず最初の持統帝(八嶋智人)と県犬養(のち橋)三千代(藤田紀子)のコミカルにズレている会話のシーンでこのお芝居をたのしむ心構えができました。(下段公演台本参照)

物語の深みを作る俳優たち

藤田はスタンダップ・コメディアンという一人で笑わず分野もやっているんですね。でも今回は女優というところをしっかりとやろうと、全体を通し

てあの役をだいぶ掘り下げて、ついギャグにいきたいのを我慢して。結局ある人間に見えな

きやいけないというのをやりましたね。

—— 藤田さんは出番がたくさんあって、藤原不比等役の亀岡孝洋さんと二人で、二人だけの話でもとても面白いけど、物語の繋ぎの部分でも役割を充分に果たしていましたね。

あの二人の役は歴史上では悪役といわれがちで。でもあの二人がやることで、そんなに悪く思えないっていうのが可愛らしく見えてくる。その辺がまた演劇の面白いところだと思

うし、物語の深みだと思いま

めに作られた「幕園」を管理する

三千代の下で働いている、3人の女性もすごく頑張っていました。

狂言回し役の長谷部(洋子)、茂手木(桜子)、えびね(ひさよ)ですね。

—— 最初は生きているけれども、途中で死んで亡霊になっているという何か妙な存在で、歌もあったりして、ああいいう役はとても難しい。

難しいです。長谷部は劇団員ですが、あとはオーディションで来てくれた二人なんです。この二人はそれぞれもういろいろな場を経験してきて、どんなタイプの演劇も一回やってい

すみたいな感じの人たちなので、そこがいいんです。あの役はいろいろな技が必要で、三人すよね。

効くんですよ(笑)。

—— あれで逆に物語がリアルに見えてくる。

あれはもう記号としての作り物だというのが100%見えるわけですね。だけれども、ある瞬間に本当に鶴みたいに見える、そこが演劇の極意みたいなところだと思っ

—— この芝居ではみやこは「鶴」だったということにして、民話の「鶴の恩返し」と絡めたことすごく見やすくなりました。

「鶴の恩返し」という話が混ざってくるのと見る人の視線が違ってくる

—— しかもその鶴は折り紙とかパペットで出てくる。あれが効きま

その木簡には日常生活に密着した記述がいっぱいあって、その中に長屋王が鶴を飼っていたということが書かれていて、しかもその餌が当時貴重だった米というところに驚きました。いろいろ調べていった結果、あまり長屋王の話ではなく「鶴」の要素が残りました(笑)。

—— 天皇が作った薬園が重要な舞台になりますが、実在していた？ この芝居では幕園(くれえん)と言っていて、ぼくの造語です。持統天皇が作った薬園自体はあるんですけど、幕園というのは僕が作った言葉で、クレーンって鶴の英語なんです。

組だから一人が出張り過ぎてもだめじゃないですか。その辺も絶妙なバランス感覚がみんなあって、一番難しいことをしてくれていると思いますね。

—— 荒谷清水さんの存在感もすごかったですね。でなりという幕園(天皇家が管理する薬園)の番人的な役から唐帰りの僧玄昉へというところもある種破天荒な役でしたか。

いやあ、すごいです。僕らより上の先輩ですけど、とにかくもう昔ながらの体を張ってというのを全然妥協せずに。本番になって、どんどん上がっていきますからね。あの作品にはあの肉体力が必要なんです。それがとても良かったです。

—— そちらの庶民グループで言えば、山崎(樹範)さんとか千代田(信一)さん、曾田(昇吾)さんたちもね。物語全体の接着剤というか、庶民的な会話のリズムで観客を楽しませながら気持ちよく物語に誘ってくれる存在でした。あ

あいうところがいいと作品の厚みが増える感じがしますね。

—— そういうことでいうと天皇とか、みやこ(鶴)や、その周辺の役の方はまたちょっと別の大変さで

言葉遊びです(笑)。

—— 薬草を栽培して天皇の命を長らえたりとか、毒にもなる。

はい。人生の終わりを研究するイメージとして幕園なんです。老人を使つて長寿の実験しているわけですね。寿命を何年延ばせるのかとか、反面、これを飲んだら早く死ぬんだというところも分かっている。だから毒薬の素になって藤原家が関わる暗殺などに利用されていきます。

—— ここでも虚実が入り交じっているわけですね。

藤原の家が毒薬を使っているいろいろな人を殺したのではないかって疑いは史実にあります。毒薬というのをも今みたいに科学的なものはないですから結局全部草ですね。

主要メンバーがそれぞれの役割を果たす

—— そういうことで、肝心の八嶋さんの話がなかなか出てきませんね。そんなに八嶋さんの話をしなくてもカムカムね、っていうのは素晴らしいですね。

それが一番いいんです。それこそ昔からちよつと脱却したところではありますね。八嶋にせよ、山崎にせよ、彼らの劇団での課題は悪目立ちしてしまふということなんです。知名度が高いからその人ばかりを見てつたつちやうと失敗

カムカムミニキーナ 『鶴人』 公演台本より引用

【下書き】
山車のように巨大な自分の像を背に、老いて杖歩きもままならぬ持統帝が仰々しく登場
女官筆頭の県犬養三千代が傍に控える

【台詞】
持統 三千代さん、三千代さん

三千代 どうされましたか？どこか痛むところがありますか？

持統 三千代さん、違うの三千代 帝「さん」いらな

いです。畏れ多いですからホント、私ごときに

持統 三千代さん、聞いて。私わかるのよ、もう長くないのよ

三千代 三千代でいいんです、もしくは「おい」とかでも全然いいのです

持統 三千代さん、よく聞いて。言ってる内容をよく聞いて、私も長くはない……三千代 もししくは呼びかける必要もないんですよ。帝がこの世で一番なんですから。存分に好きにしゃべっていただければ。こちらが全部汲み取りますから、ね？今後「さん」づけ禁止、どうしました？具合悪いの？持統 聞いてくれな

三千代 またすねちゃいましたか？

持統 私の話を聞かないのは三千代さんだけだよ

三千代 え？誰？誰ですか？「さん」づけ禁止ですよ持統 だからね、私もう絶対長くは……

三千代 はい！終わり。愚痴撲滅。体によくありませんよ。楽しみなことだけ考えましょう

持統 楽しみなことなんて何一つ……

三千代 可愛いお孫様の行く末は？

持統 ああ、それむしろ！むしろ未だ幼いカルさんの行く末を考えると余計に……今ここで私が倒れたらあの子の行く末は……

三千代 はい！仮定の話にはお答えを差し控えてさせていただきます

持統 三千代さん、私が死んでもあの子のことを……三千代 はい「さん」ダメ。禁止破りました。罰則です、お昼寝の刑だ。(持統を退場させる)



幕園で働く下男でなり(荒谷清水)と、管理責任者の三千代(藤田紀子)



時や場所などの移ろいを歌に乗せて伝える麗女歌人(スガ・オロベサ・チツル)



美千代(藤田紀子)と持統帝(八嶋智人)



持統帝の後を継いだ孫の文武帝(秋山遊楽)



母・元明帝の跡を継ぐのは長女の氷高(田原靖子)しかないと言説する妹の吉備(夏目れみ)とその夫・長屋王(久保田武人)

ですから。だから演じる八嶋や山崎は大変だと思いますよ。

——そうですね。抑えながらも、やることは薄くてもダメですからね。そういう意味では、しっかり役割を果たしていたということですね。

最後に、八嶋は聖武天皇という都を移しまくったりして迷走する天皇になりましたけれど、やっぱりあの辺が深刻にならずに見られるというか、あんなのもう本当に狂っていつている状況ですから。人によっては重い感じになっちゃうんですけど、その辺も割と軽快に見られる。そこで見る人に想像する楽しみが生まれるという感じですね。

——はい。ちょっとずつ外部から人も入れて何が起るかわからないようにしたい、というのはいつも思っています。だからと言って、劇団側がゲストをもてなすみたいな形になりすぎると、やっぱり作品としてひとつの流動体にはなかなかならないですね。

——むずかしいですね。どうしたらなるだろうかというのを試行錯誤してたり着いたのは、やっぱり最良しいという。ベテランだからと



鶴のポーズを取る聖武帝(八嶋智人)



平城京への遷都のどさくさに飛び立った鶴のみやこを生け捕りにした大伴子虫(柳瀬めいみ)

最後の方で松村さんが演じた行基。かっこいいですね。

——はい、あれはもう座長芝居です。

——だからこそいいですね。典型的な座長芝居と思われる

——お国言葉でしたよね。そうですね。ちやうとそれだけのことです。

——その中で大仏を作る苦悩というか、お芝居にも出てきたけれども、庶民は飯もろくに食えないで死人がいっぱい出た時代ですね。

大仏はね、奈良だと観光の目玉だし、ありがたい空気になっているけれども、やっぱり歴史

——だ、みんな当然のように思っていることが多くて。でも僕らが小劇場を始めた頃というのは、初めて出て主役とか強引にやるわけじゃないですか。自分からやるから。そういうところか、ちやうと今弱っているのかもなっている。

——オーディションの参加者を募って「ゲストであろうが、ベテランであろうが、劇団員であろうが関係なく、みんなが動いている形に惹かれる」という人がとても多いですね。

——作品をつくる原点の話ですね。はい。無名の若い人はアンサンブルみたいな役割からステップアップしなきゃいけないもの

——それがまさに実現しているというのが今回の『鶴人』だったと思うんです。どんな役の方もちゃんとそこに存在している。本当に皆さんが自分たちの役割をきち

地震の復興とかろくにせず万博やっているのと同じです。まあ、それをあからさまに言わない芝居のスタイルが素敵だとは思いますが。

今回の公演は創設から34年間のひとつの集大成

——今回の公演はカムカムミニキーナ創設から34年間のひとつの集大成だと思います。もちろんこの後も続いていくわけですが。

——ぼくは最近カムカムの芝居の特徴って「手数芝居なんだ」って言っているんです。

——それはもう何を何処に移動させるとか、ここで笛を吹くとか、演技も含めて物を動かす、着替えるとか、そういう手数がものすごくある、手数こそが演劇の見せ場なんだぐらいの極端な考えを持って作っているんです。

——今回はその手数の規模がもしかしたら最大だったんじゃないかなという感じがですね。

——お芝居があつて、歌があつて、道具を出入れして、楽器の演奏もとすべて役者がやっていて、それがうまく繋がってとても見やすくてきていました。

——ばつと場面転換したり、急に何か変わったりと、昔からそういうのが好きなんですけど、それをわりと突き詰めている感じですね。突然出てくる道具なんか全部劇団員で作っているんですけど、そういう製

——と自覚しつつ楽しみなから出てくるからこそ、全体として面白さのオーラが出てくるんだと思うんですよ。それがね、なかなかそうはいかない。

——それはもう年輪だと思っていただければ。いろいろな失敗をしてきた34年間なので、その分だけ知恵がちやうとあるのかもかもしれないですね。

——ワークシヨップでみんなの思いが擦り合わされていく

——冒頭から『鶴人』の面白かった要因のお話しをしましたが、最後に、やはり始まりは松村さんご自身の出身地、奈良の話がベースになっていることですね。

——もうここの10年ぐらい、奈良の話というか、奈良時代よりも前の話をやることも多くて、そうすると当時その辺が都だったりするから自然と奈良の話になるわけですね。

——はい。

——物語の深みとかつて自分のDNAみたいなものから掘り起こすものかなって最近思っています。遺伝子というか、故郷とか先祖とかそういうことにかかわっていくことを必然的に思うことで、わりとすらすら書けるんですね。

——なるほど。

——演出なんかも故郷でよく見る風景みたいなものをずっとイメージできているんです。演劇

作物も含めて、なんとかすんなりと見ることができるようになりました。そのことに關してはうちの集団は自信があります。

今回の公演でも出演者のみなさんがとても自由に、役の大小にかかわらず役割をすすんで果たしているのが印象的でした。

——そうですね。最近になってそんな風になってきましたね。ちやうと前までは若い人はアンサンブルね、みたいな考え方があったんですけど、それを何年かかけてちやうとずつなくな

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

——はい、今回完全になくなりました。なので、八嶋とて体が空いたらドアを開けたら、鶴を動かしたりとか。「その時空いている人、手を上げて」「着替えられる」「じゃあ、よし！行け」とか言って作っています。

松村武

まむらたけし○奈良県出身、早稲田大学在学中の1990年カムカムミニキーナを旗揚げ、松村と八嶋智人の圧倒的な掛け合いと、強引な展開にもげない女優たちの奮闘で、『越前牛乳』『大江戸コブラ』などボツな傑作を連発。

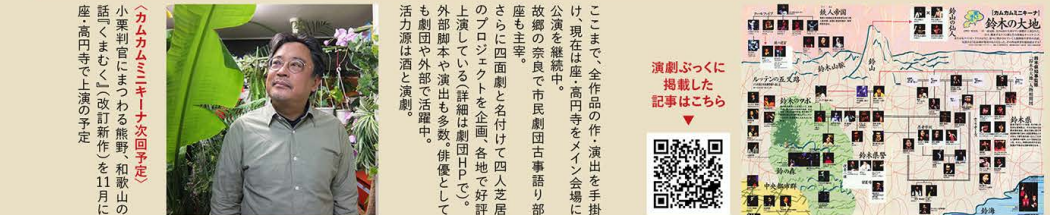
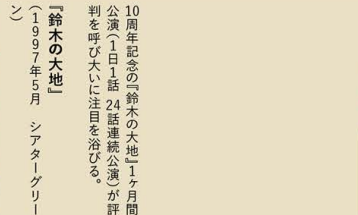


「越前牛乳」飲んでリビエー」(1999年5月 中野ウエントエンドスタジオ)

「大江戸コブラ」いなかせなじい」(1999年10月 高円寺明石スタジオ)



演劇ぶっくに掲載した記事はこちら





数学女子の弦子(村上弦)と同棲中の恋人・和哉は、和哉の言う通り、弦子が「運命の人」かどうか確かめるため、時空を遡る旅に出る!ダンスを踊る和哉の代役は、お面を被った振付の加藤律が担当



1945年、亡き父の発明品・携帯用小型計算機を手に欧州の西端にある公園にやってきた娘(梶川七海)と母(日野あかり)



小学生の頃から和哉を取り合っていた日野と七海。担任のヒデ子先生は、代役のイトウシンタロウ



何度告白しても思いが伝わらない日野と和哉が最後に会った日の喫茶店。話が平行線だと主張する日野に、「平行線は地球の果てまで行けば交わる」と説明する弦子

同棲中の恋人が運命の人なのか、記憶を頼りに小学生の頃まで遡り、数学的に証明しようとする2人。第二次世界大戦下、ヨーロッパのある国に研究半ばで他界した夫の意思と未完の手続き、計算機を手に入れた完成品を作ろうと試みる母と計算が得意な娘がいた。時代を越え、算数を鍵に運命を切り開く女子たちの物語。

NICE STALKER『女子と算数』

作・演出・出演◇イトウシンタロウ
出演◇村上弦 大森翔吾 日野あかり 梶川七海
佛淵和哉等身大段ボールパネル(CV:帯金ゆかり/DANCE:加藤律)
2024/12/25~29◎ザ・スズナリ(25~27は公演中止)



不屈の“表現する魂”はアクシデントを超えて。

主演を「パネル」にして人が動かし、黒子スタイルの演者が台本を片手に台詞を言う。公演直前に7人の俳優のうち3人が出演できなくなってしまう絶体絶命の状態から、とびきりのエンターテインメントを作りあげたナイスストーリーカーのみなさんの不屈の「表現する魂」に感動しつつ、もうほぼ武勇伝というその顛末を主宰のイトウシンタロウに聞いた。

苦肉の策の等身大パネル

——公演お疲れ様でした。とても面白く見せていただきました。
7回の予定が2回しかできず、何度も振り替えをお願いしたり、本当に申し訳なかったです。来ていただけたお客さまは、応援する気持ちで迎えてくれたと感じています。

——簡単な経緯を教えてください。

まず、もともと出演を予定していた女優さんが1人、公演の2週間前に体調不良で降板することになり、桑田かすみさんに代役をお願いして、一旦バタバタしました。

——なるほど。

その後、劇場入りした12月22日に主演の佛淵(和哉)君から微熱が出たと連絡がきて、次の日に熱が38度台になりました。この時点では感染症かどうか不明だったので、とりあえず初日の25日と26日は中止して、3日目の27日からやれる準備をしていました。

——はい。

さらに25日に2人が発熱して、これは感染症の可能性が高いぞと。初日の2日前に、出演者が7人中3人いなくなったんです。

——大変な状態ですね。

そのうちの1人は主演でセリフがすごく多いので、まず代役を探すのは難しいだろうし、あとの2人も代役を立てなきゃいけない。——そこで主役を等身大パネルにするわけですね。

実は等身大パネルを立てた公演をだいぶ昔にやったことがあったんです。けどあまりに大変だから二度とやらなかったんです。一応その経験がありました。

救世主の登場!

——その時点で帯金ゆかりさんに、オフアーを入れたんですか?

帯金さんは10年前の『女子と算数』でヒロインを演じていて、そこから何年も一緒にお芝居を作っていたので、この緊急事態に入ってもすぐに溶け込めると思ってた。もう世界中探しても彼女はいなかった。

——帯金さん、素晴らしいかったですね。

偶然なんですけど、彼女は、この5年で朗読劇の経験を積んでいて、完璧なスキルを身につけていたんです。台本を読んでもいったん目を離して、また戻って簡単に見えるけど、難しいんですよ。——等身大パネルを動かしていたのは?

舞台監督の水澤(桃花)さんで

そうですね。ずっとパネルを相手にリアルな演技を求められていて、帯金さんのフォローがあったとはいえ気持ちを切らさずにはがんばってくれました。

——大森さんはアクシデントにもめげず、いつもの大森さんでよかったですね。

安定の演技をしてくれるので、頼もしいです。

——そして日野(あかり)さん、一途なのにどこかズレている、シリアスなのにコミカルな存在感が素晴らしいかったですね。

役についてすごく論理的に考えているのに、舞台上で演じているときは忘れてるんですよ。素晴らしい女優さんです。

——1人の男性を3人の女性が取り合うというお話なので、主役がパネルになったおかげで、見やすくなったような気がします。

生々しさが消えたかもしれないですね。パネルは虚構だから、かえってお客さんが、集中して見てくれるようになったというか。前のめりに見てくれて、心配して

す。佛淵くんのセリフやリアクションが全部頭に入っていて、完璧にコピーした動きを真似してくれたので、最初のリハーサルは盛り上がりすぎたんです。

——よかったですね。

ですが、お芝居の半分ぐらいの所まで来て、女優さんたちのテンションがものすごく下がったんです。

——どうしてですか?

前半は楽しいシーンが多いから良かったんですけど、後半だんだんシリアスに感情を出す演技が必要になってくると、リアクションがないパネルに対して、感情が動かないので次の台詞がうまく出てこないんです。なのでこのままではできないと言われて。——ぼくとしてはもう何と答えていいかわからなくなり。

——困りましたね。

その時、佛淵くんから電話がきて、インフルエンザであることが判明したと。元々佛淵くんが帰ってくるまでパネルでやるという試みだったけど、彼が帰ってこないことが確定してしまっ

——絶体絶命です。

それでリハーサルをいったんやめて、みんな話をしたんですけど、もう無理だという雰囲気。——ぼくとしては何とかやる方法を考えたいって、ずっと平行線だったんです。

主役に変化が必要だ

——大変ですね。

すると帯金さんが「私が途中

いたシーンも思ったより伝わったように感じました。

強い気持ちがあればこそ

——アクシデントを乗り越えて、というか糧にして、素晴らしい作品ができましたね。

結果として目標から遠くないものに、たまたまなったとは思いますが、今どう咀嚼していいか本当にわからないです。

——たまたまではなくて、これまでのみなさんの蓄積があって、その時々の努力があって、表現への強い思いがあって、それらが今回のアクシデントを触媒にして、あの作品ができたわけです。それまでの稽古も含めて、やっぱり表現に対する皆さんの強い気持ちがあったからこそできた。面白い作品ってそういうものだと思います。

——そうおっしゃっていただく、やっと次に進めるかな。——あります。あたりの言い回しになってしまいましたが、本当にみなさんのおかげでできた作品です。



イトウシンタロウ

劇作家、演出家。早稲田大学演劇研究会を経て、2014年よりNICE STALKERを旗揚げ主宰となる。世の中の無理理解のために物語を醸すことの多いテーマを扱いながら、オリジナルで普遍的で楽しい作品を発表している。
次回予定◇NICE STALKER「これからの10年のための試演会」9月下旬頃◎都内の小スタジオ(予定)

見事に黒子姿で代役を果たした帯金ゆかりさん出演までの詳しい経緯は、連載(55ページ)へ!



第5話「ゴドー、待ちながら」(『FINAL FANTASY VII REBIRTH』SQUARE ENIX)



第6話「幼稚園」(『このダンスをする』2700)



茂山千之丞

しげやま せん の じょう ○1983年生まれ、京都府出身。1986年に初舞台を踏み、1995年に又従兄弟たちが結成した「花形狂言少年隊(現Cutting Edge KYOGEN)」に参加。2008年から脚本を書くようになり、2013年に「ヒyakumanben」、2014年に「マリコウジ」を立ち上げる。茂山家の狂言会以外にも、現代劇の出演やオペラの作・演出、TV出演など幅広く活動している。2018年に三世茂山千之丞を襲名。2019年に「第37回京都文化賞奨励賞」受賞。
次回予定◇『新作“純”狂言集マリコウジ』6/14◎大江能楽堂 6/15◎セルリアンタワー能楽堂
<http://dojicompany.jp/>



第4話「美しいひと」(『Love Me, Please Love Me』/written and performed by Michel Polnareff)

ですが。
父(茂山あきら)が一時期アメリカ人の演出家と組んで海外戯曲に挑戦していて、そこで一番やっていたのがベケットでした。だから僕も小さい頃から、芝居というベケット、というイメージがあります。
——ベケットと狂言が共通している所って、何かあるのでしょうか？
ベケット作品って、登場人物の背景とか内面が、まったく提示されないものが多いじゃないですか？狂言もそうなんです。主人と召使が出てきても、彼らの上下関係以外のことはわからないし、それが別に大事なことはない。だから以前、現代劇の役者さんと『ゴドーを待ちながら』を

やった時、他の方は台詞と台詞の間の気持ちのつながりとかをすごく考えてらしたけれど、僕はその場面がお客様にとって面白いかどうかの方に、意識が行ってました。
——役の内面より、与えられた役割がいかに面白く見えるかの方が大事だと。それは確かに狂言っぽいんです。
だから言っていることがさっきとまったく違ったり、突然意味なく笑ったり泣いたりする演技に、全然違和感がない。喜劇の場合は、そういう不条理な状態の方が面白かったりするすし。それでお客様が面白がるのなら、別に人物の感情が完全にながっていないでも、芝居としては成立してるんじゃない？と思います。

——もう一つ主宰している「マリコウジ」では一転、伝統芸能のスタイルに則った新作を発表していますね。
古典の狂言って、上演できるものがどんどん減ってるんですよ。元ネタがわからないからウケないとか、「うわ……」という雰囲気になるとか。だから今のうちに、ちょっと先の未来の人も楽しめる狂言を作っていくべきじゃないか？という提案の場です。狂言のテクニクさえあれば、誰でもその役ができるというのが、古典化の条件。再演が可能で、長く演じてもらえそうな新作を作っていく動きが、狂言界全体に広がればと思います。次回公演のネタもそろそろ考えないといけないんですけど(笑)、一番スタンダードな、主人が太郎冠者呼びつける「小名狂言」を作ろうと思っています。
——二世千之丞さんも本当に新しいことに挑戦する方でしたが、見事にスピリットは受け継がれていますね。
他の狂言師がやらないことをやる名前という意識は、すごくあります。ただ祖父は自己イメージが二枚目な人で、確かに女性にモテた人なんですけど(笑)、僕はとことん三枚目。おのずから祖父とは違う方向に行こうと思います。祖父と父が他からお叱りを受けるようなことをやり過ぎて、何をやっても「まあ、千之丞やったらしゃあないな」って思われます。
——それはそれで、ある意味有利かもしれないですね。
最初からあきらめられている(笑)。次の代のためにも、そういう攻めたことをやり続けたいな、という感じです。



第3話「那須与一扇ノ的 風が吹けば桶屋が儲ける段」(『A Day In The Life』/written by John Lennon and Paul McCartney, performed by The Beatles)



第2話「ホーム・ネーション・アーミー」(『Seven Nation Army』written by Jack White, performed by The White Stripes)

未来の笑い と 狂言のために

誰にでも親しみやすく、どんな風にも料理ができる「お豆腐」のような狂言を標榜する、京都の名門・茂山千五郎家。その中でも三世茂山千之丞は、狂言に限らず多数の脚本を執筆。伝統芸能の枠を壊した活動で名を馳せた祖父二世千之丞同様、幅広い「笑い」に取り組んでいる。「ヒyakumanben」は、一門の役者たちと共に、千之丞作(本名の茂山童司名義)の現代風コントを披露するユニット。タイトル通り、様々な名曲や名作をモチーフにした本作のことや、狂言と演劇との関係などについて聞いてきた。

小一時間後には忘れる
ただ笑ってもらえる舞台上に

——新作狂言と並行して、現代コントのユニットを作ろうと思ったきっかけは？

狂言を書いているうちに、現代風にやった方が面白いと思うネタが増えてきたんです。狂言は最初に役者が状況を説明してから、ゆったりとしたペースで演じる。それとは逆に、明転したらもうおかしい状況から始まっているとか、現代のテンポにした方が面白そうなのがあつて、そういうネタをやるために始めました。
——『ジョジョの奇妙な冒険』のスタンドが、狂言風の動きで戦うとか、すごく朗々とした声でクダを巻くとか、狂言の演技が掛け算になっているのが面白かったです。

うちの狂言師って、僕も含めて基本的に不器用なので、自分にできないことは本当にできないという、割と役者失格な人の集まりで(笑)。だからどうしていいかわからなくなると、だんだん古典の動きになつてくると、小さい声でしゃべると「お客様に伝わって

てるかな？」と不安になるので、つい声も大きくなる。でも別に狂言師であることを意識はしていなくて、その人の個性の一個みたくに考えてます。

——5本目のコントの元ネタが「ゴドーを待ちながら」と思ったら、ゲームの「ファイナルファンタジーVII」だったんですね。

あのゲームって、登場人物たちが自分の意志とは無関係にいろんな状況に置かれて、そこから自分が考える未来を、自力で選べるものなのか？という物語なんです。そういう筋の話が他にないかな？と思った時に「あ、「ゴドー」はそうじゃないか」と。なのでゴドーの視点から、あの物語を描いてみようと思いました。ああいう答の出ない話って、コントになりやすいんです。

——そういう哲学的なコントを、お笑いコンビ「2700」のオマージュネタで上書きする構成がすごかったですね。

僕は作品を通じて、お客様の人生を変えたいとか、衝撃を与えたいということは一切考えてない。笑うためにだけに存在する舞台であってほしいので、最終的にはくだらないネタで終わらせるようにしています。そして見終わって小一時間ぐらいいしたら、内容を忘れてしまうようなものであってほしいんです。だから僕も、自分の作った作品をまったく思い出せなかったりします(笑)。

他の狂言師がしないことをやるのが「茂山千之丞」

——茂山家の皆さんは「ゴドーを待ちながら」の作者の「サミュエル・ベケット」の舞台をよくやっているという印象があるの



ミュージカル・クエスト
ゴールドン・リバティ
 作・演出◇大野拓史 1/25～3/9◎東京宝塚劇場

TAKARAZUKA
宝塚
kaleidoscope
月組公演
 MOON TROUPE



Takarazuka Spectacular
PHOENIX RISING
 (フェニックス・ライジング)
 -IN THE MOONLIGHT-
 作・演出◇野口幸作



が出てきたので、毎日皆様への感謝の気持ちでいます。東京公演もその気持ちでいきたいなと思っています」

東京宝塚劇場初日前園み会见で、トップスターの大羽根を背負った想いを鳳月杏はこう語った。2006年初舞台の92期生。95期生、97期生が各組でトップスターとなっていたなかで、ひたむきにコツコツと芸事に励んで舞台を務め続けてきた鳳月の月組トップスター就任は、それ自体がひとつのドラマと言えるほど、勇気と希望を届けるもだった。

そんな鳳月と、やはり真摯に作品と役柄に向かいながら地力を高めた天紫珠李の新トップコンビの華やかなお披露目の為に用意されたのは、宝塚ではこれまであまり例がなかった西部劇に題材を求めた大野拓史によるミュージカル・クエスト『ゴールドン・リバティ』。オープンしたばかりのレストランに無法者たちが乱入。見かねたウェイターの男が颯爽と騒ぎを納めると、駆けつけた保安官はなんと無

「宝塚大劇場の初日は私なりに色々追われていて、羽根を背負って一番最後に出ていくというところで、みんなだったりお客様を見渡す余裕がなかったのですが、毎日舞台を踏んでいくなかでそういう意味でもだんだん呼吸ができるようになってきたので、今は待つてくれている月組のみんなと劇場全体を見渡す余裕

法者ではなく、ウェイターに銃を向ける……。という、冒頭からの展開はこれぞ西部劇！これぞ主役の登場の醍醐味に溢れて飽きさせない。正直ここまで絵に描いたような展開が浮かないのは、宝塚歌劇が持つ幻想性故。何よりヒロインが抱えている大きな秘密から、アメリカ合衆国が掲げていた理念が資本家たちによって食い荒らされている現状とタイトルの真実の意味が明かされる終盤の感動は絶品。ヒーローの鳳月、保安官の間桐柚乃、ヒロインの天紫をはじめ、月組生の高い芝居力が生きた賑やかかつヒーローな作品に仕上がった。

そこから続く『PHOENIX RISING』は野口幸作が鳳月の芸名と来し方に「鳳凰」PHOENIXを重ね、アジア諸国を巡るというこちらも大きな特色のあるレビュー。トップコンビ、風間はもちろん礼華はる、彩海せらをはじめ次世代のスターたちの持ち場も更に大きくなり、不死鳥のように輝き続ける新生月組の魅力にあふれた二本立てとなった。



月組公演予定

王朝ロマン
『花の業平』
 ～忍ぶの乱れ～
 作◇柴田侑宏 演出◇大野拓史

Takarazuka
 Spectacular
『PHOENIX RISING』
 (フェニックス・ライジング)
 -IN THE MOONLIGHT-
 作・演出◇野口幸作
 出演◇鳳月杏 天紫珠李
 4/28～5/27◎全国ツアー

月組Bow workshop show
『Twinkle Moon』
 作・演出◇櫻畑亜依子
 5/10～23◎宝塚パウホール

星組公演予定

ミュージカル
『阿修羅城の瞳』
原作◇劇団☆新感線「阿修羅城の瞳」
(作・中島かずき)
原作演出◇いのうえひでのり
潤色・上演台本・演出◇小柳奈穂子
ファンタジック・タペストリー
『エスペラント!』
作・演出◇生田大和
出演◇礼 真琴
4/19～6/1◎宝塚大劇場
6/28～8/10◎東京宝塚劇場

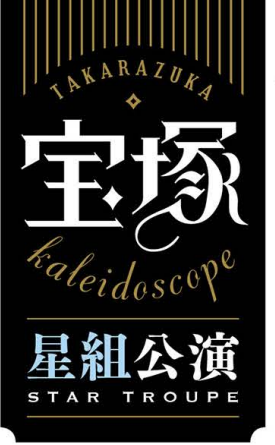


の趣がある曲がズバリと並び、高音域も自在に歌う礼の新たな魅力がここに噴出し、いく。更に日替わりの短いトークタイムを挟んだ後半は、礼が宝塚で演じてきた役柄に共演の星組メンバーが扮し、「男役・礼真琴」のこれまでが視覚的にも表されたメドレー、やはり礼が扮した様々の「ヴィランズ」を集約した異色のメドレーと、斬新な切り口が興趣を掻き立てる。そして最後は礼自身の作詞による「Souls」。夢が現実になることは、単なる成就ではなく新たな戦いだけだ。その試練を経て唯一無二になる為に、君が憧れの先へ進む気持ちを僕が絶やさない、という趣旨の歌詞が、男役・礼真琴を愛した人々への感謝だけではなく、あくまでもエールであることに、礼真琴の伝えたい想い、スターとして、アーティストの在り方が集約されているのを感じた。

そんな礼と共に明日を見つめた暁千星、存在感をジャンプアップさせた天飛華音をはじめ共演の星組精鋭メンバーも充実。息抜きのコント場面などを一切排し怒涛の展開を選んだ、総合演出の大田高彰と構成・演出の竹田悠一郎の慧眼と共に、これぞ「令和の武道館コンサート」を感じさせる、礼真琴ならではの忘れ難いステージだった。

礼真琴
日本武道館コンサート
ANTHEM—アンセム—

総合演出・ステージ制作◇大田高彰(インターグループプロダクションズ)
構成・演出◇竹田悠一郎
1/18～21◎日本武道館



広いステージ上に組まれた近未来的なセット、様々な映像、吹き上がる炎、レーザー光線など、日本武道館に相応しい目を奪う効果が次々と繰り出されるなか、礼真琴はそれらすべてを自身の背景として背負い、舞台のセンターに鮮やかに立ち続けていた。その姿は礼真琴という一人のアーティストが獲得した大きさを、如実に印象づけるものだった。

礼真琴日本武道館コンサート『ANTHEM—アンセム—』と名付けられて開催されたこのコンサートは、本年8月に退団を発表している、星組トップスター礼真琴を中心とした特別な公演だった。各組のトップスターがこうした時期に自らの名前を冠したコンサートを開催するのは、宝塚の定番のひとつとなっているが、そこで日本のライブパフォーマンスの聖地と言える日本武道館が選ばれたのは、真矢みき(現・真矢ミキ)、柚希礼音に続いて礼が僅かに三人目。つまり、ひとつの時代を象徴するスターだけが立ってきたこのステージで、礼は更に一人のアーティストとしての覚醒を見せてくれた。前半は礼が昨年9月に発売した「POPのカヴァーアルバム『REACH』」からの楽曲を皮切りに、タイトル曲の「ANTHEM」応援歌」に通じる、人生の応援歌

彩風咲奈



いましかない彩風咲奈の 全てをお届けするコンサートに！

抜群のプロボーションと秀でたダンス力を武器に、宝塚歌劇団入団当初から注目を集め、爽やかな芸風で雪組トップスターとして活躍した彩風咲奈。2024年10月、彩風が宝塚入団を決意した作品でもある、宝塚歌劇を代表する大作『ベルサイユのばら』で惜しまれつつ退団後の第一作公演となる彩風咲奈1st Concert『no man's land』が、5月大阪・梅田芸術劇場メインホールと、東京・東京国際フォーラムホールCで開催される。そんな注目のステージを控えた彩風に、コンサートに賭ける想い、退団後の日々、更に宝塚で得た様々なものについて語ってもらった。

タイトルに 込められた想い

——宝塚を退団されてから、日々の過ごし方や時間の使い方などは変わりましたか？

トレーニングやレッスンは続けているので、変わったと言えは変わりましたし、変わらないとも言え変わらないう感じですよ。ただやっぱり公演に向けてのお稽古に励んでいた時間がなくなっただけ、最初は何をしようかなと思いましたが、いままでできなかったこと、お掃除や、片付けをゆつくりすることができていますし、あとはランチの時間ですね。分刻みで動いていた在団中にはできなかった、のんびりランチをする、というところはすごく変わりました。

——その中で、皆さんが待ちに待っていた新たなスタートが、このコンサート開催でしたが、ここでフー

ストコンサートをやろうと思われた気持ちを教えてください。

卒業後に自分がどういう道を歩もうか、歩めるのかについては、不安や色々な気持ちがあったんです。私は本当に宝塚が大好きなので、その好きな宝塚を飛び出して、どんなことが自分にできるんだろう。でもこのファーストコンサートのお話をいただいて、自分の大好きなダンス、そして歌をお届けできる機会をもらえたことが本当に嬉しくて。今しかできないものを作りたいなという気持ちになりました。

——そのタイトルが『no man's land』中間地帯という意味があるそうですね。

構成・演出をしてくださる荻田浩一先生がつけて下さいました。もちろんこのコンサートを機に新しく色々な方に観ていただけたらなと思っていますが、まずはやはり宝塚

時代からどんな時も応援してくださった方々に、宝塚の男役を卒業した私がひとりの表現者として変化していく、その途中経過もお届けしながら共に歩みたい、いまの私を観ていただきたいという気持ちをこのタイトルにこめています。

——荻田さんの構成・演出に期待されていることは？

私は宝塚時代の荻田先生の作品が大好きで、中でも『パッサージュ―硝子の空の記憶―』というショーが大好きで。『パッサージュ―』伝説のショーですよ。

——そうなんです。本当に好きなショーで。私自身も荻田先生の作品にはバウホールと大劇場で、1公演ずつ出させていたでいて、下級生でしたが様々な場面で刺激をいただきました。ファーストコンサートにあたっては、宝塚時代の私を少しでも知ってくださっている

方に創っていただきましたかったので、是非荻田先生にと私からお願ひしました。どんなアイデアを提示してもらえるかワクワクしています。

——各場面については構成中というところでしょうか？

具体的にはこれからなのですが、振付の先生方のお名前を見ていただければおわかりになるように「踊ります！」

——ああ、素敵です！

やっぱり私はダンスが大好きで、宝塚在団中にも本当に色々なダンスナンバーに出させていたかったですので、今回も私のターニングポイントでもあったと思う「海の見える街」を振り付けて下さった三井聡先生から、今回はじめて一緒に踊る先生方までと、本当に色々な先生が創られる様々な踊りを踊りたいと思っています。また、ミュージカルや色々なステージで大活躍され

ていらっしやる素晴らしい共演者の方々と一緒に踊ったり、歌ったりなどできるのではないかと、私自身も期待しています。

宝塚の男役として 挑戦的な役柄に挑んで

——いま、彩風さんの代表作のダンスナンバーと言って過言ではない「海の見える街」についてターニングポイントというお話が出ましたが、宝塚時代のターニングポイントだと感じていることについて、具体的に語っていただくとすると？

色々なところでお話させていたできてきましたが、私は下級生時代から自分の色や個性、更にどんな男役になりたいのか？に悩みながらも、とても幸せなことなのですが、次々に与えられる課題を乗り越えていくことにただ必死だったんです。それが『るろくに剣心』



という作品で斎藤一役を演じた時に、自分が宝塚の男役の理想として模索してきたものは全く違う感覚があったんですね。トップスターに就任させていただいてから、『ベルサイユのばら』という、宝塚を代表する伝統的な作品にも挑戦させていただきましたが、『CITY EUNER』の冴羽獠や『夢介千両みやげ』の夢介のような、宝塚の男役としては挑戦的なお役に挑ませてもらい、演じることができたのは、斎藤一で宝

塚らしさとは違うところで一から創ることを学べていたからだなと思います。
——確かに異色の作品をきちんと宝塚の世界に納めていらして、さすがだなと思いましたが、ご自身のなかでは積み重ねた引き出しあつてこそのことだったんですね。そうだと思います。もうひとつ、今回コンサートにもスペシャルゲストとして出演してくださる望海風斗さんが、雪組のトップスターでいらした時に二番手を経験させていただけ

ことが大きかったと思います。望海さんご自身が雪組の二番手でいらした時にK A A T 神奈川芸術劇場と、梅田芸術劇場シアター・ドラマシティで主演された『ドン・ジュアン』という作品で一緒にさせていただきましたが、そのすべてに圧倒されて、もう一度この方の下で、この立場で一緒にしたいと強く思ったんです。でも望海さんはきつとトップスターになる方だから、『ドン・ジュアン』と同じ経験をする為には、私

が雪組の二番手にならなければいけない。それまで与えられたものをただただ必死にやる日々だった私が、初めてこの立場になりたいと明確に思っただけです。
——そこで目標を自覚された？
はい。ですから私はそういうことを自分からお伝えするタイプではないのですが、その気持ちは望海さんに公演打ち上げで泣きながらお話ししました。あの経験がなかったら私は二番手という立場ももし

かしたらいただけなかったかもしれないし、その後トップスターにも就任していなかったかもしれないなと思います。強く目標とするものを与えていただいた『ドン・ジュアン』という作品にも、望海さんにもずっと感謝している、転機になった出来事でした。

——では今回のコンサートのスペシャルゲストに望海さんがいらっしゃるのには、彩風さんにとっても大きなことですか？

すごく大きなことで、望海さんと作る舞台が私は本当に大好きで、望海さんと一緒に舞台上に立っているとその熱量を感じてゾクゾクするような感覚があるんです。どの瞬間をとっても忘れられないので、ここで再び共演させていただけるとは本当に嬉しいです。

——またもう一人梅田芸術劇場メイホール公演でのスペシャルゲストは、彩風さんが下級生時代の雪組トップスター水夏希さんですね。

水さんには宝塚の男役として、舞台人として、人として大切なものを一から十まで教えていただきました。新人公演で水さんのお役をいただいた時には、お忙しい中たくさんご指導いただきましたし、水さんの自主稽古にも立ち会わせていただいて、自主稽古の過程やお芝居を作っていく姿を間近で見せてくださいました。私のその後の稽古への姿勢の基盤は全て水さんから教わったものです。退団されてから十何



年を経て、隣に立たせていたた
くのは怖くもありますが、私が
第二の人生のスタートラインに
立ったからこそだという喜び
もあるので、たくさん吸収させ
ていただきたいと思っています。

『ベルサイユのばら』が 繋ぐ縁

——そうした歴代のトップスター
の方と再び一緒に結ばれるにあたっ
て、改めて彩風さんご自身はどん
なトップスターでありたいと思わ
れていましたか？

私は組替えの経験がなく、
ずっと雪組で育てていただいて
きたので、トップスターになっ
たからと言ってカッコつける必
要がなかったんです。私ので
きないところは組のみんなが

知っていますから、できないこ
とをさらけ出すのが恥ずかし
くなかったんです。そういう
意味では組の皆さんの優しさ
に甘えさせていただいた部分
がたくさんあります。本当に
温かい環境で伸び伸びと日々
過ごさせていただいていますし
た。

——自然体で過ごされたというこ
とだと思いますが、客席から拝見
しているといくらタカラジェンヌに
年齢はないと言っても成長期のは
ずはないのに、毎公演脚が伸びて
いらつしやるのは何故？と思うほ
ど、元々素晴らしいプロポーション
が更に異次元になっていかれまし
たが、そうした見せ方には相当こ
だわりもあつたのでは？

宝塚はやっぱり「清く、正し
く、美しく」の世界ですので、例

えばどんな汚れ役であつたと
しても、男役として美しく品格
を持って演じ、踊り、歌うとい
うことは常に心がけていまし
た。また私はファッションもす
ごく好きなので、男役でしか着
られない軍服などのお衣裳を
着させていただくときは、色々
なことにこだわりましたし、演
出や衣裳の先生方と話し合い
ながら衣裳合わせをする時間
はすごく楽しかったですね。

——その成果が表れてのことだっ
たのですか。そんな彩風さんの退
団公演が『ベルサイユのばら』で、退
団後初めて公の場に登場されたの
が、劇場アニメ『ベルサイユのばら』
世界最速上映会の席でした。声優
を務められたオスカル役の沢城み
ゆきさん、マリィ・アントワネット
役の平野綾さんへの花束贈呈のセ
レモニーで、『ベルサイユのばら』と
の縁が続いていますね。

——本当に嬉しいことで、『ベルサ
イユのばら』は私を宝塚に導い
てくれた作品で、新人公演主
演、そして退団公演としても
出演させていただいた上に、卒
業後皆様の前にはじめて出て
いく場も『ベルサイユのばら』と
いう、この特別なご縁に心から
感謝しています。初めてのこ
とでとても緊張したのですが、
スタッフの皆様やキャストの
方々がとても温かくて、皆様と
お話しさせていただいている
うちに、緊張も少しずつほぐれ
ましたし、映画を拝見している
とやっぱりフェルゼンの目線で
観てしまったりとか（笑）自分

としても、ああまだそういうと
ころは抜けていないんだなど
いう発見もありました。

——声のお仕事にも関心が広がっ
たのでは？

はい、これまでずっと大きな
舞台で大きな芝居をしてきて
いて、今後も舞台のお仕事、特
に踊ることは是非続けていき
たいと思っていますが、声優を
務めた方々のお声の表現の素
晴らしさに感動しました。年
月が経つていくこと、役柄の成
長の絵柄もありますが、声の表現
だけでこんなにも変化が伝わ
るんだ！と。舞台では子供時
代は別の役者が演じることが
多いので、こうして一人の人生
を声だけで創っていくというこ
とに強い興味を惹かれました。

——そうした今後に向けて、準備
ですとか心がけていきたいことは
ありますか？

宝塚で大好きな男役を突き
詰めた人生は本当に幸せでし
たし、宝塚が好きだという想
いはこれからも変わりません。
大好きなダンスは、公演がある
からスキルをあげなければ、と
いう姿勢ではなくて、自分の
好きなことだからこそもっと
もっと突き詰めたいなと思っ
ています。好きなことをここ
とん頑張りながら進んでいき
たいです。そうして頑張った
ご褒美にまた宝塚を観たいで
す！宝塚ってやっぱり本当に
特別な素晴らしい世界だと思
うし、この間も朝美（絢）のトッ

プ披露公演『愛の不時着』を観
にいきましたが、こんなに素敵
な人たちと私は舞台に立って
いたんだ！と。思えて。色々な
考え方があると思いますが、い
まの雪組は朝美率いる新しい
メンバーが創っているもので、も
う私がいた雪組ではありませ
んから、私としてはそれに対し
て何か気づいたことを言うとい
う姿勢ではなくて、純粹に一
宝塚ファンとして楽しんで観続
けていきたいなと思っています。

——ではここからの彩風さんの新
たな活躍を楽しみにしています
が、最後にこのコンサートを楽し
みに待たれている方々にメッセー
ジをお願いします。

新たな場所に足を踏み入れ
て、いまでもドキドキワクワク
しています。これまで歩ん
できた道から、いま、そして今
後どうなっていくのか？を感
じるコンサートになると思っ
ますので、是非観にいらして下
さい！

あやかぜきまな（愛媛県出身、2007年
宝塚歌劇団入団、雪組公演『くら／シーク
レットハンター』で初舞台の後雪組に配属。
抜群のプロポーションとダンス力でも早く
注目を集め、10年『ル・フエリーノ』を明けて
新人公演初主演の後5度（巨り）新人公演主
演を務める『パウワール』公演、東上公演の主
演と躍進を続け、21年雪組トップスターに就
任。『CITY HUNTERS』舞台の熱い多彩
な作品で活躍した。24年『ル・フエリーノ』
フェルゼン編で惜しまれつつ宝塚歌劇団
を退団。今後の活躍が期待されている。

◎あなたの活力源はなんですか？
宝塚です！これまでもこれからも変
わることはない私の活力源です。

【公演情報】



彩風咲奈 1st Concert

『no man's land』

構成・演出◇萩田浩一

出演◇彩風咲奈

竹内將人 葉々香 鈴木凌平 ほか

SPECIAL GUEST

水夏希（大阪公演5/2/13時&17時、5/3/13時）

望海風斗（東京公演5/11/13時&17時）

5/2～4◎大阪・梅田芸術劇場メインホール

5/10～12◎東京・東京国際フォーラム ホールC

大阪5/3/17時 彩風翔、愛月ひかる（アフタートークショーのみの参加）

東京5/10/17時 舞羽美海、愛月ひかる（アフタートークショーのみの参加）

〈お問い合わせ〉梅田芸術劇場 大阪・06-6377-3800 東京・0570-077-039（10時～18時）



阪本

SHOGO
SAKAMOTO

奨悟

清らかな心を自分の中に入れて炭治郎を演じる！

シリーズ5作目となる舞台「鬼滅の刃」其ノ伍 襲撃 刀鍛冶の里。これまで脚本・演出を務めた末満健一から、本作より元吉庸泰にバトンタッチ。築き上げられた舞台「鬼滅の刃」の世界に新たな「呼吸」が吹き込まれる。

その中で作品の顔を務めるのが、竈門炭治郎役の阪本奨悟だ。不死川玄弥、時透無一郎、甘露寺蜜璃と人気キャラクターが続々参戦。新キャストも迎え、上弦の鬼との凄絶な戦いに挑む。

自身にとっても二度目の炭治郎。大人気コミックの主人公という大役に、阪本はどう向き合ったのか。前作を振り返りながら、炭治郎への惜しみない愛、そして2・5次元舞台というジャンルにおける流儀まで、たっぷり語ってもらった。

行間を埋めて 役として生きる

——阪本さんは、前作の「其ノ肆 遊郭 潜入」より新たに竈門炭治郎を演じる
こととなりました。

炭治郎は、まっすぐで曇りがなく、鬼にさえ思いやりの持てる男の子。その心の優しさを大事にしたいなと思っていました。炭治郎は15歳ですから、僕の年齢の半分以下です。やっぱり歳を重ねると、いろんなものが新鮮に感じ取れなくなってくるじゃないですか。だからこそ、瑞々しさといえますか、炭治郎を演じるときは、自分をまっさらにして、何事にもビュアにリアクションができるよう意識していましたね。

——公演を通していかがでしたか。

〔其ノ参 無限列車〕まで炭治郎役を演じた小林亮太くんが観に来てくれたんですけど、亮太くんは長文で感想のLINEもくれて。『優しくて透き通った炭治郎をありがとうございます』というよ

うなことを書いてくれたんですけど、3作にわたって炭治郎を演じてきた亮太くんからそういう言葉をもらえるのはすごくうれしかったですね。

——今回は二度目の炭治郎ということ
で、前作を踏まえた上でどんな進化を
見せたいと考えていますか。

今回は、演出家さんをはじめ、いろんなスタッフさんが変わられるので、きつと今までにない表現方法が出てくると思うんです。まずはそこをしっかり食らいついでいくこと。あとはやっぱり歌ですね。前回戦いの最中で歌うことが多くて、結構激しめのアップビートが多かったんですけど、炭治郎の芯にあるのは優しさだと思うので、そんな炭治郎の優しさを歌で表現できる部分があったらいいな、なんて考えています。

——確かに。今回は、終盤には妹の彌
豆子をめぐる葛藤の場面があります
からね。

そうですね。最終的にどういう着地になるかはまだ僕もわかりませんが、舞台だからできる最良の

表現を探したいですし、ご覧くださった方々に舞台で観て良かったと言っていただけのものにしたいです。

——今回は、炭治郎の鬼殺隊同期であ
る我妻善逸と嘴平伊之助が登場しな
いのも大きな特徴です。

前作で、一人で堕姫と戦っているところに途中から善逸と伊之助が合流してくるんですけど、二人が参戦してきた瞬間、すごく心強くて。一緒に0から走ってきた同期の仲間と同じ戦場に立って戦うって、展開として熱いし、僕にとっても大きな支えになっていました。その二人がいらないのは、やっぱりちょっと寂しいですね。

——その分、同じく同期である不死川
玄弥が物語に本格合流。彌豆子と三
人で半天狗に立ち向かっていきます。

面白い三人ですよ。素直になれない玄弥と、そんな部分が1ミリもない炭治郎。玄弥ってぶっきらぼうなんですけど、ツンデレなところとか、人間らしくていいですよ。彌豆子はお兄ちゃんの力になろうとする純粋な気持ち

にグッときます。終盤のところになるので詳しくは言えないですけど、決断に迷う炭治郎の背中を押したのは彌豆子。あそこは漫画ではほんの1〜2ページなんですけど、涙なしでは見られない。兄妹ならではの深い心のつながりを舞台でもしっかり見せていきたいです。

——今お話を聞いていて素朴な疑問と
して思ったんですけど、そうやって漫画
で何度も読み返してきたシーンを、実
際に自分が演じるのと違ってどんな感覚
になるんですか。

どんな感覚なんだろう……。僕としては、阪本奨悟は1ミリもいなくて、その人物になりきっているとしたらいいんじゃないんです。漫画って絵そのものは動かないですけど、読者は見えないはずの動きを想像しているんですよ。その行為は、役者の演劇言葉で言う「行間を埋める」に近いのかもしれない。僕たちがやることは、とにかく役に肉付けすることと、どんな行間を埋めること。最終的にはもうその場で自分が役

として生きている感覚なんです。——なぜその話を聞いたかという、漫画で読んだ景色だったり表情だったりを目が体験することで、ある種のデジャヴュというか、生き直しているような感覚になるのかなって。

それはあるかもしれないですね。舞台上で言葉を使うときは、頭のどこかで漫画で見た炭治郎の表情を思い出しているの、それがヒントになるという。2・5次元舞台と呼ばれる世界には、やっぱり一つの正解があるじゃないですか。それを大事にしないといけないと僕は考えていて。阪本奨悟として生きてきた31年間の人生経験を軸に考えるとどこかで逸脱しちゃうときがあるんですよ。だから、2・5次元舞台をやるときは常に原作を軸として考えるマインドでいます。

——阪本さんがミュージカル『テニスの王子様』をやっていた頃はまだ2・5次元舞台という言葉さえない時代でした。当時と今ではお芝居に対する考え方も違いますか。

あの頃とは全然違いますね。こ



人間でいられるか、と思うわけです。炭治郎を演じるには、そういう清らかな心を自分の中に入れるところから始めなければいけない。そのためにはまずは何度何度も原作を読んで、炭治郎を理解し愛していくこと。それが、炭治郎の言葉がリアルになる一番の方法なんだと思います。

嘘のない「呼吸」が台詞を本物にする

今回は、霞柱・時透無一郎も大きくフィーチャーされます。

僕、無一郎が好きなんです。最初は何を考えているのかわからないキャラクターだったじゃないですか。それが今回のエピソードを通じて、めちゃくちゃ人間臭いキャラクターであることが紐解かれていく。そのギャップが好きです。毒舌だし、棘があるけど、無一郎って言うことに嘘がない。炭治郎とは根っこにある純粋さみたいなものは似てる気がします。彼の背景を思うと泣けますよね。

恋柱の甘露寺蜜璃もいいですよね。どんなシリアスな戦いも、蜜璃がいると悲壮感が薄まるというか。

そうなんです。他の柱は鬼気迫るものを感じるんですけど、甘露寺さんは怒ってるリアクションまでほっこりさせてくれる。命のやりとりを描く以上、どうしても重いトーンになるころはあるんですけど、甘露寺さんがいてくれるおかげで、僕たちも観ている人たちも救われる部分はあるんじゃないかと思います。

――無一郎を通して描かれるのは、「人

のためにすることは巡り巡って自分のためになる」という精神です。阪本さんもこの考え方に共感するところがありますか。

ありますね。特に若い頃にそれを経験しました。僕は芸能界を一度辞めているんですけど、やっぱりあの頃を思い返すと調子に乗っていたなと思います。周りの大人たちが、どれだけ頑張って自分のことを支えてくれたのかを本当の意味では全然わかっていなかったんです。だから、軽はずみな行動をしてしまう。でも結局そういう考えなしの行動って、全部自分に返ってくるんです。後になつてもっとこうしておけばよかったと後悔することが何度もありましたし、いまだにそういうことはありますね。

なるほど。阪本さんの場合は「情けは人のためならず」というより、反省の意味で実感することが多いんですね。

反省の方が多いですね。反省の方がよく覚えていただけかもしれないですけど、人と話して、あそこで変なことを言っちゃったとか、うまくフオローできなかったとか、うまくフオローできなかったってことがあつたじゃないですか。そのせいで、わだかまりができてしまったり。自分のとつた行動が自分の人生に返ってくるというのは、本当にその通りだと思います。

――では最後にもう一つ。鬼殺隊の剣士にとって「呼吸」は非常に重要なものです。阪本さんのお芝居における「呼吸」の考え方について聞かせてもらえ

ますか。

そうですね……。今、聞かれて、すごい迷ったじゃないですか。このプロセスが「呼吸」だと思っていて、日常生活において、朗読のようにスラスラと話せる人はいない。みんな何かを思い出したり、どの言葉が適切か考えながら人と話をしていて。僕たち俳優は、事前に台本を読み込んで台詞を覚えてきます。でも、お芝居が始まったら初めてその言葉を言われたように、新鮮に受け取らないといけないに、そこでどう思ったのか、どう言葉にしないといけないか。それが「呼吸」なんです。当然、役者が変われば「呼吸」が変わる。だから、会話のテンポも変わる。嘘のない「呼吸」をすることで、台本に書かれた台詞が作り物ではなくなるんだと僕は思っています。

さかもとしょこ○兵庫県出身。シンガーソングライター・俳優。ミュージカル『テニスの王子様』4代目越前リョーマ役でブレイク。その後東京を離れ地元兵庫で単身音楽活動を開始。2年間の自主活動を経て、2014年シンガーソングライターとして東京での活動を再開。17年福山雅治プロデュース・二人曲シングル「鼻声」しよばい派」でメジャーデビュー。俳優としても18年にミュージカル『刀剣乱舞』出演。22年音楽劇『まぼろし』かなた主演。23年舞台劇『鬼滅の刃』其ノノ里 遊郭潜入で主人公の悪門炭治郎役を演じた。

Q あなたの活力源はなんですか？
お肉です。梅古最終日とか休演日の前日は焼肉を食って英気を養うことが多いです。この養肉としてたまに行くと店がなくて、そこが肉は売ってただけでステーキも焼肉も食べられないのがマスターのこだわりで、僕もそれにならなくてはいけません。だから、本当においしいんです。もう体が疲れて、本当に吹き飛びますね。好きな部位は、ロジとテノスです。

これは2.5次元舞台に限らずですけど、自分が役を演じさせてもらうときに一番大事にしたいのはリアリティなんです。ちゃんと僕が共感していれば、「ありがとう」という言葉一つで役の人生が見える。特に僕は自分で音楽もやっているので、歌詞を書くときにそこをすごく大事にしています。どこから拾ってきた言葉を並べただけでは人には届かない。自分が感じて、喉の奥からこみ上げてくる言

葉だからこそ、聴く人に伝わるものがある。きっとそれはお芝居にも通じるものなんだと思います。――役者と言うなら、台本に書かれた自分のものではない言葉を、いかに自分のものとして自然に口に出すか、ということですね。

まさしくそうですね。炭治郎って鬼に家族を殺されているんですよ。なのに、鬼に対しても優しい心を持てる。自分が同じ状況に置かれたとき、炭治郎のような優し



【公演情報】



舞台「鬼滅の刃」 其ノノ里 襲撃 刀鍛冶の里

作○『鬼滅の刃』吾峠呼世晴
(集英社ジャンプ コミックス刊)
脚本・演出○元吉庸泰
音楽○和田俊輔
出演○阪本奨悟 高橋かれん／
下村未空 川崎愛香里 内海太一／
宇野結也 武井タマセノ瑠珂 高橋大翔(Wキャスト)／
風間由次郎 川崎優作 橋本祥平／佐々木喜英 他
映像出演○加藤和樹 蒼木陣 浦井健治
4/11～20◎東京 天王洲 銀河劇場
4/25～27◎兵庫 AiiA 2.5 Theater Kobe
(チケットに関する問い合わせ)
Mitt 03-6265-3201(平日12:00～17:00)

今まで
開けたことのない
引き出しが
開く作品に！

演劇界が注目を続ける作家たち、劇団かもめんたる主宰の岩崎う大、俳優・声優・脚本家・演出家・モデル子な活躍を続ける池田鉄洋、キングオブコント2021「王者」である空気階段の水川かたまり、そして大倉孝二と共にユニット「ジョンソン&ジャクソン」でも活躍するブルー&スカイ。そんな4人がそれぞれカラーで「愛」をテーマに描く三つのオムニバスストーリーと、物語の導入とエンディングで構成される舞台「ハジケ。るポップコーン」一座「ティ・る オブ ナイトメア」不思議の国の給仕係」が3月に有楽町IMA SHOW(アイマショウ)で上演される。

タイトルからして既に、未知なる世界が広がっていることが伝わる新作で、主演を務める相葉裕樹、そして舞台上に映像に幅広く活躍している須賀健太、今回は演出と共に出演も果たす加藤啓が、作品に臨む思いを語り合ってくれた。

オムニバスって
ひとつの作品のなかで
色々なことがでる

「皆さんの衣装からもユニークな世界観が伝わりますが、まず企画がどのように進んでいたのから教えていただけますか？」

相葉 僕の主演で色々な要素のあ

須賀健太



相葉裕樹

加藤啓

かとうけい〇愛知県出身。1994年劇団拙者ムニエルに旗揚げより参加。以降看板俳優として全ての公演に出演。俳優以外にも、脚本、演出、映画監督、絵本製作と幅広く活躍している。近年の主な出演作に、舞台『たぶんこれ銀河鉄道の夜』『重要物語』、ドラマ『純愛ディソナンス』『麒麟がくる』など。脚本・演出した舞台、加藤啓アワー「オレ、産まれたぞ!」「バカ息子は光を放つ」などがある。

あいびひろき〇千葉県出身。2004年映画デビュー。05年ミュージカル『テニスの王子様』不二周助役で初舞台。09年『侍戦隊シンケンジャー』池波流ノ介/シンケンブルー役で人気を博す。『アナスタシア』『CROSS ROAD』『レミゼラブル』『タイタニック』『ダンス オブ ヴァンパイア』『ラフヘスト』などミュージカルを中心に様々な舞台に出演。海外ドラマ『S.W.A.T.』『ディズニーツイステッドワンダーランド』などの声の仕事でも幅広く活躍している。

すがけんた〇東京都出身。1999年子役デビュー。02年ドラマ『人にやさしく』に出演し注目を浴びる。その後多くのドラマ、映画に出演。近年の出演作としてドラマ『先生さようなら』『ACMA:GAME』(日本テレビ)『奪われた僕たち』(MBS)など。2023年劇団『ハイキュー!!』では演出を務めた。



一人ひとりが
しっかり輝いて、
みんなで勝ちにいきたい

スってひとつの作品のなかで色々なことができる役者としてもとても楽しみなので、今からワクワクしています。

相葉 そうだね。しかも(加藤)啓さんが演出してくださるということで、とても信頼を置いて

STAGE
BOMB!



いる先輩ですから、きっと面白いものができると思っています。

加藤 この企画は本当に才能あふれる作家陣と、たくさんさんの魅力を持つ俳優陣が集結しているの

「アリス」を日替わりゲストの方が演じ、「アリス」の選んだルートによって、エンディングが変わるのですね？」

相葉 そうですね。オープニングとエンディングを書いてくださるの

「アリス」を日替わりゲストの方が演じ、「アリス」の選んだルートによって、エンディングが変わるのですね？」

相葉 ありがとうございます。僕こそ啓さんは自由に舞台上で大暴れして

「アリス」を日替わりゲストの方が演じ、「アリス」の選んだルートによって、エンディングが変わるのですね？」

相葉 ありがとうございます。僕こそ啓さんは自由に舞台上で大暴れして



ハジケ。るポップコーン一座
『ティ・る オブ ナイトメア』
～不思議の国の給仕係～

脚本〇岩崎う大(劇団かもめんたる) 池田テツヒロ 水川かたまり(空気階段) ブルー&スカイ 演出〇加藤啓 音楽〇オレノグラフィティ 出演〇相葉裕樹 須賀健太 丘山晴己 横山賀三 オレノグラフィティ 村上純(しずる) 坂田聡(ジョビ) 加藤啓 紫吹淳 3/21～30 O' M A SHOW 日替わりゲスト〇伊藤裕一 広井雄士 前川優希 鯨井康介 松田岳 spi 村井良大 上口耕平 平野良 内藤大希(出演日程順) 〈お問い合わせ〉る・ひまわり info@le-himawari.co.jp

大西風雅

挑戦していくハルトが見どころです！



おおにしふうが○京都府出身。2019 年より関西ジュニア内グループ、Lil かんさいのメンバーとして活動、主に関西ジュニアのコンサートや舞台で活躍中。現在ラジオ『関西ジュニア とれたて関ジュース』(CRK)にレギュラー出演中。近年の主な出演作は、【舞台】『姉さんは、暖炉の上の、壺の中ーMy Sister Lives on the Mantelpiece』、『One ANOTHER』、【ドラマ】『年下彼氏 2』EP17(24・ABC)など。

Q あなたの活力源はなんですか？

僕、キャラクター言われるのがめっちゃ好きなんです(笑)。僕がいるから頑張ろうと思ってくれている人がいる、というのはすごい職業やなと思っています。今回の舞台はキュンキュンする恋愛の要素があるから、そこへの皆さんの反応も楽しみにしています。

人気ドラマを舞台化した『年下彼氏』君のとなりで』が、本年2月〜4月に大阪・福岡・東京で上演される。劇団「柿喰う客」の中屋敷法仁が演出、主人公のハルトを大西風雅(「二かんさい」)が演じる。また、ハルトと同じアパートに住む大学生を池川侑希弥(Boys be)、山中一輝(Ambitious)、渡邊大我といずれも関西ジュニアで活動するメンバーが集結し、4人が一人の女性をめぐって、胸きゅんのラブストーリーを繰り広げる。その公演を前に、ハルト役の大西風雅に作品や役柄に挑む思いを聞いた。

後輩が多くなって大人になった気がする

まずは、台本を読んでみた感想を教えてください。

「年下彼氏」を舞台化する、と聞いたときは、何をどうするのか全然想像できなかったんです。最初は、恋愛の話なので「これをお客さんが生で見るのはどう思われるのかな?」と思いました。観ていて嫉妬してしまうんじゃないかなとか。でも、台本を読んでも、もちろん恋愛要素はあるんですけど、それだけでなく僕を含めた4人の友情という部分が大きい感じで、掛け合いとかが中心になっているので、結構観やすいんじゃないかな、と思いました。

登場人物のキャラクター像というところでは、ドラマ版と比べて違いを感じる部分はありましたか。

ドラマのときは会社員の役で、今回はちょっと過去になんかあった感じの大学生なのですが、ホンマに優しい子なんやろうな、と感じています。自分のことをさげすめないけど、周りを気遣っている感じとか、でも他の3人が結構関西色

が強いというか、台本を見たときに僕でも使わないような関西弁が出てきて(笑)。関西の人でも関東の人でも観やすく、コメディ色強いところがいいな、と思います。

大西さんは今20歳ですが、自分がまだまだ年下っぽいなと思うところ、ここは大人っぽいんじゃないかと思うところを教えてください。

僕、めっちゃ偏食なんです。最近はまだ年下なんですけど、1つのものにハマったらそれしか食べなくて、以前パインアップルだけで生活していたときがありました(笑)。

そういう、食に関しては何となく子どもやなと思います。大人っぽいところは……どうだろう。やっぱり何年もやってきて後輩が多くなったから、昔は著られる立場だったんですけど、今は著る立場になって、そこは成長というよりは時が経ったなという感じが、大人になった気がしますね。

自分としてはどちらのポジションにいる方がいいですか。

いやもう、やっぱり年下です、絶対(笑)。僕は家の中でも一番下の弟だし、メンバーの中でも甘やかされて育ってきたので、そっちが楽というか、もうそっちしか知らないの。

でも今回は、大学生で将来を悩んでいるという年齢も自分に近いところの役で、だから役作りというよりは共感する部分が多いと思うから、自然体であり考え過ぎずにやろうかなと思っています。

主演のプレッシャーというのはやっぱりあったのでしょうか。

今お話しにあがった『姉さんは暖炉の上の、壺の中ーMy Sister Lives on the Mantelpiece』は初主演でしたが、振り返って見ていかでしたか。

めっちゃくちゃ大変でしたね。後にも先にもこんなしんどい舞台絶対ないと言われたぐらいで、体力的にもですが、役も内容も結構重いのでした。でもめっちゃ鍛えられたし、音楽劇だったので歌も歌い

したし、いろんなことに挑戦できるようにになったし、考え方も変わったり、なんだか不思議な感覚でした。

主役のプレッシャーというのはやっぱりあったのでしょうか。

いや、あまりそこまでは考えていなかったです。それよりも1日1日を生きるのに必死というか、3時間の上演中にいろんなことを体感するから時間が早く感じられました。

共演者の方々はいかがでしたか。

意外とすぐに仲良くなりました。皆さん自分を持っているというか、キャラが濃い人も多かったし、面白い芸人の方とかシンガーソン

グライターの方とか、いろんなジャンルの方がいたので、いろいろな話を聞けました。演技面でもたくさん勉強させてもらいました。

前回の舞台が終わったときは、また舞台をやりたいなと思われたのか、そのあたりのお気持ちはいかがでしたか。

正直終わった後は、1年間ぐらいお休みもらおうかなぐらいに思ってたんですけど(笑)。でも今は舞台を経験したからこそ、他のドラマとか映画などにももっと出たくなつたし、音楽もやりたくなつたし、いろんなことをしたいなと思っています。

「喜怒哀楽」の「ど」は「ドキドキ」の「ど」

今回の大学生役4人の中では大西さんが一番年長ですし、舞台主演の経験もあるので、皆さんから頼られる比重も大きくなりそうです。

それはもちろんそういう気持ちでいますけれど、それを考えすぎたら僕がしんどくなってしまうから、一番は「楽しくやりたい」と思っています。失敗とか考えすぎずに楽しむこと、あとはやっぱりお客さんに満足していただくことができれば嬉しいなと思います。

今回の作品で目標を掲げるとしたら、どんなところになりますか。

これはみんなで言っているんですが、絶対福岡でモツ鍋を食べたいです(笑)。やっぱりおいしいものを食べたいから(笑)。

旅公演ならではの目標ですね(笑)。あとはやっぱり、(渡邊)大我は初舞台で、山中(一輝)と(池川)侑希弥もストレートプレイは初挑戦だったので、共演者を見て学んだり、スキルアップというか、み

んなレベルアップしてほしいし、クリエイティブの高い作品にしたいなと思っています。

「ご自身の役の見どころはどこだと思いますか。」

ハルトがだんだん成長していくところかな。挑戦するのって怖いけど、ちゃんと挑戦していくハルトはホンマにすごいなと思いますし、人間味があって心温まるような話だな、と思います。

公演情報

舞台『年下彼氏〜君のとなりで〜』

作◇モラル 演出◇中屋敷法仁
出演◇大西風雅(Lilかんさい) 池川侑希弥(Boys be)
山中一輝(Ambitious) 渡邊大我(関西ジュニア)/
小島藤子/庄野崎謙 穴戸美和 マギー
2/22〜3/9◎大阪公演 森ノ宮ビロテホール
3/15・16◎福岡公演 キャナルシティ劇場
3/22〜4/6◎東京公演 東京グローブ座
(お問い合わせ)キョードーインフォメーション
0570-200-888(11:00〜18:00※日・祝は休業)



ひがしやまよしひさ〇大学卒業と同時に初舞台を踏み、『エリザベート』の初代トードンサーで注目を集める。2003年に“DIAMOND☆DOGS”を始動、リーダーとして舞台構成・総合演出も手掛ける。2013年に肉体表現の可能性を追求する新たなプロジェクト「BOLERO」を立ち上げドラマ性のあるダンスステージを創り上げるなどジャンルを問わずに活躍している。2024年には芸能25周年記念のコンサートとディナーショーをCOTTON CLUBで開催し好評を博した。近年の主な出演作品に『ジョジョの奇妙な冒険 ファントムブラッド』『赤と黒』『CLUB SEVEN』シリーズ、『ミス・サイゴン』など。

やざきりょう〇映像作品や舞台での主演を通じてキャリアを積む。主な出演作品に、映画『HIGH&LOW THE MOVIE 2・3』、舞台『SHINJUKU NINJA LIVE SHOW』など。

いがわたくや〇7人組ダンスボーカルユニット「Super Break Down」のメインボーカルとしてデビュー。舞台、ミュージカル、映画などの俳優業でも活躍。24年同ユニット卒業。主な出演作品に舞台『天使なオトシモノ』ミュージカル『レ・ミゼラブル』『サンドイッチ』、映画『俺は前世に恋をする』など。

かどのふうま〇ダンサーとして幅広く活躍。主な出演作品に、明治座公演、花園直道芸能生活20周年記念公演『花園城だよ！全員集合』など。

さんべいけん〇尚美ミュージックカレッジ専門学校ダンス科在学中。主な出演作品に明治座公演、花園直道芸能生活20周年記念公演『花園城だよ！全員集合』など。

たかはしとわ〇東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校在学中。明治座公演、花園直道芸能生活20周年記念公演『花園城だよ！全員集合』など。

Q あなたの活力源はなんですか？

矢崎 御朱印集めです。母が近所の神社でもらってきたのをきっかけに、旅行やライブで行った土地の神社でいただくようにしています。ああ、この神社にもいったん眺めて色々思い出すのがリフレッシュになっています。

井川 納豆を食べることです。基本的には明るい性格ですが、人間ですから暗くなることもあるじゃないですか。そういう時でも納豆とご飯さえあれば元気になるれます。

角野 僕は毎朝コーヒーを飲むことです。大体2〜30分くらいかけて、何も考えずにひたすらコーヒーを飲むと、脳内の情報をリセットしてリラックスできる。本当に大事な時間です。

三瓶 ばーっとすることです。駅のホームとかでも結構ずっとばーっとして電車2本ぐらい逃したりすることもあるんですが(笑)ただ一点を見つめている時間がすごく大切です。

高橋 絵を描いている時です。それ以上はない、今の気持ちが出てくるんです。それを整理してまた明日から頑張ろうと思いますね。

東山 僕はもういいんじゃない？ ダメ？ うーん…最近で言えば散歩かな？ ぶらぶらと歩いて空が綺麗です。太陽を見上げていたら道に迷いました。5分遅れます！とか、みんなに連絡してますね(笑)。

STAGE BOMBI



新たなDIAMOND☆DOGSのCONNECTを お客様ともつなげていきたい！

2023年11月、20周年を迎えたのを機にチームとしての活動を休止し、個々がそれぞれの場に挑み吸収するための充電期間に入っていた男性アーティスト集団DIAMOND☆DOGS(以下D☆D)が、新たな体制で始動するべく2024年6月大々的な新メンバーオーディションを開催。見事勝ち抜いた5人の新メンバーによる「D☆D Team Novel」が誕生。現メンバーを「D☆D Team Original」とし、2 Team制を擁する「第三章」新たな歴史がスタートした。

その2 Team制による初のシアター公演であり、D☆Dの大人気コンテンツである『White Valentine Show 2025 connect』が3月博品館劇場で開幕するのを前に、D☆Dの歴史を体現し続ける東山義久が「Team Novel」のメンバーと共に、新作公演、またD☆D「第三章」に向けた思いを語ってくれた。

角野 楓真 井川 拓哉 矢崎 諒 東山 義久 三瓶 賢人 高橋 永遠

個性豊かな Team Novelの面々

——いよいよ新章スタートとなりますが、新メンバーを迎える経緯と今回の公演について教えてください。

東山 充電期間を取った時に創る側の勉強をしていくということでボーカルの新開理雄が卒業して、これからのD☆Dをどうしていくかをオリジナルメンバーとずっと話し合ってきた。過去のバターンだった、ボーカルを一人入れようというこだったと思うんですが、事務所の代表に和田泰右が就任して「新しいD☆Dを創りたい」という熱意でオーディションを開催し、集まってくれた方たちの中からこの5人をD☆D「Team Novel」として迎えることになりました。様々な展開を計画していますが、まず現メンバーの「D☆D Team Original」と初めて一緒に創るシアター公演を、D☆Dの聖地である博品館劇場で、長く愛されてきた「Valentine Show」にしようということになり「connect」繋げるというタイトルにしています。

僕たちが今までやってきたことを彼ら新メンバーに繋げるのが一番大きなコンセプトで、前半はひとつのストーリーを歌とダンスで紡ぐパフォーマンス、後半は怒涛のライブステージをノンストップでご覧いただく予定です。——では新メンバーの方たちに自己紹介をお願いします。

東山 じゃあTeam Novelのリーダーからいこう！

矢崎 ボーカルの矢崎諒です。僕は東山さんが出演された『BOLERO』を観て、言葉のないダンスでこんなに豊かな表現

う気持ち湧きあがって。合格させていただいてからは人生が360度変わり、毎日が発見の連続です。

東山 卒業するまで大変だろうけど頑張ると欲しい。ただ360度変わると元に戻っちゃうだろ？(笑)

三瓶 あー180度です！

東山 そうそう(笑)永遠(高橋)も学生なんだよね？

高橋 はい、ダンスをやっています。僕は以前にD☆Dの舞台を観ていて、やっぱり芝居や歌は全くやっていなかったなで、ここに入れたら新しい自分を探せるんじゃないかとオーディションを受けました。選んできたいてからは、自分に足りないものが明確にわかるし、一歩ずつですが成長を感じられる日々を過ごしています。

東山 スキルだけで言うなら、もっと高い方がたくさん受けに来てくれたんです。でもそうしたソロでも十分やっていける人ではなく、D☆Dのメンバーになることで伸びていける可能性を感じた彼らに入ってもらいました。Team Originalにも最初はダンスだけ、

東山 スキルだけで言うなら、もっと高い方がたくさん受けに来てくれたんです。でもそうしたソロでも十分やっていける人ではなく、D☆Dのメンバーになることで伸びていける可能性を感じた彼らに入ってもらいました。Team Originalにも最初はダンスだけ、



ができるのかと衝撃を受け、ばくもDIAMOND☆DOGSの一員に入り、自分にとっての新たなスタートを開きたいと思い、新メンバーオーディションに臨みました。メンバーに選んでいただいた時は嬉しさと同時に不安もありましたが、それぞれの役割りも見えてきたので、今回の舞台でTeam Originalのみなさんを食うんだ！くらいの気持ちで頑張りたいです。

井川 ボーカルの井川拓哉です。僕は5年間アイドル活動をしてたのですが、事務所を退所してこの先どうしようかと考えている時にD☆Dのオーディションを知って。これは何かの縁なのかなと思ったし、選考が進むなかでグループとしての活動をもう一度頑張りたいという気持ちが膨らんでいきました。無事

歌だけからスタートしたメンバーが僕を含めてたくさんいるので、今回の舞台創りを通してどんどん吸収して欲しいです。

ダイヤモンドは
ダイヤモンドでしか
磨けない

——この機会に新メンバーの皆さんから東山さんに訊いてみたいことはありますか？

井川 これだけ長く活動が続けているなかで大事にしていることはなんですか？

東山 常に新しい自分をお客様に見せたいという気持ちかな。さっきも言ったけど僕はダンスしかできなかったから、芝居や歌をミュージカルなどの舞台で修行して、それをD☆Dに持ち帰って新たなオリジナルリティを深めていった。D☆Dは航空母艦だという意識はメンバーみんなが持っていると思う。

角野 やめようと思われたことはないですか？

東山 22年だから、それは区切りうらと思ったこともあるよ。賢人なんてD☆Dを結成した年には生まれてないわけでしょう？(笑)

三瓶 はい。

東山 当然色々な時期があったけど、その折々のメンバーに足りないものがあっていまここで僕がやるべきじゃないとか、方向性の違いでボーカルが抜けた時には、じゃあ僕が歌えるようになってやるとか、色々な気持ちモチベーションになった。しかももうやめていったメンバーともまた一緒に歌おうとか、諒が観てくれた『BOLERO』は元メンバーのSHUNKくんが総

公 演 情 報



DIAMOND☆DOGS presents
『White Valentine Show 2025 connect』

構成・演出・作詞・振付◇D☆D 作詞・作曲・音楽監督◇TAKA
作曲◇サカノウエヨスケ 振付◇木野村温子
出演◇DIAMOND☆DOG Team Original 東山義久 中塚皓平
和田泰右 咲山頌 廣瀬真真 Homer
Team Novel 矢崎諒 井川拓哉 角野楓真 三瓶賢人 高橋永遠
Musician 蛇石徹(Bass) 三輪達宏(Guitar) 井上順乃乃
(Drums) 吉田蒼(Keyboard)
3/26〜30◎博品館劇場
(お問い合わせ)博品館劇場 03-3571-1003

合振付で入ってくれて。

矢崎 ああ、そうなんです！

東山 すごく嬉しいですね！グループでなくとも交流できる、そんな再会がたくさんあるから、いまはやってきて良かったなと思っています。

高橋 東山さんは昔はもっと尖ってた！とよくおっしゃいますが、丸くなったんですか？

東山 ダイヤモンドはダイヤモンドでしか削れないっていうし、そういうつもりでつけた名前がD☆Dで、野良犬のDOGのたちが切磋琢磨して互いを磨くなかで、不要な角もとれていったということなんだと思う。これまで20人以上のメンバーがいて、皆が先生で生徒だったんだよね。僕たちがそうして培ってきたものを、Team Novelの皆にCONNECTして、それをお客様にもつなげていきたい。そんな新しい『White Valentine Show』を全員で創っていきいたいと思っています。

久本雅美

大湖せしる



Q あなたの活力源はなんですか？
大湖 自然を見に行くことです。たとえば綺麗な夜景を見に友だちと出掛けたり、星を見たくなくて海のある場所までちょっと遠出したり。夕陽が沈むまで2時間ぐらいうつと眺めていたこともあります。そういうことで心が満たされるんです。
久本 私は笑うことが何よりも好きです。笑い声を聞くことも大好きなんです。たとえどんなに疲れていても、お客様の笑い声を聞くだけで宇宙まで飛んでいけそうぐらいの元気が出ますし、自分が落語やほかのお芝居で笑わせてもらうことも大好きなんです。とにかく笑いが元気のものです。

コンビによる再演となる。この公演への抱負や演出を手掛ける錦織一清について、久本雅美と大湖せしるに語ってもらった。

善意からやっていることで悪気はないんです！

久本さんは3年前の初演でアビー役を演じた。この作品の面白さはどんなところにあると思いますか？
久本 内容はブラックコメディですからドタバタもありますし、とんでもないことが次々と起こるんです。そして、生と死という人間にとって大事なテーマを扱っているけれど、シリアスになりすぎない

くて、ちゃんと笑いに持っていくところなど、さすがブロードウェイの名作で、本当によく出来ているなと思いました。

大湖さんは初演は観ていますか？

大湖 映像資料で拝見しました。すごく面白い作品だなと思いましたが、出演者の方々のお芝居に圧倒されて、ちよつと恐くなってしまつて。あまりにも完成している舞台なので、そんな座組に新しく入っているのだからかと心配になったんです。でも久本さんが、また一から一緒に作っていくと何度もおつしやつてくれて、ホツとしました。

久本 出来上がったものに入る恐さってわかるんですよ。でも今回は新しく入る方が4人もいます。私も新たに作り直す感覚でいます。お二人は姉妹役ですが、お互いの印象は？

久本 私が演じるアビーは姉なので若干仕切り気味な性格で、妹のマーサがちょっとビビりなので（笑）、アビーがなんとかしなくてはと前に出て行くんです。そういう意味では、せしるちゃんは普段からおつとりして可愛らしいキャラなので、マーサにびつたりだと思います。

大湖 久本さんは、頼りになるのはもちろんですが、ご本人はすごく可愛らしい方だなと。きつと人間性がそうさせるのだと思います

が、今日初めてお会したとは思えないぐらい、親しみやすく優しい方だと思います。

久本 結果的には悪いことにするわけですが、本人たちには悪気はないんです。

大湖 そうなんです！

久本 一人暮らしの老人が寂しく死んでいくよりは、私たちが心からおもてなしをしてあげて幸せな最期をという、本当に善意からやっていることで、むしろ慈善をしているつもりなんです。

高齡化社会で安楽死法案などが検討される今の日本にも通じるテーマで、そう考えると時代を先取りしていた作品ですね。

久本 1941年に初演ですが、80年もの前の作品なんですよ。でもそういう問題は今に至るまで正解がないままで、だからこそこの作品は何度も上演されていますし、いつまでも新しいのかなと思います。

役者の錦織さんから盗めるものは盗みたい

演出は錦織一清さんで、お二人とも錦織さんの演出は受けていますが、稽古場ではどんな演出をされるのでしょうか。

久本 錦織さんは演出席に全然座らないんです。ずっと歩きながらその人のセリフを聞いて、自分も演者の立場から、もつとこうしたほうがいいのかとか、このほうが面白くなるのかなとか、一緒に考えてくださるんです。

大湖 演者の気持ちに寄り添って自由にさせてくれる。とても愛の溢れた演出家さんという印象です。久本 せしるちゃんも話していったんですけど、私たちが自分で考えてきたことを稽古場で動きながら膨らませるんですけ、錦織さんはそういうのも受け入れてくれるんです。それが面白かつたら誰よりも笑ってくれるんです。だからこちらもテンションが上がるし、さらに面白いことを思いつく。

大湖 心が解放されている状態になるので、アイデアも浮かびやすいんです。

久本 そうやってみんなを自由にさせてくれて、最終的にはご自分の観たい世界をちゃんと作っているんじゃないかなと思います。

大湖さんは宝塚を退団して1作目の『グレートギャツビー』が錦織さんの演出でした。宝塚はある意味では型で作る舞台ですから、急に自由な演出と出会ってびっくりしませんでしたか？

大湖 最初は「自由に」と言われることへの戸惑いもあったのですが、慣れてくるとそれが面白くなったし、だんだんラクにできるようになりました。

その後、2.5作品に沢山出演して、また型のあるお芝居を経験したうえで、今回久しぶりに錦織さんの演出を受けるわけです。

大湖 自分では少しは引き出しが増えていて思っているのですが、錦織さんに「あれ、せしるの変わったなと言われるのか」「あんまり変わってないな」と言われるのか、ちよつとドキドキします（笑）。

久本 絶対変わってるでしょ。ずっとがんばってきたんだもの！

錦織さんは今回役者としても、人施設のウイザースプーン役で出演します。

久本 とても重要な役ですし、きつと素敵なシーンになると思います。もともと持っているしゃるオーラがすごいですし、お客様も登場を待つというしゃると思いがみ込まれないようにしないとね。大湖 緊張しますけど、役者としての錦織さんから盗めるものは盗みたいです。

公演情報

アンクル・シナモン 『毒薬と老嬢』

作◎ジョセフ・ケッセルリング
 訳◎黒田絵美子
 脚本◎浩寛 演出◎錦織一清
 出演◎久本雅美 大湖せしる 渋谷天笑 納谷健(劇団Patch) 惣田紗莉渚 佐藤嘉寿人 岡本悠紀 我膳導 兵頭有紀 甲坂真一郎 嘉島典俊 丹羽良仁 川端横二 笠原章 錦織一清
 3/27~4/4◎三越劇場

役者がきちっと演じれば
面白くなるのが東京喜劇

STAGE
BOMB!

羽田美智子

三宅裕司



三宅裕司を座長として実力派喜劇人たちが集結した熱海五郎一座が、6月に新橋演舞場シリーズ第11弾『黄昏のレストラン〜復讐はラストオーダーのあとで〜』を上演する。2004年に旗揚げした「伊東四朗一座」の流れをくむ熱海五郎一座は、東京の喜劇「軽演劇」を継承しようとする公演を重ね、今回はゲストに羽田美智子と剛力彩芽を迎え、「食」がテーマの喜劇を繰り広げる。構成・演出を手掛けて出演もする三宅裕司と今回初参加となる羽田美智子に本作への意気込みを聞いた。

笑いというのは
表現の中で一番難しい

——熱海五郎一座は昨年、新橋演舞場シリーズ10回目という節目を迎えました。

三宅 去年は10回記念ということで、ゲストに伊東四朗さんと松下由樹さんに来ていただきました。本当に大盛況で、いい作品にできたと思います。そんな公演の次、ということでしょうか。なかなか悩みましたが、この一座で今までやったことのない「食」というテーマで、これまでとはまた全然違う笑いになるかな、と思っています。日本人は美味しいものを食べることを生き甲斐にしている人が多いですから、そういう意味では、もしかしたら今までの中で一番お客さんの興味を引くようなテーマになりうるので、昨年を超える作品を目指して頑張るつもりです。

——今回、羽田さんにオファーすることになった理由を教えてください。

三宅 作家が「料理」「悲しい過去」「復讐」という3つのテーマを出してきたので、どういう人に来てもらった方がいいかな、と考えたと

きに、笑顔の素敵な女優さんがいいな、と思ったんです。笑顔の素敵な人が裏では悲しい過去を持っている復讐を考えている、というのがドラマになりますよね。羽田さんは嘘のない笑顔だと思うんですよ。一方で剛力さんはフュッションモデルでもあるので、気持ちとは関係なくモデル笑いみたいなものを作れるんじゃないかという気がして、そんな対照的な2人というのも面白いかな、と思っています。

——羽田さんは、本作のお話が来たときの率直な思いはいかがでしたか。

羽田 私は一座の大ファンなので、ずっと客席から拝見してきました。今回初めて出演のお誘いをいただいて、どうしよう、私にできるかな、という自信のなさもあったのですが、伊東四朗さんにご相談したら「俺はこの日を待ってたよ」と言ってくれました。「三宅ちゃん、俺が絶大な信頼を寄せている人だから、彼に委ねれば大丈夫」という言葉もいただいたので、思い切ってやらせていただくと思いました。伊東さんからも三宅さんからも喜劇の楽しさと難しさ、笑いというのは表現の中では一番難しい、というお話を常々聞いています。喜劇というのはエンターテインメントの一番上を君臨するものだと思っているので、そのプロフェッショナルの三宅さんについていて、喜劇役者のエッセンスをいただきながらどこまでできるのか、自分のハードルを越えたいなと思っています。

——三宅さんはご自身の劇団でも喜劇を追及して来られていますが、難しさについてどのように感じていらっしゃいますか。

三宅 舞台の場合、笑いはその場で結果が出ちゃうんですよ。客席

から笑い声があれば成功だし、笑わせようとしているところでシーンとなったら失敗ですよ。泣けるシーンとか感動するシーンは、舞台上からは客席の反応があまりわからないから、自分で「うまいいったな」と思っていればいいわけですよ。だから喜劇が一番難しいとは思いますが。

羽田さんにはボケの設定を
いっぱい作りたい

——熱海五郎一座は東京喜劇・軽演劇にこだわってずっとやって来られました。

三宅 最初の頃は、浅草にあった軽演劇をやろうとしていました。これはストーリーがあって役があるけれど、その役から外れて素に戻って、とにかくどんな技を使ってもいいから笑わせ、というのが軽演劇です。でも最近は笑いが多様化していることもあって、熱海五郎一座では役から素に戻るようなことばっかりで面白くなるものを作ろうというふうに、僕の中ではちょっと変わってきたんです。だから今は、軽演劇よりも東京喜劇という言葉を使うようにしています。東京喜劇には何も定義がないんです。萩本欽一さんとお話したときに、「三宅ちゃんが『これが東京喜劇です』と言えればそれが定義になるから、そう言って続けていけばいいよ」と背中を押してくださいだったので、これを極めようと思っています。

——羽田さんは熱海五郎一座をご覧になって、どんなところに魅力や面白さを感じていますか。

羽田 歌舞伎とか落語とか、日本の伝統芸能の要素を上手に取り



みやけゆうじ〇東京都出身。俳優、タレント、司会者。「劇団スーパー・エキセントリックシアター（エスイーティSET）」主宰。ラジオ「三宅裕司のヤングパラダイス」や、「三宅裕司のいかすバンド天国」（TBS）、「THE夜もヒッパレ」、「どっちの料理ショー」などで絶大な人気を得てマルチエンターテイナーとして活躍中。2006年に熱海五郎一座を座長として旗揚げ。14年に新橋演舞場に進出、毎年公演を行っている。

Q あなたの活力源はなんですか？

三宅 カーテンコールでのお客様の拍手です。仕方なくしている拍手と、本当に面白かったという拍手は全然違いますよね。熱のある拍手をいただいたときは、ああやってよかったな、と思いますし、またその拍手をいただけるように頑張ろう、と思います。笑い声もそうですね。大爆笑の後に拍手をいただけたと、本当に面白いシーンが作れたんだな、と思えて活力になります。

羽田 刑事ドラマのロケ中、ギャラリーの中に泣いている方がいらして、スタッフさんが声をかけたら、「このドラマがきっかけで刑事になりました」ということだったんです。そのときに共演者の仲間たちと、誰かの人生を変えるだけのパワーがあるんだから、やっぱり面白くていいものを作らなきゃ駄目だよな、と話しました。この仕事のいいところを感じられて、活力になった出来事でした。

はだみちこ〇茨城県出身。1988年デビュー。1994年公開の映画「RAMPO」でヒロイン役に抜擢され、「日本アカデミー賞」で新人俳優賞を受賞。以降、多数の映画やテレビドラマで活躍中。主なTV出演作として「特捜9」シリーズ、「おかしな刑事」シリーズ、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」、「花嫁のれん」シリーズ、「隼石家族」など。舞台出演は「グレイのこゝろ」「不機嫌な女紳士たち」など。

ちゃったー！みたいな失敗をさせたら、めっちゃ面白くなる感じがするんですよ。いっぱいボケの設定を作って、俺に突っ込ませてくれ、と作家に伝えます。

羽田 それは、喜んでいいことなんでしょうか。

——お客様のメッセージをお願いします！

三宅 去年よりも面白いものを作らんぞや駄目だ、と自分に課して。去年が大好評だったので……って、どうも自分の首を絞めている気がしてきました（笑）。でも、去年を超える必要はないと思っています。今日も帰ったら作家に電話しようと思います。「羽田さん、ボケれるよ、大丈夫」って、羽田 大丈夫ってどういう意味ですか（笑）。

三宅 羽田さんの「もしかしたら天然じゃないかな？」と思うようなニヤフスの要素を生かして、ものすけい緊張感の中で「あ、間違え

で頑張っていきたいと思っていますので、新しい私も含めてぜひ見に来てください。

熱海五郎一座・新橋演舞場シリーズ第11弾
東京喜劇

『黄昏のレストラン
〜復讐はラストオーダーのあとで〜』

作〇吉高寿男 出演・構成・演出〇三宅裕司 出演〇渡辺正行 ラサール石井 小倉久寛 春風亭昇太 東貴博（交互出演）
深沢邦之（交互出演）/劇団スーパー・エキセントリックシアター ゲスト出演〇羽田美智子 剛力彩芽 6/2〜27〇新橋演舞場 〈チケットに関するお問い合わせ〉チケットホン松竹 0570-000-489または、03-6745-0888（10:00〜17:00）



新しい『デスティニー』は最高傑作になります！

ドラマチックな物語性と華やかなアクションで魅せる30・DELUXの代表作『デスティニー』が、"デスティニー"アドラメレクの鏡"として12年ぶりに再演される。主演はこの作品の初演・再演を経て三度目となる佐藤アツヒロ。さらに今回は今江大地、鈴木達央、宝塚出身の瀬戸かずやをはじめとする多彩なキャストが集結した。物語は小国「ライカ」と大盗賊団「ゴントラ」の戦いの中で、死を前にした1人の男ジンが悪魔シャイターンと契約する。そしてテムジンとなり、「ライカ」の英雄へと登りつめていく姿とそれによって「ライカ」の王女ユミンをはじめとする登場人物の「運命」が変遷するさまを描いている。その作品でユミン役を演じる瀬戸かずやと、シャイターン役の鈴木達央が、30・DELUX主宰で劇中では語り部役をつとめる清水順二とともに語り合う。

瀬戸さんは「これは私の役ではありません」と

「『デスティニー』は、沢山の登場人物で描くダイナミックな物語を、息もつかせぬテンポで見せていく、まさにエンターテインメントの王道を行く作品ですが、今回、瀬戸さんと鈴木さんにオファーした理由は？」

清水 僕は23年間、劇団のプロデュースをしてきましたが、ただ人気があるとか話題だからというのではなく、実際に舞台を見たうえで出たいただきたい方、うちの劇団に合う方をお願いしているんです。今回の瀬戸さんですと、宝塚時代の『マスカレード・ホテル』や『はいか

清水順二

瀬戸かずや

鈴木達央

いう役は演じてきたので、それを生身の体を使って演じられることがすごく楽しみです。実は声でそういう役を演じているときに、思わず動いてしまっただけ注意されたこともあって(笑)、今回は気にしないで縦横無尽に動きたいですね。

清水 僕は昔、テレビアニメの「DEATH BONES」を観ていて鈴木さんのお名前は知っていたんです。そのあと「Arc〜an〜Ciel」の曲をカバーしているのをYouTubeで見つけて「なんだ！このすごい表現力とパワーは！」と。

鈴木 いやー、勘弁してくださいよ！(笑) 清水 それに去年出演されていた朗読劇『ROOM』を見える機会があって。演劇も好きそうに見えたので出たこと。前回シャイターンを演じたくれた森田成さんも素晴らしいので、さらに面白い存在になりそうです。

をしたら「え、やるの？めっちゃ似合いそうでやだな」と(笑)。それに「僕も出たいな」と(笑)。

タイトルにある「アドラメレクの鏡」とは？

シャイターンはアツヒロさんのテムジンと行動をともにする役ですが、アツヒロさんの印象はいかがですか？

鈴木 まだ稽古前なのであまりお話しはしてないのですが、とても芯のある方です！きつと沢山のエネルギーをいただけだろうな。僕はこの作品のビジュアルになって、テムジンの2つの姿に感動したんです。生身の体でこれだけ違う表現ができるんだ。僕は声でならいろんな表現に応えられるのですが、やはり生身のお芝居は久しぶりなので、アツヒロさんはもちろん皆さんの演技で置いていかれないように。でもそれ以上にワクワクしながら皆さんの稽古を楽しませてもらうつもりです。

瀬戸さんもアツヒロさんの場面が沢山ありますね。

瀬戸 ずつこの世界の第一線で活躍してこられた方で尊敬がないです。でもやはり緊張感があります。私は小さい頃、いつも光の23の歌を歌っていたので(笑)。

清水 僕に「これは私の役ではありません」と言ったあの強い瀬戸さんが、ビジュアル撮影でアツヒロさんと一緒にあったとき「あ！アツヒロさん！よろしくお願いいたします！」といきなり乙女になりましたからね(笑)。

瀬戸 見られてしまいました(笑)。この物語は、戦いの中で国の情勢がどんどん変わっていきますし、沢山の人物が登場してくるのですが、その1人1人の浮き沈みとか葛藤がちゃんと書き込まれて、ユミンも登場するたびにテムジンへの思いがどんどん変化していくので、ユミンが出ていない場面での皆さんのバトンをどう受け取って変化していくか、そしてブレない

芯を持ち、どんな状況でもなお前に進むユミンの強さをどう表現していくか。難しいけれどやり甲斐があると思っています。でも王女としてテムジンにけっこう強く言うセリフもあって、私は見かけによらずノミの心臓なので(笑)。

清水 え、そうですか？(笑) 瀬戸 (笑) 私の中で戦いがありそうです。

清水 瀬戸さんは両方持つてますよね、超がつくぐらい繊細なところと超がつくぐらい強いところ。前回までは敵のゴントラ軍のほうが個性的でチームワークもあり、親しみやすかったんです。ですからライカ国側の魅力をより際立たせるためにユミンのキャラだけでなく周辺の人物設定も変えたり、増えたりしました。これでライカ側もより膨らんだと思うので、両方とも魅力的な2つの軍が運命的な戦いをするという面白い形になると思います。

清水さんの役も伺いたいのですが、今回初めて登場する語り部で、「実は」という役だそうですね。

清水 その「実は」という部分をドンデン返しに使っていきたくて、今、作家と詰めています。今回のタイトルにある「アドラメレクの鏡はそういうことね、みたいになるように」。

鈴木 マーベルのデッドプールみたいなものですよね。お客さんともコミュニケーションをとるし、物語の中にもどんどん入っていく、みたいな。

清水 鈴木さんはいいつも喻えが百点だよな(笑)。今回はそういう新しい「デスティニー」を、アツヒロさんをはじめとする東京勢と、30・DELUXが2021年から始めた名古屋と大阪での製作で出会った各都市のスターの方たち、

らさんが通る」なども拝見していただきました。退団後に「舞台刀剣乱舞」髙伝 矛盾源氏物語で光源氏を演じていた。それを観て、今回の「デスティニー」ではユミンを現代の強い女性として表現したいという思いがあったので、瀬戸さんにお話ししよう。でも瀬戸さんには前の公演の映像を観て、「これは私の役ではありません」と(笑)。それで「いや、今回はもっと強い女性に書き直す予定なので」とお話しして。もちろん男役をされていた強さに加えて、本来の女性としての美しさやちょっと儂い部分もある方なので、そのへんも今回のユミンの魅力になると思っています。

瀬戸 私は男役でしたので、ユミンは王女ですし私の役ではないと思ってたんです。でも清水さんが、今回は強い女性になりましたとおっしゃって。たしかに国を守るために女性ということ捨てて生きていく人ですし、また今回は弟もいる設定になって、より人間ドラマも深まるといって、そういう様々な葛藤の中で信念を持って生きていくユミンを演じさせていただけののは幸せなことだと思いました。

そして、悪魔シャイターンを演じる鈴木さんは、なんと本格的な舞台は約12年ぶりだそうです。



しみずじゅんじ〇愛知県出身。中京大学体育学部卒業後、会社員、高校教師を経て、日光江戸村でアクションをメインとしたイベント・舞台に出演。97年、俳優升鞍率いる劇団MOTHERに入団し、中核俳優として活躍。02年に30・DELUXを立ち上げ、製作総指揮・殺陣師・俳優の三役をこなしながら、外部の舞台・映画も積極的に参加。15年には初の海外公演をロンドンで行い、17年にはフランスの「JAPAN EXPO」に参加、それぞれ高く評価された。23年には映画『まくをよろずな!』を初監督した。

せとかずや〇東京都出身。04年宝塚歌劇団に入団、花組に配属。大人の男性が演じられる男役スターとして、『マスカレード・ホテル』(主演)など多くの作品で活躍。21年『アウグストウス-尊厳ある者-』『『Cool Beast!!』で宝塚を退団。以後、舞台を中心に活動中。最近の出演作品は、『RUNWAY』舞台『マリネットホテル』Song Show『Ivory』～Fallait pas le dire～『それを言っちゃお終い』VIII。～ドラマ・リーディング～朗読劇『ラストダンスは私に』～岩谷時子物語～Musical『TRACE UJ』舞台『刀剣乱舞』髙伝 矛盾源氏物語など。

すずきたつひさ〇愛知県出身。声優。最近の主な出演作にテレビアニメ『NieR:Automata Ver1.1a』『ヒプノシスマイク-Division Rap Battle-Rhyme Anima』『THE NEW GATE』『青の祓魔師』『七つの大罪』『範馬刃牙』『ケンガンアシュラ』『グリム組曲』『最強陰陽師の異世界転生記』『Fate/Grand Order 藤丸立香はわからない Season2』など。演劇の舞台は、朗読劇『ROOM』音楽朗読劇『陰陽師』に出演。2009年～22年、アーティストとしても活躍。

公演情報

30-DELUX Special Theater 2025

『デスティニー -アドラメレクの鏡-』

作〇毛利亘宏 脚色・演出〇林明寛 出演〇佐藤アツヒロ/吉原雅斗 鈴木達央 瀬戸かずや/今江大地 北川尚弥(東京・福岡・大阪公演のみ出演) 川上千尋 IMO*T 村瀬文宣/森田晋平 足立英昭 設楽 賢(名古屋・埼玉公演のみ出演)/亀田結心 竹之内景樹 田沼ジョージ 寺田遥平 中村悠希 津山直紀 永易大空/田中 精 我 膳導/緒月遠麻/清水順二 他 4/18～27〇東京 サンシャイン劇場、5/3・4〇福岡 久留米シティプラザ ザ・グランドホール、5/16～18〇大阪 サンケイホールブリーゼ、5/23～25〇愛知 アマノ芸術創造センター名古屋(名古屋芸術創造センター)、5/28〇埼玉 さいたま市文化センター 大ホール 〈チケット問い合わせ〉stage.contact55@gmail.com

Q あなたの活力源はなんですか？

瀬戸 いつも言っていますが愛犬とあとマシンピラティスとマントですね。マントは最近初めてやりましたが、地味にハードで内側の筋肉を鍛えられるし、自分と向き合うという感じになってます。

鈴木 ゲームです。シューティングゲームとか物語をみんなと進めていくアクシオンゲームみたいなものをやっています。オンライン仲間もいて、そういう人たちと話すとき自分の知らない世界を知れる面白いです。

清水 ジムとサウナです。5年前に買った自宅ウナには毎日入ってます。ジムは広い時間ジムを見つけたので、行きたくなったら深夜でも行きます。体が強くないと役者も殺陣も殺陣指導も制作やプロデュースもできなくなるので、そのために鍛えています。

そしていつもの素晴らしいクリエイティブスタッフとともに作り出すので、30・DELUX最高傑作になるのは間違いないと思っています。ぜひ観にいらしてください。

STAGE BOMB!

井上花菜

多岐に渡る作品が百花繚乱のミュージカル界で、次世代のセンターを担っていくだろう輝ける新星を紹介する連載コーナー「橋涼香のミュージカルニューエイジ」第11回のゲストは井上花菜。幼少期に映像作品でデビューのち、長じて数々のミュージカル作品で活躍を続ける井上の、歌、ダンスに秀で、舞台のどこにいても可憐な容姿がパッと目を引いた『太平洋序曲』の少女役、『アナスタシア』のヤングアナスタシア役。そして、フランツ・カフカの未発表原稿をめぐる裁判をモチーフに作られた韓国ミュージカル『HOPE』で、過酷な運命のなかで生き抜いていく過去のHOPE役で見せた繊細かつ、実存感にあふれた演技は、ミュージカルニューヒロイン誕生の日が近づいていることを予感させるに十分だった。

そんな井上に、2021年コロナ禍のなか僅か5公演のコンサートバージョンで上演されたミュージカル『イリュージョニスト』の待望久しいフルバージョン公演への初参加を前にした、英国演劇界の鬼オトム・サザーランド演出による精力的な稽古の日々や、ミュージカルへの想いを聞いた。

自分がミュージカルからもらった
生きる力や勇気を届けられる
俳優を目指して

いのうえはな〇幼少期に映像デビューし数々の作品に出演。劇団四季『ライオンキング』でヤングナラ役を演じて以降、ミュージカルの舞台を中心に活躍を続けている。近年の主な出演舞台作品に『レ・ミゼラブル』『カーテンズ』『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』『太平洋序曲』『アナスタシア』『春のめざめ』『HOPE』『RUN TO YOU』『グランドホッグ・デー』など。

カンパニー全員の情熱と
愛が伝わっている

——待望のフルバージョン上演となる『イリュージョニスト』の稽古に参加されていかがですか？

とてもクリエイティブな毎日です。特に演出のトムさんから溢れ出てくる様々な演出やステージング、演劇的な技法で物語のストーリーを表現するという心意気に感服してばかりの日々です。フルバージョンでの上演は初めてですし、2021年の上演を含めてここに至るまでの経緯を考えると、私は今回初参加なのですが、カンパニーに関わっている全ての方の情熱と愛が伝わってきたからこそ、いまがあるんだというのをひしひしと感じています。その想いを引き継がせていただき、作品の一部になれるようにと思っています。日々稽古に励んでいます。

——トムさんの演出についてはどうですか？

トライ＆エラーとはこのことなんだ！という、創っては壊し、また創っては壊しを繰り返しながら進んでいます。特にトムさんが「一番大切なのはストーリーが伝わること」と常におっしゃる、その言葉が心に残っていて。より良いものを創り、お客様に物語をお届けするための繰り返しなので、どんなプラスのエネルギーが生まれていく本当に明るい現場なん

です。先輩の皆様が果敢に挑戦していらっしやる姿に私も背中を押され、勉強させていただいていることをとてもありがたいと思っています。

——多くの刺激を受けていらっしゃるのが伝わりますが、改めて作品の魅力については？

物語が私たちにもお客様にも、いま見えているものとは真実なのか？ということ問いかけている、そして「真実とは何か？」、また「真実をあなたはどの角度から見ますか？」と問いかけ続けていると感じます。19世紀末のウィーンが舞台ですが、今の時代に生きる私たちの心に刺さる、とても深い作品だと思います。また、今回はセットも大きく迫力のあるものをたくさん使っているのですが、それをキャストも含め全て人力で転換します。なるべく機械などの技術に頼らず人の力で創ることで、物語の舞台と世界観を守るというトムさんのこだわりも魅力だと感じます。

——そのなかで、様々なお役柄を演じられると思いますが、中心的なものを教えていただけますか？

愛希れいかさん演じるソフィの若い頃を演じさせていただきました。短い回想シーンなのですが、海宝直人さん演じるイ

歌い踊っている時には
なんにでもなれた

——とても印象的な大切なお役柄

リユージョニストのアイゼンハイムとソフィにとって、最も大切な記憶で汚れない時間なので、観てくださる方にそれが伝わったらいいなと、日々考えながら励んでいます。



なので、井上さんが演じるのを拝見するのが楽しみです。井上さんご自身がミュージカルに興味を持ったきっかけはなんだったのですか？

それを遡ると、私の人生の始まりと言っても過言ではないんですが、私は生まれてすぐ手術室に運ばれたくらい病弱だったんです。自分では覚えていませんが、小さな頃に何度

も手術を経験していて、家と病院の行き来をするだけという日々が続いて。両親にはすごく心配をかけたと思います。そんな中で両親が見せてくれたのがディズニーのアニメーション映画で、家の中が世界の全てだった私にとって、その映画が外に連れ出してくれる唯一のものだったんです。ですから物心ついた頃には、プリンセス

初めて観劇したミュージカルが『レ・ミゼラブル』で。

——それはすごいファーストコンタクトですね。

いきなり大作を観せてもらって、4歳ですが意味はあまりわかっていなかったはずなのに「もう1回観たい」と言っていたんです。それほど生の舞台からいただいたエネルギーは大きくて、いまこうして元気にしているのも、ミュージカルからもらった生きる力や勇気のおかげなんです。

喜びも悲しみも「死」というものの大きさも「生きる」ことの意味も、全部ミュージカルから学んできて、いつか舞台の上で自分も何かできるかもしれない、私がもらったエネルギーを誰かに届けられるかも、という気持ちがありました。

——その想いをいま叶えられていますか？

たくさんの人に助けていただいて、ご縁を得たからこそなのですが、そんなミュージカル作品の一部になっていることがいま本当に幸せです。「好き」を諦めないってすごく大事だなと思いますが、とてもおこがましいですが、観てくださる方に私が舞台からもらったパワー、好きという気持ちを諦めない大切さを少しでも感じ



公演情報

ミュージカル 『イリュージョニスト』

脚本〇ピーター・ドゥシャン 作詞・作曲〇マイケル・ブルース
原作〇ヤーリ・フィルム・グループ制作映画「幻影師アイゼンハイム」
ステイヴン・ミルハウザー作「幻影師、アイゼンハイム」
演出〇トム・サザーランド
出演〇海宝直人 成河 愛希れいか／栗原英雄／演出めぐみ ほか
3/11～29〇日生劇場、4/8～20〇梅田芸術劇場メインホール
〈お問い合わせ〉梅田芸術劇場
【東京】0570-077-039 【大阪】06-6377-3800(10:00～18:00)

Q あなたの活力源は なんですか？

歌うこと踊ることがずっと変わらない一番のエネルギー源です。例えばちょっと辛いことがあっても、稽古場に来て歌い踊ると、歌い踊ることが私の活力で、エネルギーを一番くれるものであり、エネルギーを一番注げるものだなと思っています。



あおやぎみき○1992年生まれ、福島県出身。フリーの俳優として横浜大、東京にこにちゃん、中野坂上デーモンズの豪勢など多くの舞台に出演。劇団普遍には2022年『秘密』より出演、2023年『風景』より演出助手も兼ねる。2023年より大石恵菜が主宰するタダルスに演出助手・制作として参加している。
活動予定◎劇団普遍『秘密』5/30～6/8◎三鷹市芸術文化センター 星のホール

Miki Aoyagi

青柳美希

私も好きなことを
続けてもいいのかな

仕事帰りの看護師と理学療法士2人のデートともえない短い時間。川が流れ、死にかけの魚が浮かぶ帰り道。いろんな気になることはあるけれど、今は仲良く早く帰ろう。寒い夜、2人が囲む温かな鍋の湯気が浮かんだ素敵なシーン。一方、入院中の父親に、2人の子ともと一緒に実家にいさせてくれと頼む娘の面会。勉強して、資格を取って働くからと何度も父に繰り返す。言葉少なく短い面会を重ねるうち、父の心を少しずつ動かす意思の力。青柳美希が演じた2人の女性が、劇団普通の『病室』の外の世界を垣間見せ、作品のイメージが大きく広がった。今回、初めてこの作品に出演し、物語のアクセントになる2役を見事に演じ、演出助手でもあるという、私の心を奪った青柳美希とは何者?

高校で初めて演じた役が
すごく楽しかった

――演劇に興味を持ったのはいつ頃ですか?
――始まりは高校演劇です。もともと興味があった? いえ、演劇部に入りたい友達に誘われて入ったんです。そうしたら、部員が少ななくていきなり舞台みたいな感じでした。人前で話すのがすごい苦手で内気だったんですけど、初めての役が犬の役ですごく楽しかったんです。
――それはいいですね。

それから活動にのめり込んでいきました。
――大学でも続けたんですか?
――本当は看護師になろうと思って学校見学にも行っていたんですけど、父の反対があり。
――お父さんは何と?
――看護師は大変な仕事だから、いったん大学に行ったらどうだ?と。

――お父さんは心配だったんですね。それが高校3年生のかなり遅い時期だったので、慌てて行ける大学を探しました。今思うと、演劇をやってから性格が明るくなったので、もうちょっとそっちの方を続けたら?ということだったのかもしいないです。
――いいところは見つかったのですか?
――映像を作ることにも興味があったので、和光大学に行きました。

――おもしろい人が多い大学ですね。はい! 演劇サークルに入って、1年後輩だった東京にこにちゃんの萩田頌豊さんと一緒に、公演を打ったりしてました。
――それは学内ですか?
――そうです。好きなことをいっぱいして楽しかったです。あつという間でした。

――卒業してからも演劇を? それまで私は普通に就職して、結婚して、子どもを産んでという人生が当たり前で、両親も望んでいるだろうと思っていましたんですけど、周りのみんな

が変わってるから誰も就職活動をしないうですよ。
――ほう。
それを見て、私も好きなことを続けてもいいのかなと思って、フリーターをしながら続けることにしました。

演劇がすごく
好きなのもかもしれない

――プロフィールを見るといろんなお仕事をされていますね。いろいろやりました(笑)。卒業後、2年間舞台に出てない時期がありました。
――それはどうして?

――このまま続けていくことの不安というか、自分に才能があるのかも分かんないし、なんとなく活動がフィードアウトしていつちゃって。

――ほとんどの人がそうですよ。大概戻ってこないと思うんですけど。その2年間の間、沖縄でリゾートバイトしたり、フイリピンに行ったりして、いろんな人に出会って、すごく刺激的なことが起きてる毎日なのに、心の隙間が埋まらないというか:沖縄の絶景を見ても感動しないんですよ。
――そうなんですね。

――そこで私、演劇がすごく好きなのかもって気づいて。それまで自分からというよりは、周りの人に誘われて出ることの方が多かったんです。
――どうやって再開を? ちゃんと演技を学んでない

でも素敵でした。

あのシーンは相手役の重岡(渾)さんが靴と靴下を脱いで川に入って、出て来て拭いてまた履いたり、動作が多かったの、動作とセリフが一致するのに結構時間がかかりました。実際、川にも行きました。

――やり甲斐がありますよね。あと、もう一役、患者さんの娘役で、離婚しそうな女性の役も。

――小さい子ども2人を連れて、実家に戻っているの、悲しくてつらい状況なんですよ。
――困っているけど、前向きな力強さを感じて、応援したくなりました。

――大変だけど明日は来るし、どんな人生生きていかなきゃというエネルギーの方、子どもと暮らしていきたい原動力に重きを置いたかもしれないです。
――今回も演出手をされているんですよね。

――はい。稽古場で自分の出番じゃないシーンは、ずっと石黒さんの隣に座って見てました。石黒さんと他の方とのやりとりは、すごく自分のためになります。
――そういうところがですか?

――自分はまだ言われたことに応えるので精一杯だけど、用松さんや長く一緒にやられている方は、よく自発的に提案をされていて。それでシーンがググッと良くなる瞬間に何度も立ち会って。見ているだけで本当に楽しいし、自分ももっと作品をよくするために役に立ちたいと思っています。



劇団普通『水彩画』2024/6/17～23◎すみだパークギャラリーささや (撮影:福島健太)



劇団普通『病室』2024/12/6～15◎三鷹市芸術文化センター 星のホール (撮影:福島健太)

などと思って、映画美学校の俳優コースに入りました。半年間、朝から晩まで授業があつて、すごく濃密な日々でした。
――役に立ちましたか?

――「自分で作れる俳優」というのを掲げていて、授業で本を書いたり、演出もして、一つの作品を作ったりしました。自分で作れるって、自信を持てるようになりました。
――「自分でも公演を主催されていますね?」

――最近はまだ活動してないんですけど、演出家もスタッフも俳優もみんな本当にフラットな関係で作品を作る、というのがにこだわった公演を2回やりました。

純粋に演じた
石黒さんへの尊敬の念

――そうこうしているうちに、劇団普通に出会ったんですか?
――映画美学校で知り合った小林未歩さんが、『病室』の初演に看護婦役で出ていて、それを観に行ったのが最初です。
――あれは、すごかったですね!
――はい、池袋の小さな場所で行ってました。
――出演はどうやって?

――石黒(麻衣)さんが俳優を探しているときに、小林さんが紹介してくれました。
――それから出演を?
――『秘密』という王子小劇場で上演した作品が最初で、次が三鷹で上演した『風景』。あと、

去年の6月にすみだパークギャラリーで『水彩画』に出ました。

――『水彩画』は、大変な作品でしたよね? 会場が劇場じゃないし、ずいっと舞台に出っぱなしで関わりのない別のグループの会話を聞きながら、演技をするという。
――はい、みんなも苦労してました。参加しない会話を聞きながら、別の場所で演技して、しかも客席に挟まれていたので、両面を意識して…。石黒さんは今までのお芝居もすごく意欲的だったのに、まだそれに満足せずに更に挑戦的なお芝居を書き上げてきてくれたのが、すごく嬉しかったし純粋に尊敬の念が湧きました。

――そうですね、演じるのは大変ですよ。
――そうですね(笑)。相手役の伊島(空)さんは共演するの初めてで、舞台出演も2回目だったので、稽古のほかに二人で池袋の公園でセリフ合わせをしたり、恋人同士の役なので、距離を縮めるためにいろいろな話をしたりしました。
――青春ですね(笑)。

一人でやってる人を、
ほっとおけない

――『風景』から演出助手もされていますね? 演出や作ることに興味がありますか?
――自分でやってみて、劇団を運営するのってすごく大変なんだから、身にしみて。だから演出して、脚本書いて、劇団を一

劇団普通 『病室』

作・演出・出演◇石黒麻衣
出演◇用松亮 渡辺裕也 浅井浩介 武谷公雄 重岡漠 上田通 松本みゆき 青柳美希
2024/12/6～15◎三鷹市芸術文化センター 星のホール



片岡(武谷公雄)の見舞に来た妻(松本みゆき)と娘(上田通)。なぜか積極的に話に加わろうとする同室の佐竹(用松亮)

声も身体も大きく、おしゃべりで一人では寝起きもままならないが、車椅子で積極的に世話を焼く入院患者の佐竹(用松亮)。その隣のベッドで、同じくらい大病で、にこにこして自分を「仏様」と呼ぶ入院患者の小林(渡辺裕也)。持病の発作で緊急入院してきた片岡(武谷公雄)のもとには、妻(松本みゆき)と娘(上田通)が毎日見舞いに来る。比較的若く軽症の橋本(浅井浩介)には、訳ありの娘(青柳美希)がいる――。ある病室で患者とその家族、病院スタッフたちの希望と不安の入り交じる現実と来し方行く末が交錯する。茨城井で綴る“劇”的でリアルで静かな群像劇。



橋本(浅井浩介)の娘(青柳美希)は見舞いに来るたび、自分と幼い2人の子どもをこのまま家に居させて欲しいと懇願する



佐竹を心配そうに見守る担当看護師・加藤(石黒麻衣)



小林(渡辺裕也)の担当看護師(青柳美希)は、明るく面倒見がよいタイプ。片岡の担当医学療法士・遠藤(重岡漠)の恋人でもある

青柳美希の活力源！

青柳美希の魅力をより一層楽しむためのいくつかのアイテム

—Favorite things—



一定のリズムが大事

——活力源を教えてください。

手芸が好きです。活力源というか息抜き？

——どんな物を作るんですか？

編み物やビーズ、ミシンでお洋服作ったりとか、いろいろ何でもやります。今日も編みかけのマフラーを持ち歩いていて、合間に編んでました。

——手芸はひと針ひと針、着実に完成に近づいていくのがいいですね。



完成品の数々

劇団普通の芝居って、精密ですごく事細かにいろいろ決まっているから、プレッシャーに耐えきれなくなって、暴れちゃいそうになる時があるんです。そんな時、編み物やステッチの同じリズムの繰り返し、安心につながるというか…。一定のリズムを刻んで身を任せていれば大丈夫っていう感じがします。

愛鳥のフクちゃん

——ほかにありますか？

水色のセキセイインコを飼っています。飼い始めて1年になりました。

——鳥好きなんですか？

昔、実家で猫と犬を飼ってて、自分の家でも飼いたいけど、ちょっと時間もないから難しいと思って。一人でご飯を食べられるセキセイインコをずっと探してたんです。そしたら今飼ってるフクちゃんが、すごく可愛く膨らんでる写真を見つけて、この子に決めた！と。お店に行って買って来ました。

——手乗りですか？

家に来た頃にはもう大人になってたので、



愛鳥のフクちゃん

最初は怯えてたんですけど、最近は肩や手に乗ったり、言葉も覚えました。

——すごい！

毎日毎日話しかけてたら、ある日自分の名前と「フクちゃんかわいいね」って言うようになって、そこからいろんな言葉を覚え始めました。最近だとCreepy Nutsの『Bling-Bang-Bang-Born』を歌うようになったんですよ。セリフの練習にも付き合ってもらったり。

——え！？

『病室』で最初に看護師さんが「小林さん」って話しかけるセリフをちゃんと覚えて、「小林さん」を「こっこ、こっこ、」って言うんです。

——すごいですねー。

感情表現も豊かで、顔の筋肉がないらしいので表情は変わらないはずなんですけど、なんとなく嬉しい時とか嫌な時とかの表情が分かる気がします。

ロリータファッション！

——ほかに？

ロリータファッ

ションがすごく好きで、たまにです

けどロリータを

着てお出かけと

か。

——え、え！？

中学生ぐらい

のときに『下妻

物語』の映画を

観て、それ以来。今年は映画の公開から

20周年でリバイバル上映があったり、下妻

市のジャスコでイベントもあって、それに

行って映画の聖地巡礼もしました。

——そこには着て行かなかったんですか？

着て行きました。ああいう洋服はやっ

ぱり高いので、ずっと憧れてたんですけど、

やっと買えたのはつい最近です。でも、も

う30を超えちゃったから着れないかなって

思ってたんですけど、友達が今が一番若い

んだから、と言ってくれたので思い切って

着ています。

——素晴らしいですね。でも今回はイベント

があったけど、他に着ていく所はあるんです

か？

お茶会みたいな文化があって、有名な洋



ロリータ姿がお似合いの青柳さん！

服のブランドさんが主催したり、個人のロリータさんが主催してお茶会をする、交流会みたいなものもあります。

——それは場所も重要ですね？

雰囲気のある喫茶店とかで、アフタヌーンティーを楽しみながら、同じ趣味のお友達を増やすみたいです。

——多趣味ですね。

そうですね…変身願望が強いのかな。まるで違う自分になってお出かけするのが、結構ストレス発散になります。

——今までいろいろな活力源を聞いてきたけど、ロリータの服を着て誰かに会いに行くのは初めてです。

欲望に忠実すぎると思います(笑)。

——そうですか(笑)。もっと大人しい人かかと思ってました。

いつも崖っぷち

——上手にストレスを発散する手段をお持ちのようですが、ストレスが多い環境なんですか？

演劇はすごい好きなんですけど、すごい小心者なんです。自分が未だにあんな福島田舎から出てきたのに、こんな舞台に立たせてもらってるのが…自信なくて怖い。自分の演技にいつまでたっても納得がいけないというか…やってもやっても終わりがなくて、塞ぎ込んだらうので、楽しいことをして、自分の気持ちをちょっと安定させていこうみたいな。本当は自信をつけたいです。

——自信をつけて大丈夫ですよ。今回の『病室』は、とても素晴らしいかったです。

でも初日が無事に終わっても明日は…みたいな不安が。

——俳優で一番楽しい、好きなのは、いつですか？

お客さんから拍手もらった瞬間が、一番安心します。劇団普通は開場してから上演中も、ずっと静かじゃないですか。たぶん拍手が一番大きい音だから、拍手もらった時に一番良かったって思います。

——でも最後、拍手をもらっても、舞台に出てこないですよね？

裏で聞いて安心してます。それまで自分が受け入れられるかどうか、全く分からない、いつも崖っぷちみたいな中でやってるので、ついに良かったって感じます。



『ナミビアの砂漠』(2024)

一番って人生で? うわー! と決められなかったので、2024年の一番を。観たいものしか映ってなかった。映画のことはわかっていないけれど、目の前のすげーものを見つめていたら2時間強が過ぎていた。主人公カナの「奔放さ」、「不誠実」、「暴力」などなど、そりゃ周りは大変だよな、でも全部わかるよー! と泣いてしまった。

世界に憤ってもそう振る舞えない(いややってるんだらうけど)わたしの代わりに行動してくれているかのようで、なんだか申し訳ないやら元気出るやら。カナを目を離せない魅力的な役として表出させる河合優実さんの素晴らしさ。そしてその土壌や世界をつくった山中瑠子監督と周りの皆様にありがとうございます! という気持ちです。



伊東沙保

いとうさは〇俳優、フリーランス。近年の出演作に、ルサンチカ『楽屋』、スペースノットブランク『光の中のアリス』、滋企画『OTHELLO』、KAAT『外地の三人姉妹』、木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』など。X@sahoto 舞台出演◇summer house『CARNAGE(カルナージュ)』3/26〜30◇アトリエ第Q藝術



うらじぬの

うらじぬの〇千葉県出身。レプロエンタテインメント所属。2021年の解散まで劇団子供鉦の劇団員として活躍。現在は舞台・映像と幅広く出演している。

『フィフス・エレメント』(1997)

一番好きな映画って常に更新していききたい気持ちなのですが、当時8歳の私がこの映画で受けた衝撃がなかなか大きすぎてランキングを変えられずにいます。色気ムムムの大人たちが終始SFコメディをしながら最後は全力で愛を語る。痺れました。これでゲイリー・オールドマンとブルース・ウィリスに恋をし、クリスタッカーを敬愛し、ミラ・ジョヴォヴィッチの真似をしました(トイレペーパーを身体に巻きつけてジャンプする)(家の廊下一面ペーパーだらけになって親にしっかり怒られました)

衣装も堪らなく好きだったのですが後でデザイナーがゴルチエと聞いておったまげました。コーベン・ダラアス!!!



『リトル・ミス・サンシャイン』(2006)

ミスコン出場を夢見る娘のために、問題いっぱいの(そして愛すべき!)家族がミスコン会場までオンボロ車で旅するロードムービー。好きなものをただ好きでいる気持ちとか、人を愛したり、愛されたりする気持ちとか、おじいちゃんが孫にける『本当の負け犬ってというのは負けるのを恐れて挑戦しないことだ!』っていう金言とか、この映画には、なんかちょっと不安になった時に私が触れたいものが沢山、しかも直球で、詰まっています。観る度に、『うん、大丈夫だ!』という気持ちにさせてくれる映画です。



呉城久美

くれしろうみ〇大阪府出身。NHK連続テレビ小説『まんぷく』でヒロインの親友役を演じて注目を集める。近年の主な出演作に映画『さよなら ぼやマン』『夜明けのすべて』、ドラマ『潜入兄妹』『燕は戻ってこない』などがある。X@93maruko/lnsta@kurekichi_kumi



西出結

にしてゆい〇舞台を中心にテレビ、CMなどで活躍中。近年の出演作に劇団アンバサンド『歩かなくても棒に当たる』、中野坂上デーズ『かみ』などがある。舞台出演◇劇団アンバサンド『遠巻きに見る』4/18〜27◎三鷹市芸術文化センター星のホール

『ハウルの動く城』(2004)

小さい頃はもののけ姫が大好きで、ヤックルのことばかり考えていたんですが、大きくなってからはハウルを好きになってしまいました。テキパキ家事をこなすのを見るのが好きです。ジブリの登場人物の生活力の高さをみるといつもきまりが悪くなります。

最後の方のシーンで、なんかいろいろあった後、ソフィーがボロボロのハウルに向かって「私をカルシファーのところへ連れて行って」と言うんですが、わたしはそのセリフになぜかものすごく感動したんです。駿さんってすごい。あと、絵が上手くてすごい。観たことないものを描き、あらゆる物理を理解し、アニメーターというひとたちに尊敬の念が尽きません。



『タレントタイム〜優しい歌』(2009)

こんなにも優しい映画を他に知りません。多文化共生の理想と現実を、青春群像音楽劇として美しく描いた今作は、ヤスミン監督の遺作となりました。生死も、善悪も、喜びも悲しみも、彼女は遠く隔てることはせず、異なる者たちが当たり前存在するこの世界そのものを描いています。たとえ相手のことが好きになれないとしても、憎しみあうことの無い社会になってほしいと願いを込めた、彼女なりの武器を手に取らない戦いだったのだと思います。必要なのは、愛とユーモア!



根矢涼香

ねやりょうか〇1994年9月5日生まれ。茨城町出身の俳優。Netflix『極悪女王』でヒロイン役。ほか写真、イラスト、文章、音楽等、活動は多岐にわたるが体にはシングルタスクが良いと思う。石をよく拾う。大塚界、前厄。X@ryokaneya Instagram@ryoka95 映画出演◇第15回大和映画祭特別記念短編映画『tuning(仮)』監督◇竹内里紗 共同制作・主演◇根矢涼香 3/16◎第15回大和映画祭にて上映 ※ずるも出てます!



小野寺ずるの女の平和映画

気になる役者さんに「一番好きな映画は?」と訊くのが趣味だ。「え? 一番?」とみんな真剣に悩みます。そして真顔で答える映画の名は、大体「その人っぽい」と思えるものだ。愛する映画はその人の表現や佇まいに強い影響を与えている。今回は私のそんな「日常の趣味」を持ち出した番外企画。センス・オブ・ワンダーな7名の役者さんに「一番好きな映画」と「その映画へのコメント」をいただきました。(想像以上に)愛に溢れた「その人」が見える番外編です。

小野寺ずる

おのでらす〇気仙沼生まれの役者、脚本演出、ド腐れ漫画家。個人表現研究所ZURULABO所長。一番好きな映画は『フルメタル・ジャケット』(1987)。イラストは映画『枯れ葉』のオマージュ。【漫画連載】日刊SPA!『小野寺ずるのド腐れ漫画帝国』、【映画出演】『ぶぶ漬けどうです』6/6公開 X@zuruart



女

小野寺ずるの

の

『下妻物語』(2004)

ロリータ少女×ヤンキー娘の一見住む世界が違う二人の最高の友情物語。

こちらの作品は人生で一番観ている映画として記憶しております。中学生の頃テレビでぼんやり観ていて、コロナ禍の時にサブスクでもう一度観てみようとして再生したんです。もう、そしたら、エンドロールの時に私は面白すぎて震えておりました。感動しておりました。

え、え、10年以上、なんなら20年以上前の作品でアニメーションからお洒落さからコメディの描写まで大好物過ぎて私は感涙しておりました。映画の中でその時代をふんだんに生きている可愛くて強い女子が私には堪らなかったのです。



アサヌマ理紗

あさぬまりさ〇宮城県出身。『No.1コメディエンヌを決めるコンテスト エミィ賞グランプリ』2020年にグランプリを受賞。個性的な役柄を得意とし映画、ドラマ、舞台、CMなど幅広く活躍。主な出演作品に映画『水平線』『茶敷友蓮』、今年公開予定の映画『満天の星の下で』、日曜劇場『下剋上球児』などがある。またイラストレーターとしても活躍し、個展なども開催している。X/lnsta@nunri_ 映画出演◇映画『満天の星の下で』2025年公開予定



『霊幻道士』(1985)

みなさんキョンシーをご存知ですか? 最近では再評価されてハロウィンのコスプレなどで見かけた事のある方もいるでしょう。額にお札を貼って両腕を前に突き出しビヨンビヨン跳ねて移動する中国の人工ゾンビです。そのキョンシーが主軸に置かれた映画第一弾が『霊幻道士』。では、なぜこの映画が好きなのか説明しましょう。私が生まれた1985年頃からとにかく日本でキョンシーが流行りましてね。雛鳥が初めてみた鳥を親鳥と思うように、私もキョンシー映画だけがエンタメだと刷り込まれたんです。理由はそれだけ。しかし今思うと、それは私にとってとても幸運な事でした。『霊幻道士』にはホラー、コメディ、アクション、クライム、ロマンス、ファンタジー、お色気など様々な要素が詰まっています。まさに人生。楽しく笑っていたかと思ったら次の瞬間には恐怖のどん底なんて事は生きていればまあある事です。逆もまた然り。このドンデン返しとまで行かぬほどの「空気がひっくり返る瞬間」にとてつもない興奮を覚えるのです。その波に翻弄される人生でありたい。そして、それが許される世界で笑いながら生きたいと思うのです。是非一度ご覧ください。「全然そんな映画じゃねえじゃん」という感想お待ちしております。



高畑遊

たかはたあそぶ〇「ナカゴ」という劇団に所属。舞台出演◇劇団4ドル50セント×東京にここにちゃん『(新作公演)』7月◎上野ストアハウス ◇ザ☆タカ方レー『(新作公演)』9月初旬◇浅草九劇 ◇東京にここにちゃん『(新作公演)』11/3〜13◎三鷹市芸術文化センター星のホール photo:Minami asami

帯金ゆかりの

世相を縫う

第二十九回◎生き抜き演劇新時代!～段ボール彼氏ver～

乱れに乱れた世の中を、斬ったところで物足りない。
じゃあいっそのこと縫ってみよう!と立ち上がったのは、
知る人ぞ知る演劇界のおてんば姉さん帯金ゆかり。
勝手気ままな帯金ワールドへようこそ!

M澤(要約)上演の可能性を信じた
い!んで一秒でも早く幕をあけたい今
台本解釈をしている余裕がないんだ!
帯金、初演でヒロインやってるよな...台
本はパッチリ頭に入ってるハズだ!
それ10年前な!?もう忘却の彼方に

油断している細胞が一気に震え出す
オーダーだった。いやいやいやいや無茶
だろ、公演中止レベルだろそれ!あと
何故私なんだ、もっと適任の俳優さんが
いるだろう!

M澤(要約)2人降板者が出て本
来公演3日目のなにもにまだに幕が
開かない。今日ついに主演俳優も倒
れてしまった。代役が足りないんで
主演は段ボールの等身大パネルでい
く!そこに声をあててくれ!

もうじき春なり!みなさん無事
にこの冬を乗り越えましただけ?今年は
例年の何倍もインフルが大流行で、コ
ナ禍が終わった今も演劇界は公演中止
に怯えています!そんな中、劇団ナイス
ストーリー「女子と算数」ではキャスト
7人中3人がインフルで降板を余儀な
くされるという未曾有の事態に。今回
は、冬休み気分でのんびりだらりとし
ていた帯金が、気づいたら主演俳優の等
身大パネルを背負って舞台を駆けずり
回っていた話です!

劇場に到着すると想像より何も決
まっていなかった。主幸で作演のイトウ
シンタロウさんは急遽代役で出演する
ことになり、白だか青だか茶だか黒だか
訳のわからない顔色でロビーをウロウ
ロしている。
とにかく場当たりだ。舞台上に置
かれた等身大段ボール彼氏に、黒子に
扮した私がひたすら台詞をあてていく。
それに合わせて必死に演技をする女優
陣。この作品は「全員同じ男子が好き



消えてるよ!
M澤(要約)うるさいいから助けて
くれ!ナイスストーリーの10周年記念
公演と今後の劇団存続はお前にかっ
てるんだ!
警報に重い!!どうしたらいいんだ、
絶対大変じゃないか。私の細胞は「嫌
だ行くな怖すぎる!」と叫んでいる。
やかましい、そんなの同意見だ!と全
身から吹き出る反対意見を掻き払い、
とにかく劇場へと向かったのだ。

段ボール彼氏をガムテで身体に括り
付けた黒子の帯金、そこに体当たりで口
説いてくる女優陣。物語後半は、もはや
シールを超えて新しい謎のエンタメと化
していた。ちなみに、漢気で台本を覚え
ようとしたけど秒で無理だと悟り、「り
えに出来ても帯金には出来ない!」と

ない顔色をして黙っている。長く重
い話し合いが行われる中、帯金の脳
裏にはかつて三谷幸喜氏の舞台で
天海祐希さんの代役を務めた切った
宮沢りえさんの伝説がよぎっていた。
たった一日で主演の代役を演じ切っ
たあの伝説。りえに出来るなら帯
金にも出来る!こはもう、私とい
う生身の人間が舞台上に立つしかな
い!あーでも嫌だ、絶対大変だ!
思考とは逆に細胞が今すぐ帰れと
猛抗議してくる。逃げるなら今し
かない、降りますと言え帯金!思
考と細胞に挟み撃ちにされながら

口から出たのは「私が段ボール彼氏を
抱いて演じるから、最後までやろう!」
だった。

場当たりの中盤、ついに女優陣から
意見があがった。「段ボール相手じゃ気
持ちが入りません!」
めっちゃや当たり前である。段
ボール彼氏の発想は、爆発力はあるもの
の物語の推進力にはならなかった。上
演は不可能か...女装したイトウさん
は、いよいよ人類が目撃したこと
ない顔色をして黙っている。長く重
い話し合いが行われる中、帯金の脳
裏にはかつて三谷幸喜氏の舞台で
天海祐希さんの代役を務めた切った
宮沢りえさんの伝説がよぎっていた。
たった一日で主演の代役を演じ切っ
たあの伝説。りえに出来るなら帯
金にも出来る!こはもう、私とい
う生身の人間が舞台上に立つしかな
い!あーでも嫌だ、絶対大変だ!
思考とは逆に細胞が今すぐ帰れと
猛抗議してくる。逃げるなら今し
かない、降りますと言え帯金!思
考と細胞に挟み撃ちにされながら



おびかねゆかり〇オフィスのいり
所属。やまなし大使。佐藤佐吉演
劇祭にて優秀主演女優賞受賞。数
多くの舞台や映像作品に出演。

そうだ、残念ながら降板した主演の
佛淵和哉くんとは翌月隣の劇場で共
演し、今度は彼女役の私を背負って元
気に舞台を走り回ってくれました(ど
んなシーンだよ!!)

今回は、自分の武勇伝を語りたかっ
たわけではなく、まじで演劇を頑張る
みんなに何があっても諦めないで欲しい
というメッセージを伝えたいのだ!!
どんな状況でも絶望せず、どこかに転
がってるはずのヒントをかき集め、立ち
向かって欲しい!とりあえず段ボール
をかき集めるところから始めたナイス
ストーリーの根性に、改めて私からも拍
手を送りたい!!

こうしてラストステージ中2ステージだ
け上演することができた。たくさんのお
客様にご心配と迷惑をおかけして
しまったが、結果的には聞いたことのな
いくらい大きな拍手をいただくこと
になった。もしかしたらこれは、感染症と
戦う新しい演劇の形なのかもしれない
:シールだけど!!

考えを変えた。ただ、ラストシーンだけ
は漢気の残りカスをかき集め台本をぶ
ん投げた。そうしないと、ヒロインを抱
きしめてあげられなかったのだ。

「動物電気には何と登山部があるのです!すでに何回か登っているらしい。自分は今回が
初参加。部員の森戸、高橋(拓)、同じく初参加の高橋(和)、大橋と共に高尾山に公演成
功祈願に行ってきました!私、雨男なのでヒヤヒヤしましたが、当日は晴れて良かった!(も
し雨が降ったらみんなでスケートに行きたいと高橋和美。成功祈願なのにスベリに言ってど
うする!と座長政岡言ってきました)高尾山を下から登るのは初めて。結構きつかった!山頂
近くの薬王院で無事祈願して参りました!動物電気2025本公演「愛一輪 バカの花」よろ
しくお願い致します!!(小林けんいち) 編注:今回の企画は小林けんいち氏の提案で実現しました。

動物電気
登山部で
公演成功
祈願!



『男の手料理!自然派弁当!』高橋拓自

登山一週間前、小林から、「拓自さ
んはお弁当宜しく」とグループLINE
で回ってきた。いつもの無神経な物
言いに、登山道のどこかで突き落とし
てやろうかという気持ちをグッとこらえ、
5人前の弁当の構想に入りました。
今回のお弁当のテーマは無添加
調味料にこだわった自然派弁当。原
材料表示で/以降が添加物と娘から
聞いたので、それが無いものを使う事
にしました。メインになる唐揚げは国

産ブランド鶏を使用し、無添加白だし、
有機みりん、醤油のみで前の晩から漬
け込み、朝、有機米粉をまぶして米油
で揚げました。これが中ぶんわり、衣
サクで冷めても美味しい。これに富士
酢とマスタードで味付けしたブロッコ
リー、自家製糠漬け、だし巻き、白だし
の焼きおにぎり、無添加混ぜご飯おに
ぎりの配陣で、いざ出発です。
高尾山のレポートと言いつつ、山に
着く前のお話でした。

『高尾山と言えば、そば!?』森戸宏明

冬の高尾山と言えば、そう、「京王」
がやってる「高尾山の冬そばキャン
ペーン」ですよ。私が学生の頃か
らやってますよ。駅のチラシを見ては
「この店行きたいなあ、こっちの店も
いいなあ。...いつか、いい大人になっ

たら行こう」なんて思ってたが、い
い大人になった今、行った事あるお店
は麓の「日光屋」さんだけ...
こんなじゃダメだ!自称蕎麦好き
の私、これから「高尾山の冬そば」ハ
マっていきたいと思います。



『まるでサークルみたい!』大橋純七

山頂付近の薬王院のご利益は多
岐にわたるそうです。みんなで麓から
登って、がんばってがんばってお祈りし
て、きつとすぐご利益があるよね。多
岐にわたるってんだから、個性の強い
動物電気メンバーそれぞれの願いを
叶えてもらえるはず!そういえば拓自
さんも森戸さんも電気の手書いてな

いですね!もー!自分のことばかり
なんだから!その分私がつよくお祈
りました(笑)。
他の登山者さんに、写真撮って〜
とお願いして回るのは、なかなか恥ず
かしかった!けど、写真を沢山撮って
たら拓自さんが「サークルみたいだね
〜」って照れくさそうに。楽しかったね。



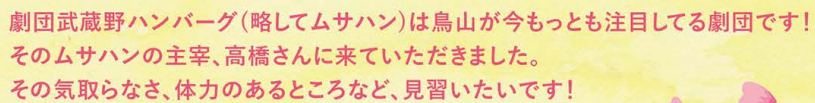
『晴れてよかった!』高橋和美

今回は雨男こばけんさんがいるの
で数日前から雨予報!てるてる坊主
を作って吊るしてみたら見事晴れてく
れました。朝に雨、夕方にも雨が振っ
たのでホント危なかった。
おじさんたちと登山、初心者でも登
れるという1号路(表参道コース)に登

りましたが、中々傾斜があり序盤から息
切れ。でも、空気が澄んでいて気持ち
良かったです。マイナスイオンに癒さ
れました。私のお気に入り「たこ杉」。
根がまるでこの足のよう曲がりがく
ねった杉。開運の杉として祀られてい
るそう。公演の成功を祈願してきました。



次回予定
動物電気
2025初夏公演
『愛一輪
バカの花』
6/7〜15〇下北沢駅前劇場



海外に行く高橋さん

鳥山 これも関係ないんですけど、宝くじ当たったかどうかどうしますか？ 8億円。

高橋 あ〜…まず、稽古場作りたいですね。

鳥山 ああ。なるほど。

高橋 稽古場毎回大変なんで。いろんな人がアクセスしやすい場所に稽古場があるといい。稽古場兼自宅みたいな感じにしたいですね。

鳥山 結構リアルな感じですね。

高橋 よく思うんです。あと、いろんな国行ってみたいですね。

鳥山 へー。

高橋 海外、旅行すごい好きだったんですけど、演劇をガッツリ始めて余裕とか行くタイミングがなくなってますって。

鳥山 そうだったんですね。以前はどんな国に行ってたんですか？

高橋 最初は、23か24の時に友達とカナダ、アメリカに رفت。車で西海岸とか回って。それが非常に楽しくて、海外つてすごい！ ってなりました。それからタイとか、ヨーロッパもイギリスとか。あとインドですね！

鳥山 おお！

高橋 インド面白かったです。ひどかったんで。人がめちゃくちゃすごかった。空港降りの瞬間にブワーってゾンビみたいに人が群がって来て。空港の中に一回戻りましたもん。こわすきて。出れなかったですね。

鳥山 車の音もすごいいいですよね。

高橋 音もそうだし、普通に歩いて

たら、めちやくちゃ人がいて、その中に車が突っ込んできて、牛が通ってて、しかも舗装されてなくて砂なんでもう砂塵が舞ってて、ちよっと歩くだけで鼻の中うわつてなる。

鳥山 フフ。

高橋 チャイッてあるじゃないですか？

鳥山 お茶のチャイですね。

高橋 あれが所々にあって、ちよっとずつそうやってお茶しないと、やってられないと言うか。

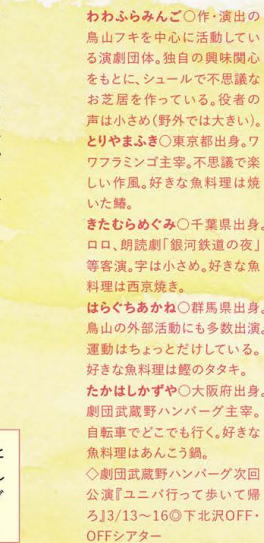
鳥山 ああ、お茶を飲み飲み…。

高橋 飲み飲みしてないとだめなんですね。意味が分かったというか。

喧噪の中で少し息をつくという感じなのかなと。

鳥山 ふーん。

高橋 すごくかったです。一晩中ブブ



「私の母は私が小学5年生の時ハブとマングースの仲裁に入って命を落としました。それから毎年、命日にはハブとマングースが線香をあげにきます」

ムサハンワールド

42

鳥山 下北沢のOFF・OFFシアターを拠点にやつてる感じですよね。

高橋 そうですね。

鳥山 年2回とかですか？

高橋 今年3回ですね。

鳥山 すごい！3回！

高橋 一昨年3回で、去年は2回で、今年はやっぱり3回に戻してみました。

鳥山 ハハハハ。それで大変とかはないんですか？

高橋 大変です。

鳥山 (笑)大変なんだ。

高橋 めちゃくちゃ大変です。もうほとんど回を重ねることに、出なくなってくる。

鳥山 ネタが？ネタが。ああ。

高橋 だから、どんどん稽古場にアイディア持つて行って、やってみたらダメっていうかと思ったら持つて帰って、その繰り返しです。

鳥山 へへへ。アイディアに詰まることなさそうですね。

アルバイト先の先輩に大人計画を
教えてもらって。見たことないよ
うな笑いだった。その影響が、ある
のかな。

鳥山 うんうん。

高橋 でも、二谷幸喜さんもめちゃ
くちゃ好きです。めちゃくちゃ雑多
な感じって。。

鳥山 演劇以外だと何が好きなん
ですか？好きな食べ物とか何です
か？

高橋 好きな食べ物！：僕なんかべ
たなものが好きですな。

鳥山 ええ？

高橋 ハンバーグとか、とんかつとか、
かつ丼とかそういう…。子供なん
で、舌とか。

鳥山 好感が持てますねえ。

高橋 そうですか？

鳥山 逆に嫌いなものとかあるんで
すか？

高橋 食べ物？

鳥山 食べ物でも何でも。
高橋 なんだろうな…。嫌いなもの

高橋いや全く。その前5年くらいコントみたいなことをやって。それを演劇に切り替えたのが、その2019年。

鳥山へへ。高橋さん、お仕事はフローズニューヨークのお店をやってらっしゃるんですね？

高橋はい。やってます。

鳥山 フローズニューヨークのお店やりながら「演劇やりたいなあ」「って思ったんですか？

高橋 そうですね。若い頃演劇観て。でもフローズニューヨークのお店を友達と始めることになったのでもっとあえずやれるわけなくて。10何年経って落ち着いてきて「やりたかったことがあったな」と思って始めてみようってなったんです。

好き嫌い

高橋 めちゃくちゃ詰まってますね。
その分しよ、うもないことでしょん
どんやって、数打つてその中から抽
出す感じですね。

鳥山 コントから始めたっていうのは
やっぱりお笑いが好きなんです
か？

高橋 非常にそうですね。好きです
ね。

鳥山 どなたが好きなんですか？

高橋 基本的に芸人と呼ばれる方
は全員リスベクトなんですけど、ロ
バートの秋山さんとかすごいなっ
て思えますね。発想とかめっちゃ
ちゃすこしい、尊敬してますね。

鳥山 どのところから影響を受
けたのかと思って。

高橋 松尾さん…。影響受けたのは
松尾スズキさん…。

鳥山 そうなんですか！

高橋 そうなんですよ。20代の頃に

鳥山 嫌いなものないですか？
高橋 嫌い、っていうのはそんなにないのかな。やだなくとかいうのも、それはそれで面白がつてしまうタイプかもしれない。意外とネタになったりとか。ああでも…仕事かな…。

鳥山 (笑) 仕事。
高橋 嫌いまでいいくないですけど、あんまり向いてないですかね、自分の仕事が。

鳥山 そうですか？
高橋 少しこじやれたようなものを出してるんですけど、自分はこんな感じなんであまり向いてるとは思ってない。高校の友達と立ち上げたんですけど、その2人が非常に向いててフォローしてくれるので現場で体力的なことを任されてるような感じですね。

場所から発想

鳥山 ムサハンは今後もOFF・OFFシアターで活動してくるんですか？
高橋 いや、できれば駅前(劇場)

さんとかもやってみたいですね。まだまだなんでも劇場変えるとかまだいろいろ考えなきゃいけないし、自動的にOFF・OFFシアターを予約しちゃってるみたいな(笑)。

鳥山 ハハハ。でも劇場を変えずに、お話を新しく作るの難しくないですか？ どういうところから作りはじめるんですか？

高橋 いろいろあるんですけど、まず基本的に身近なものが題材ですね。場所。場所がでかいかもしれないですね。

鳥山 場所！

高橋 イオンとか。

鳥山 イオン。

高橋 この前の公演だと井の頭公園とか。今回はユニバーサルスタジオユニバに行くんですけど。

鳥山 はい。

高橋 場所とか街とか、路線とか？ そういうところかな？ あとお店？ くら寿司があったりとか、そういうところから身近なところから最終的に大きくしていきたいみたいな感じかもしれません。身近なものをファンタジー、超ファンタジーみたいに

猫いました！5人兄弟、色白で毛並みが良い。

アート&エンタテインメントの街

えんぶ★TOWN

Art & Entertainment

マンスリーレポート Mar.

えんぶTOWNは、みなさまから
たくさんのご支援ご協力をいただき、
「善き場所」に向けてトライ&エラーの日々です。
なかなか華々しい成果をだせないもどかしさがありますが、
それはそれ。
少しでも見やすく使いやすい街にしたいと
みなで元気に作業中です！



『えんぶTOWN』の現在

TOPIC 1

「えんぶTOWNの大望」という街の概要をコンパクトにまとめたパンフレットをつくりました。ご存じの内容とかぶる部分もあるかとは思いますが、わたしたちが次に進むためのメモランドでもあります。



TOPIC 4

植本純米（俳優）と坂口真人（えんぶ編集長）の戯曲対談『過剰な人々を巡るいささかな冒険』シリーズ展示vol.3を『電子版ミュージアム』にて公開中！



TOPIC 2

自社で作ったクラファンを使った「自社案件のクラファン」が、1月25日（土）に無事終了しました。この成果を踏まえて『演劇ぶっくBN電子版』の無料化など、次の準備に入ります！



TOPIC 5

クラファン返礼品の「『えんぶTOWN』創立記念ミニチュア」がほぼ出来上がりました。今からでもご参加いただけますのでぜひご覧ください。



TOPIC 3

『大和悠河のバリから贈る エトワール紀行 ～ロマンティックに紡ぐ芸術の魔法～』の連載が『電子版ミュージアム』にて始まりです。



TOPIC 6

『えんぶ』で時々カメラマンのズギノユキコさんが、イタリア・ミラノのgalleri golaで写真展を開催しました。そのときの素敵な写真と文章がインスタグラムで見られます。



<https://enbutown.com/>

到来！ アンケート大航海時代！

アンケート大航海時代！ ヨロピアン

諏訪雅



よーろっばきかく○京都を拠点にマルチに活動する劇団。出演情報。舞台『リブリー、あいにくの宇宙ね』（脚本・演出○上田誠）5/4～25◎本多劇場、6/3◎高知県立県民文化ホール オレンジホール、6/6～8◎森ノ宮ビレオホールにて上演。京都競馬場100周年記念動画『ウマタイムマシン・ブルース』（監督・脚本○諏訪雅）JRA京都競馬場内のほか、YouTube「JRA公式チャンネル」にて全5話を順次公開予定。ヨーロッパ企画公式YouTubeチャンネルも不定期で更新中。

すわまさし○俳優、脚本家、演出家。ヨーロッパ企画劇団員。98年に上田誠、永野宗典と共にヨーロッパ企画を旗揚げ。当コラムのアンケート&執筆を担当。

第25回 | ヨーロッパメンバーの「適度なお悩み」を調査

毛根が死なないんですよ。あ、脱毛の話です。2年かけて結構○十とか課金して、顔面や下半身などにパチパチレーザー当てて、痛いの我慢して、でも毛根は死なない。いや、ちゃんと薄くはなっているんですけど、なくなるとして脱毛してんの、全然なくならないから、え、もうじゃあ脱毛やめる？ となっていて、でもいまだ課金してきた分もったいないじゃないですか！ このまま毛根は死なず、薄くなるだけなら、痛いレーザーを永遠に喰らい続けることにもなるし。あ、これコンコルド錯誤やん。毛根コルド錯誤やん！ これが最近の悩みなんですよね。というわけで、みんなはどんな悩みを持ってらっしゃるのかな？

ここに書いてもいいくらいの悩みを教えてください

【石田剛太】

ごはんを早く食べ過ぎてしまうことが最近の悩みです。よく噛んでゆっくり食べることを心がけたいと思っています。あと眉毛が一本だけ長く伸びてることがあるので悩みです。老化のはじまりだそうです。気付いたら抜くようにしますが、恥ずかしいです。

みんなでご飯行った時とか、たしかに、あ、俺だけ食べ終わってる！ みたいな現象よくあるなあ。老化といえば、鼻がデカくなるのも怖い。

【上田誠】

完全に締切がふたつピッタリ重なっている。

あー、スケジュール言われた時は、まあいけるかと思って、結局締め切り間近になって、どっちか遅らせるしかなくなるっすねえ。

【金丸慎太郎】

自分で勝手にSNSで投稿を始めた漫画とnoteがありまして。「劇団活動に支障が出ないように片手で出来るぐらいのカロリーでやっています」と

吹聴しているのですが、ふつうにやばくて、ちゃんと支障が出ています。このアンケートのバグも守れませんでした。ここに載せても大丈夫と思って書きましたが、全然怒れそうな気がします。

劇団はいつ漫画の連載を始めた金丸さん。忙しいやな。

【酒井善史】

娘の部屋がたいへん散らかっているので注意したいが、自分の部屋の方が散らかっている、どのクチが言うてんねんってなるので言えないし、言っても効果なさそうだし、遺伝やなあと微笑ましくすら思ってしまう、自分の部屋を片付けないといけないう根本の問題を先送りしてしまっていること。

あるなあ。ジュース飲んだらあかん！ っていう言いながらお酒飲んでる時とか。

【角田貴志】

ふるさと納税で頼んだ冷凍ハンバーグの量が思っていたより多くて、冷凍庫がパンパンになってしまった。来月あたりに肉が届く予定なので、その前に冷凍庫のスペースを開けなきゃいけない。

ふるさと納税使いの角田さん。デカ冷凍庫買ったらよい！

【土佐和成】

月に1回くらい何らかのアレルギーが発生した時にしゃみが10回くらい連続で出るんだけど、その原因がまったくわからないのが悩みといえば悩みです。

アレルギーなのか？

【中川晴樹】

朝もっと寝ていたいのに、オシッコし

たくて起きちゃう。一回起きると、もう寝れない。

寝れないのかわいそう。いつも中川さんは寝れない。

【永野宗典】

僕の寝息がピーピーうるさいらしく、隣で一緒に寝ている娘が必ず夜中うなされてしまいます。ソーシャルディスタンスで寝ようになり、寂しいです。

それは寂しい。娘と一緒に寝ることが日々の癒しなのに。

【西村直子】

最近こたつでうっかり寝てしまうことが増えて身体がバキバキの状態、特に腰周りに支障をきたしています。眠りに最適な温度をどうとう見つけてしまった為です。嬉しさと悩みが同居しているのですがどうしたらいいですか？

こたつ寝は幸せよね。「あつ！」ってなるけど！

【藤谷理子】

去年の9月から鼻水鼻詰まりの症状が続くので耳鼻科でアレルギー検査をしたんです。結果、花粉などは一切なく、ネコノフケだけ引っぱりかかりました。実家に猫がいるんです。でも猫から離れて暮らしていても症状はよくありません。これはなんなんですかね？

ネコノフケアレルギーってのがあるんだ。花粉じゃないのが羨ましいな。

みなさん適度なお悩みをお持ちでしたね。あ、書いてて悩み1個思い出しました。娘を寝かしつけた後、起きて仕事しようとするんだけど、いったん眠りのスイッチはいつから、眠すぎてまったく仕事の手につかないことがある。という、まさに今なんですけど……、おやすみなさい。

大衆演劇の売れない女優の小桃は、ある日、劇場出口で客のケイコに声をかけられる。工場で働くケイコは、休みがあるとゲームに課金してしまう毎日だったが、ふと時間つぶしに劇場に入り、舞台上の小桃と目が合ったと思い、それ以来、この一座に通いはじめる。だがケイコの小桃への課金は次第にエスカレート、他の客にまで迷惑を掛けるようになり、小桃は劇団にいられなくなる。ケイコは小桃を自分のアパートへ引き取るが、家賃が払えないことでついに二人はホームレスに。そんな日々のなかで、ある日、事件が起きる……。



『寂しさにまつわる宴会』

作・演出◇上田久美子
出演◇竹中春子 三河家諒 上田久美子
1/24~2/3◎蒲田温泉 2階 宴会場



東京の下町、蒲田にある昭和12年創業の蒲田温泉。人々が安らぎと癒やしを求めて集う銭湯の宴会場で、繰り広げられた芝居とも余興ともつかない1つの宴。人という存在の寄る辺なさとその孤独を映し出しながら、やがて宴は「生」の深淵とその果ての狂気へとなだれ込んでいく……

三河家諒 竹中香子 上田久美子

『寂しさにまつわる宴会』を語る宴



キネマ発祥の地として知られる大田区蒲田にある老舗銭湯「蒲田温泉」で、演出家の上田久美子が立ち上げたカンパニー「Projectumi」の公演「寂しさにまつわる宴会」は、その銭湯の2階にある宴会場で行われた。上田が今回一緒に創作した二人のコラボレーターは、フランスでも活動する俳優の竹中香子と大衆演劇出身の三河家諒。二人とともに創った出し物は、「寂しさ」をキーワードに、歌や踊り、トークや観客アンケートなどを織り込みながら、1つの物語を展開していく。その創作過程やこの公演へのそれぞれの思いを三人に語ってもらった。

実存の問題を他者を使って埋めてもらう

まずモチーフの一つに大衆演劇を選んだことから伺いたいのです。

上田 私は10年以上前に祖母と一緒にいった九州の湯治場で、大衆演劇に初めて出会いました。観る前はあまり興味が高かったのですが、セットもほとんどない舞台で人間の身体ひとつでこんなにも感動させるんだと衝撃を受けました。当時は宝塚歌劇団で作・演出をしていたのですが、商業演劇の世界ではどんなテクノロジーを取り入れる舞台が多くなっていただけに、その対極にあるものとして強く惹かれる部分はありました。

上田さんは2022年に歌劇団を退団して、文化庁の海外研修制度でフランスに留学、帰国後の昨年1月に「Projectumi」を立ち上げました。今回の公演はその旗揚げで、竹中香子さんと三河家諒さんともに集団創作したということです。

上田 私としては旗揚げ公演という意識はあまりなくて、他にもいろいろなプロジェクトを進めているので、Projectumiとしてはこれが初めての、という意味なんです。なぜこのお二人とともに創ったのかというと、私がとてもとて考えていた主題、人間の実存の問題を他者を使って埋めてもらう、いわば他者を欲望する、それが突き詰まるといって、どこまで行っても満たされない永遠のループみたいなものを描きたいなと思ったんです。そして、その主題は最終的には他者と同一化し、さらに宇宙と同一化してしまうしかないわけです。その主題を可視化するには、やはり舞台芸術の世界しかないし、なかでも大衆演劇の俳優さんの持つ超越性が必要だったんです。そういう意味では、人に観られるとか認められるとか関係なしに、ただ天に捧げるための至芸、というのを作中で見せたくて、そういうことが出来る人が残っている大衆演劇の俳優さんによってもらいたかった。そこで、この企画と一緒に創作する竹中さんとともに大衆演劇の女優さんを探することにしました。

竹中さんは上田さんのこの企画のどこに興味を持ちましたか？

竹中 このプロジェクトは去年もつと早い段階で上演するつもりで進めていて、その頃から私も俳優以外の活動にも重きを置いていたもので、上田さんから提案された協同で作品を創作していく作業には、喜んで参加させていだきたいと思いました。上田さんの宝塚での作品は観ていないのですが、2023年に演出された全国共同制作のオペラ『道化師』田舎騎士道』を観て、観客を混ぜたいというとか、価値

観が違う人たちを1つの場に取りこむような自由な表現への思いを感じました。それは私自身がいつも考えていることでしたので、この人と一緒に創りたいと思いました。

その身体からしか出せないエネルギーを出し続ける

— お二人は三河家諒さんにオファーしたわけですが、諒さんはこの話を受けていかがでした？

三河家 なんで私なんだろうと（笑）。それで最初に私の舞台を観たことがありますか？と言ったら、まだ観ていません。では1回観てから決めてください。単に大衆演劇の女優であればいいの、何かイメージを持って探しているのかでは違いますから。

竹中 ただその時、上田さんはまだフランスでしたから、舞台を観る前にまず私がお会いして、上田さんとオンラインで繋いで、二人の稽古を見てもらうということになったんです。

上田 竹中さんと日常風景の即興みたいなことをしてもらったのですが、その時点で良いなど。大衆演劇の女優さんであるなしに関係なく、その人自身の芸の力というのはいくらもありません。その後、改めて舞台を見たら、お芝居だけでなく舞踊も素晴らしいです。もともと諒さんの評判は耳に聞いていて、大衆演劇で上手いと言われる方は本当に上手いんです。実力だけではなく残れないし、基本的に男優が人気になる世界で、女優さんで上手いと言われて、しかもフリーで活動できるのは、本当に芸がすごいということなので。

竹中 現代演劇の場合、俳優はいろいろ

ろな装置でお客様のノイズから護ってもらえるし、お客様を無視することもできるわけですが、大衆演劇の俳優さんは完全にお客さんに開いた状態で、何もない脆弱な場所での身体からしか出せないエネルギーを出し続ける。そういう恐いことを毎日させているすごさは、一緒に舞台上に立たせていただいで、俳優同士としてよくわかりました。そしてそこに至るまでの経験とか時間というものを強く感じさせられました。

— 諒さんがそこまで芸を鍛えてきたモチベーションはどこにあるのでしょうか？

三河家 とくに鍛えるという意識はなくて、単純に毎日毎日生きていくためですし、人が時間を割いてお金を出して観にきてくれるためには、こちらこそ身を削って芸を磨くのは当たり前なので。ただ私は座長の家に生まれましたけど、父親が学校へはちゃんと行けと言ってくれたので、子役もしないで舞台からは逃げていたんです。それが15歳になって突然役者をやってみようかな。でも女優になってからも、私にはもつとやれることあるんじゃないかと他の仕事をしたりしま

うえだくみこ◎奈良県出身。作曲家・演出家。京都大学文学部フランス語学フランス文学科卒業後、一般企業勤務を経て、演出助手として宝塚歌劇団入団。2013年『月雲の皇子・衣通姫伝説より』で初の脚本・演出を手がける。15年『星達一夜』で第23回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。22年3月で宝塚歌劇団を退団。同年、スペクタクルリーディング『パイオーム』脚本で岸田國士戯曲賞最終ノミネート。23年、全国共同制作オペラ『道化師 / 田舎騎士道』演出。23年・24年に文化庁の海外研修制度によりフランスの公共劇場にて研修。24年1月、自身の作品を企画・制作する団体Projectumiを立ち上げた。

たけなかつよう◎埼玉県出身。プロデューサー・俳優・演劇教育。2011年渡仏、日本人としてはじめてフランスの国立高等演劇学校の俳優セクションに合格。16年フランス俳優国家資格取得。パリを拠点に多数の舞台に出演。17年より日本での活動も再開。一人芝居『妖精の問題』(市原佐都子作・演出)ではNY公演を果たす。22年『蝶々夫人』(市原佐都子作・演出)出演。24年初戯曲『ケアと演技』をYAU CENTERにて上演。太田信吾との共同演出作品『最後の芸術者たち』は、Festival d'Automne Paris 2024のプログラムとしてパリで上演された。

みかわやより◎福岡県出身。俳優。大衆演劇三河家劇団・四代目三河家桃太郎の三女として生まれ、1986年15歳で初舞台を踏み、以降大衆演劇活動に従事。01年より実兄(05年五代目三河家桃太郎を襲名)が座長を務める三河家劇団に参加。10年に三河家劇団を退団、以後フリーにて活動中。『姉系図』のお蔭から三枚目の男役まで幅広い役を巧みに演じ分け、大衆演劇の枠を超えた本格女優として全国に知られ、多くのファンの絶大な支持を得ている。また、一人芝居や女流邦楽家や新内との競演等ジャンルの違う作品にも多く挑戦している。



分の人生があり、強い個を持つお二人だからこそ、私も触発される部分が多かったです。

「寂しさ」のなかに巻き取られないもの

— このプロジェクトですが、このあとどんな展開を考えていますか？

上田 こういう宴会場でやるという枠組みは、たとえば年に1回とかできればいいな。ジャンルの違う人との他流試合みたいなことは、お互いに少し居心地が悪いところがあったとしても、宴会場のお客様と混じり合うことで居心地の悪さも許し合えるし、今の世の中になくなってきた寛容さみたいなもの、ただそこに一緒に居て、ある時間を過ごせるということが必要かな。宴会なら、変なタイミングで笑いが起きたり拍手したりしても許されるじゃないですか。そういう場をこれからも作れたらいいなと思っています。

— 最後にテーマとなった「根源的な埋められない寂しさ」について、今、どんなふう

に捉えていますか？

三河家 「寂しさ」ってお腹が空くのと一緒で、生きてる限り消えることがないと思っています。そして私たちの仕事で言うなら、最近「推し」とか言いますが、誰かのファンになってその人のことを思うことで心が元気になる。だからこの物語ではないですけど、人が人に狂狂するのだと思います。

竹中 私はこれまで、「寂しさ」というものを自分の表現とか演劇と関連づけて考えてこなかったんです。表現はテーマ性で観客と繋がっていると思っ

上田 私は今回まずやりたかったこととして、俳優のかたちの個の芸と力をお客さんに届けたいというのがありました。ただこれまで携わってきたショウビズの世界ではそれとやら、つまりスターを売っているということになってしまつて、作品ではなくその人を観せることで商売しているみたいなことになってしまつて。でも今回のような枠組みでやると、お客さんは別にお二人の推し活のためでなく、宴会ってなんだろうと思つて来るので、それぞれの演技のすごさを観せても、それがあまり消費的にならないんです。ですからこれからも俳優たちを観せたいし、人間を観せたいんですけど、なるべくなら「寂しさ」のなかに巻き取られないものを観せていきたいです。

あなた達の活力源はなんですか？

上田 プールです。可能な毎日10分、500メートル泳ぎたいです。泳ぎながら泳ぎませんが、長く表現活動していきは運動の習慣は必要だと思います。脳と身体、その二つは、竹中 企画会議です！新しい企画を思いついた時はいろんな人に話して、反応をみたり新しいアイデアをもらうことで、徐々に表現に向けて現実味が湧いていく感じが大好きです。

三河家 大まかに言うとか、やはり健康な身体が自分自身と向き合う事かな？数年前に大をなして尚更ですね。心が元気じゃないと体も元気がないし、体が動けば心も元気!!自分が元気がないとい他人の心は動かせないかなと思います。



1941年初演、
ブロードウェイからウェストエンドを席卷し、
2778回のロングラン上演を記録!

毒薬と老嬢

2025年 3月27日(木)～4月4日(金)
三越劇場 (日本橋三越本店本館6階)



《チケット》
1等席 (1階席) 11,000円
2等席 (2階席1列2列) 8,000円
3等席 (2階席3列4列) 6,000円
4等席 (2階席5列) 4,000円

《一般販売》
2025年2月22日(土) 10:00～
《取り扱い》
イープラス
三越劇場
カルテット・オンライン



MITSUKOSHI
三越劇場
〒103-0001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店本館6階

Patchy『インディ高橋の』 小道具研究所

第134回 | 「ゆーらぶと私」

皆様お元気でしょうか。
身体の色んな部位が痛んではおりますが、私は
そこそこ元気です。
年明け早々から、なんだかんだで、ずーっとバ
タバタしております。いつも通りと言えい
つも通りですが。
隙について京都に日帰りで打ち合わせ
とか、小道具のメンテナンスで博多にちょ
ろっと、お邪魔したりしつつ、稽古して作業
して、いつもの相変わらずな感じで、毎日
を送っております。そして、はたと気が付け
ば、もう3月っ。早っ。

さて今現在、都内某稽古場にて「きたやじ
オン・ザ・ロードいざ出立編」という音
楽劇のお稽古と小道具作業を楽しく
やっております。
外部公演ですが、何故か小道具製作もやって
おります。
所変われば芝居の創り方や進め方も変わ
りますので、大変勉強になります。
初めましての方だけですが皆さん、優しく接
して下さいます。有難う御座います。

思った以上に運動量が多いので、びっくり
しております。油断しました。
カスカス感満載な老人ボディで動いて
おる毎日です。

作り物も、そこそこの有りますので演出家や舞
台監督、演出部の皆さんと相談しながら進め
ております。相変わらず基本、サンベルカと
ボンドと合皮に、塗れております。

さて、いきなりですが「浅草ゆーらぶと
私」です。

「浅草ゆーらぶ」とは何かと言いますと、「株
式会社浅草マテリアル」さんのサイトで「浅
草ゆーらぶ」というがありまして。そこで販
売されている、片面にトリコットという生地が
はってあるウレタンです。「カネフォーム」とい
う商品名です。
ちなみに私は「ゆーらぶのページュ」とか

「黒ゆーらぶ」と呼んでいます。
タカハシの周りでは「通称:ゆーらぶ」と
呼ばれておりますが「正式名称はカネ
フォーム」です。
厚みは2mm,3mm,5mm,10mmです。私は
主に3mmのモノを使います。トリコットのカ
ラーはページュ、黒、白となっております。ち
なみに昔は茶色やグレーもありましたが現在
は有りません。茶色で「木の着ぐるみ」を、グ
レーで「塗り壁の被り物」を作ったのは遠い
昔の記憶です。

着ぐるみの裏ばりによく使われているそう
ですが、私は裏も表も良く使います。
トリコットとウレタンですので、そこそこ伸び
ますし、ミシンで縫う事も出来ますし、裏面が
ウレタンなのでZ-3(スプレーボンド)も使えま
すし、大変便利な素材です。

「ゆーらぶ使用の小道具」

○ハコちゃんの手足



○ドーナツ



○五右衛門コケシの顔と髪の毛部分



いんでいたかはし〇68年生まれ、
大阪府出身。大阪芸大在学中より
劇団☆新感線に参加。2018年
まで役者兼小道具チーフ。2019
年より小道具チーフは休止中
ですが、舞台上立ちつつ様々なモ
ノは生み出す「現代の匠」。
今後の予定〇「きたやじオン・
ザ・ロードいざ出立!! 篇」
「劇団新感線/紅鬼物語」関連
のスチールや準備等、諸々。



コシノ三姉妹風味

○某少女の顔と手足と髪の毛



○熊の口周り



等、可愛い系の人形とか、いい加減なカツラ
とかで主に使用する事が多いです。
着ぐるみや被り物の裏面にも使用してはおり
ますが、「マンドラゴラ」とか「サイコロガール
ズのコスチューム」とか変な小道具の表面処
理で使うことの方がやはり多いです。
今回の「きたやじ」でも「通称:ゆーらぶ」
をそこそこ使用しております。

と、いうわけで皆さんもカネフォーム (通
称:ゆーらぶ) を使って楽しい小道具ライフ
をお過ごし下さい。私は「きたやじ」の稽古
と作業に戻ります。

本日の研究結果

○思いのほか「通称:ゆーらぶ」を使っ
ての再認識しました。
○いい加減な感じの小道具はやはり楽しい。
○京都日帰り打ち合わせで「聖護院聖の
八つ橋」を買い忘れる。猛省っ。
○「博多通りもん」はベタですが大変美味
しいです。
○年末に散髪しました。現在コシノ三姉妹
風味です。

PATCHY STAGE PROPS LABORATORY

<http://www5.ocn.ne.jp/~patchy/ptop.htm>

30-DELUX

デステニー

— アドラメレクの鏡 —

30-DELUX
Special Theater 2025

佐藤アツヒロ

吉原雅斗 鈴木達央 瀬戸かずや

今江大地 北川尚弥 (東京・福岡・大阪公演のみ出演) 川上千尋 IMO*T 村瀬文宣 森田晋平 足立英昭 設楽 賢 (愛知・埼玉公演のみ出演)

亀田結心 竹之内景樹 田沼ジョージ 寺田遼平 中村悠希 津山直紀 永易大空 原田百嘉

田中 精 我 膳導 / 緒月遠麻 / 清水順二

| 東京公演 |

2025.4.18(金)~4.27(日)
サンシャイン劇場

| 福岡公演 |

2025.5.3(土)~5.4(日)
久留米シティプラザ ザ・グランドホール

| 大阪公演 |

2025.5.16(金)~5.18(日)
サンケイホールブリーゼ

| 愛知公演 |

2025.5.23(金)~5.25(日)
アミノ芸術創造センター名古屋

| 埼玉公演 |

2025.5.28(水)
さいたま市文化センター